取扱説明書

DVDプレーヤー 一体型VHSビデオ

型名 HR-DV4

はじめに

設置と準備

ビデオを楽しむ

DVDを楽しむ

その他

DVD VIDEO
DOLBY DIGITAL
dts 2.0+DIGITAL OUT
COMPACT disc SUPER VIDEO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO
3D-PHONIC
Gコード®
VHS
SQPB

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、ありがとうございます

● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（6～9ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

LPT0944-001B

もくじ

はじめに

主な特長 4
- 付属品を確かめる 4
- 大切な録画の前に 4
- 取扱説明書の見かた 4

地上デジタル放送の受信について 5

安全上のご注意 6

ビデオ使用上のご注意 10

ディスクの予備知識 11
- 本機で再生できるディスク 11
- 再生できないディスク 11
- リージョン番号(ローカル番号)について 11
- テレビ方式について 11
- ディスクの構成 11
- MP3/JPEG ディスクやファイルについて 12
- オーディオフォーマットについて 13
- ディスクの使用上のご注意・お手入れ 13

設置と準備の進めかた 14
- 設置と準備の進めかた 14
- テレビに本機の画面を出す 14

各部の名称 15
- 本体前面 15
- 本体背面 16
- 本体表示窓 17
- テレビ画面表示(ビデオのみ) 17
- リモコン(テレビ/ビデオ操作部) 18
- リモコン(DVD 操作部) 19

設置と準備

アンテナとテレビをつなぐ 20

CATV をつなぐ 22

BS デジタルチューナー内蔵テレビをつなぐ 23

BS/CS デジタルチューナーをつなぐ 24

リモコンの使いかた 25
- 乾電池の入れかた 25
- リモコンの操作範囲 25
- ビデオとテレビの切り換え 26
- テレビの操作 26
- 他社のテレビを操作できるようにする 27
- リモコンコードを変える 28

受信チャンネルを設定する 29
- 受信チャンネルを自動的に設定する(一括チャンネル合わせ) 29
- オートチャンネル合わせで設定する 30
- 地域番号一覧表 31
- 放送局をひとつずつ設定する 35
- 映りの悪いチャンネルを調整する 36
- 不要な放送局を受信できないようにする(チャンネルスキップ) 37
- チャンネル表示を変更する 38

ガイドチャンネルを設定する 39
- Gコード® 予約をするためのチャンネル設定をする 39
- ガイドチャンネル一覧表 40

時計合わせをする 41
- 日付と時刻を設定する 41

メニューの使いかた 42
- メニュー画面一覧表 42
- モード選択の設定内容について 43

ビデオを楽しむ

ビデオを見る 46

番組を録画する 48

Gコード® 機能を使って予約する(Gコード® 予約) 50

Gコード® 機能を使わずに予約する(新・快速録画予約) 51

本日予約のしかた 52
- 24 時間以内に放送される番組を予約する 52

予約を確認する 53

予約を変更・取消しする 54

コマーシャルを飛ばして録画・再生する 55
- オート CM カットと CM スキップサーチ 55

番組の頭出しをする(留守録ナビ) 56
- 番組(録画)の頭出しをするには 56

再生するスピードを変える 57
- コマ送り・スロー再生とチョット見バック再生 57

映像を調節する/残り時間を調べる 58

聞きたい音声を選ぶ 59

最適な画質で録画する 60
- テープレベルアップ 60

最適な画質に設定する 61
ピクチャーセレクトの設定 61
BS/CS デジタル放送の番組を録画予約する 62
ビデオコントロール端子に接続して録画予約する（BS デジタルリンク予約） 62
ビデオコントロール端子に接続しないで録画予約する（着信予約） 63
省電力の設定をする 64
ディスプレイオフ 64
オート電源オフ 65
番組情報から番組を探す（ビデオナビゲーション） 66
ビデオナビゲーションとは 66
番組情報の一覧表から見たい番組を探す／情報を全て消去する 67
テープをダビングする 68
他機で再生、本機で録画する 68
本機で再生、他機で録画する 69
その他の機能 70
サラウンド感を出す（3D フォニック） 86
画質を調節する（VFP） 87
ステータスバーとメニューバー 88
ステータスバーとメニューバーを使う（画面表示） 88
くり返し再生する（リピート再生） 90
MP3/JPEG ディスクを再生する 91
MP3 ディスクを再生する 91
JPEG ディスクを再生する 92
ファイルを連続再生する（スライドショー） 92
トラック / ファイルを直接指定して再生する 92
くり返し再生する（リピート再生） 93
画面を拡大する（ズーム） 93
DVD の視聴制限を設定する 94
DVD 側からビデオ側へダビングする 97
オーディオ機器とつなぐ 98
オーディオ機器とつないでダビングする 99

DVDを楽しむ

DVD プレーヤーの設定をする 72
DVD 設定メニューについて 72
お買い上げ時の設定を変える 72
DVD 設定メニュー項目一覧 73
DVD プレーヤーの基本操作 76
オープニング画面について 76
ディスクを入れる / 取り出す 76
再生する 76
再生を停止する 77
今見たシーンをもう一度見る（チョット見バック） ... 78
早送り / 早戻し再生をする 78
一時停止 / 画像を 1 コマずつ送る / スローモーション再生する（スロー） ... 79
見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ 79
メニューから再生する 80
DVD プレーヤーの便利な機能 82
DVD を高画質で楽しむ 82
スキャンモードを切り換える 83
音声言語 / 音声を選ぶ（音声） 84
字幕を切り換える（字幕） 84
アングルを切り換える（アングル） 85
くり返し再生する（リピート再生） 85
画面を拡大する（ズーム） 86

その他

DVD の表示窓メッセージ一覧 100
故障かな？と思ったら（ビデオ側） 101
故障かな？と思ったら（DVD 側） 104
保証とアフターサービス 105
ビクターサービス窓口案内 106
別売品のご案内 108
主な仕様 109
用語解説 110
索引 111

主な特長

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
Gコード® 予約＊ .... ☞50

CM部分を自動的にカットして録画する
オートCMカット .... ☞55

BS/CSデジタル放送などの録画予約が簡単にできる
BSデジタルリンク予約 .... ☞62

録画した番組を検索・頭出しできる
ビデオナビゲーション .... ☞66

停止した場所からDVDが再生できる
リジューム機能 .... ☞77

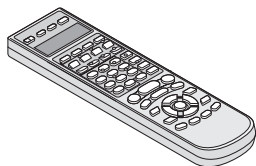
チラツキの少ない高画質映像にする
プログレッシブスキャンモード .... ☞83

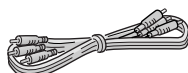
CD-Rに記録したMP3やJPEGファイルの再生ができる
MP3/JPEGディスクの再生 .... ☞91

ドルビーデジタル/DTSサラウンドに対応した
ドルビーデジタル/DTS対応光音声出力 .... ☞98

＊Gコード(又はG-CODE)は、ジェムスター社の登録商標です。
＊G コードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

付属品を確かめる

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。

リモコン

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

映像／音声コード
（約1m）

アンテナコード（約1m）
（地上波放送用）

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画･録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画･録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

取扱説明書の見かた

※イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。

■ 本文中では、おもにリモコンのボタンを使って説明しています。
■ 操作手順の中のボタン名称については[　]で囲っています。
例　設定ボタン→[設定]
■ 本文中の記号の見かた

ご注意 操作上の注意などが書かれています。

☞ 参照ページや参照項目を示しています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

ビデオ側の動作または操作が書かれています。

DVD側の動作または操作が書かれています。

DVDプレーヤーの機能の中には、ディスクの種類によっては使えないものがあります。次のマークは、どのディスクで使える機能なのかを示すためのものです。

例： DVD ビデオ

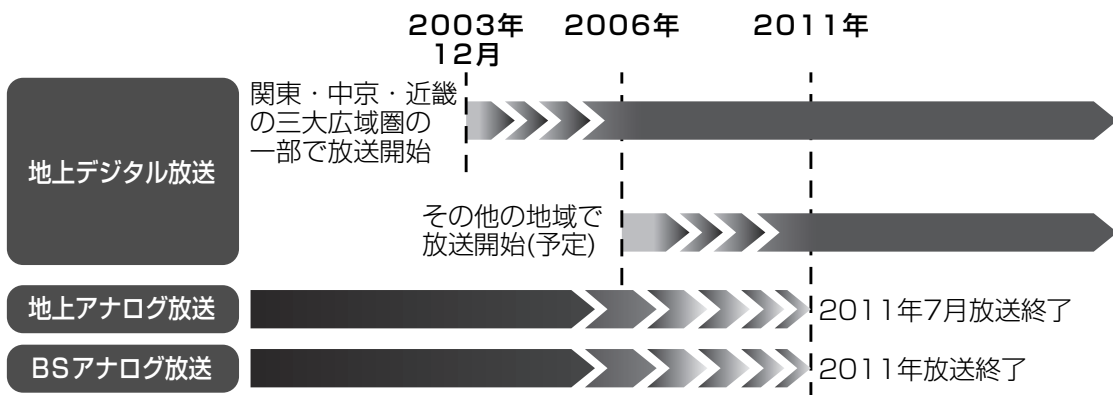
例は、オーディオCD以外で使える機能を意味しています。

地上デジタル放送の受信について

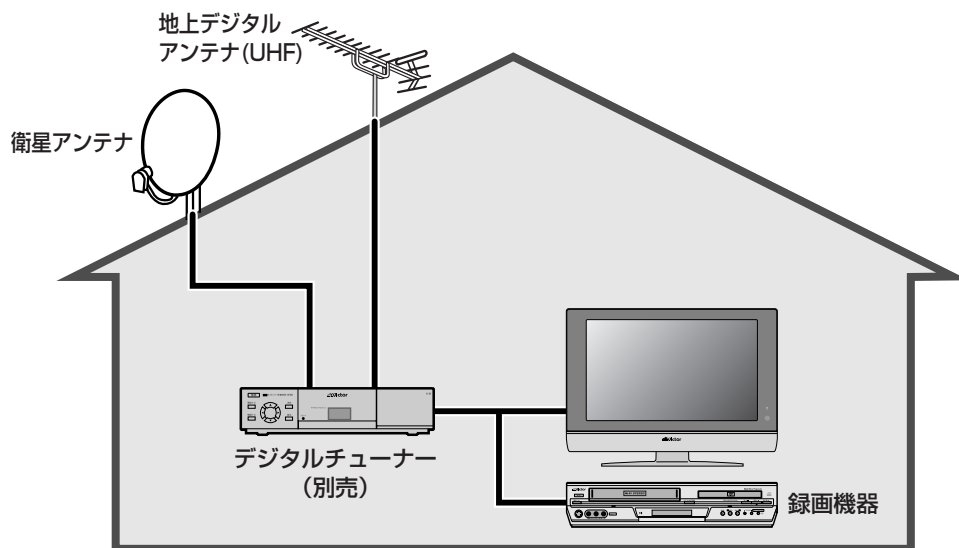
地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行と、地上デジタル放送をご覧になる場合についてご案内いたします。

地上デジタル放送への移行スケジュール

地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送をご覧になるには

地上アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器で地上デジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、地上デジタル放送を録画頂けます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

一般的注意 手がはさまれる	● 注意(警告を含む)が必要なことを示す記号
一般的指示 プラグをコンセントから抜く	● 必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号
禁止 水場での使用禁止 接触禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水ぬれ禁止	● してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

お断り ● この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ 火災や感電の原因となります。

● 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

● 内部に水や物が入ってしまったとき。

● 落としたり、キャビネットが破損したとき。

● 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。

■ お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

■ 火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

■ 感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差し込む

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

⚠警告

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。

電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

この機器の電源コンセント（ACアウトレット）に、ヒーター、ドライヤーや電磁調理器などの消費電力の大きい機器をつながない
[電源コンセント（ACアウトレット）付機種]

■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

この機器のカバー（キャビネット）は外したり、改造しない

■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

不安定な場所に置かない

■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

この機器の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。
■ 風呂場では使用しないでください。

内部に物を入れない

■ 通風孔、ビデオカセットやディスク出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

次のような所には置かない

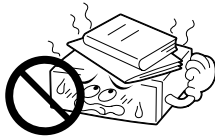
■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。また、重みでカバー（キャビネット）が変形して、内部の部品が破損・故障し、火災や感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ ファンの通気穴を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

電気機器の上や下に重ねて置かない

■ お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したりで、火災の原因となることがあります。

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

■ カセットやディスクも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

カセットおよびディスクの出し入れ口に手を入れない

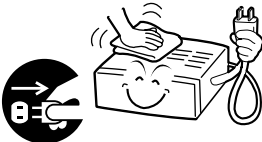
■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

⚠注意

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

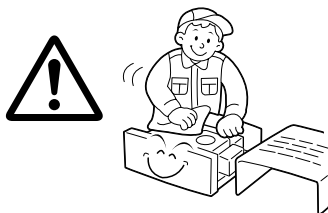
■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(+)とマイナス(—)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(+)、マイナス(—)をショートさせない。
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。

■ **もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。**

ビデオ使用上のご注意

きれいな画面でご覧いただくために(クリーニングテープ)

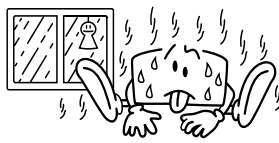
■ 本機にはオートヘッドクリーニング機構が付いていますが、長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。このようなときは、別売の「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。

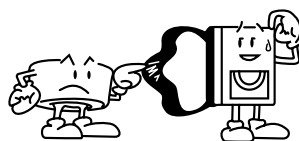
■ こんな症状になったら

- テープを再生すると、ザラザラした画面になる。
- 映像が不鮮明、または映らない。
- 画面に「クリーニングテープをおためしください」と表示される。またこのとき本体表示窓にU1が表示される。(画面表示は設定メニューの「オンスクリーン」(**43**ページ参照)が「切」に設定されていると表示されません。)

- 乾式の**クリーニングカセットTCL-SD**を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ ヘッドの汚れの原因

- 高温・多湿(梅雨時期など)
- 空気中のほこり

- テープの傷、汚れ
- カビの生えたテープ
- 長時間の使用など

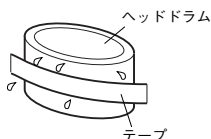
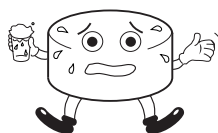
■ クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは
お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口(**106**〜**107**ページ)にご相談ください。

つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。

■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。

■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ・ ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- ・ 急に部屋を暖房したとき
- ・ エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- ・ 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- ・ 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- ・ 直射日光が当たるところやストーブの近く
- ・ 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。

■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。

■ ケースに入れて、立てて保管してください。

ディスクの予備知識

本機で再生できるディスク

本機では以下のディスクを再生できます。

ディスクの種類とマーク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ DVD VIDEO	音楽＋映像	12センチと8センチ*
スーパービデオCD/ビデオCD Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO COMPACT disc SUPER VIDEO	音楽＋映像	12センチと8センチ*
オーディオCD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽	12センチと8センチ*

＊本機は8センチディスクをアダプター（CDシングルアダプター）なしで再生してください。アダプターをつけた状態では再生できません。

次のディスクも再生できます。

- DVDビデオのフォーマットで記録し、ファイナライズされたDVD-R/RWディスク
- 音楽用のCDフォーマット（ファイナライズされたディスクに限ります）あるいはMP3フォーマット、JPEG（ジェイペグ）フォーマットで記録されたCD-R/RWディスク

ご注意

- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプ CD など）は再生できません。
- 2 層ディスクの場合、1 層目から 2 層目に切り換えるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。

- DVD ビデオおよびビデオ CD は、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。
本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
このようなときは、テレビ画面に「⊘」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。
CD-G（グラフィック）、CD-EXTRA（エクストラ）、CD TEXT（テキスト）、および MIX-MODE CD

再生できないディスク

次のディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。

・VRフォーマットで記録されたDVD-RW
・DVDオーディオ　・DVD-ROM（ロム）　・DVD-RAM（ラム）
・CD-ROM（ロム）　・SACD　・フォトCD

- 本機では、CD 規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CD を再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDロゴマーク

リージョン番号（ローカル番号）について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、国や地域ごとに割り当てられている番号がついています。この番号がDVDプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

本機で再生できるDVDビデオの表示例

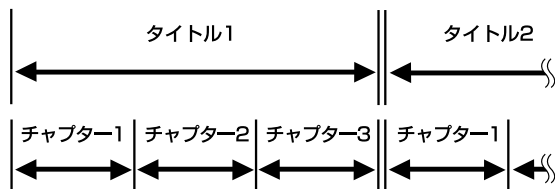
テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式（PAL）のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

- NTSC方式以外のテレビ方式（PAL）で収録されたディスクを再生するときは、プログレッシブスキャン方式での映像はお楽しみいただけません。

ディスクの構成

DVDビデオ

多くのDVD ビデオは、**「タイトル」**と呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。また、タイトルはさらに**「チャプター（章）」**という小さな単位に分割されています。タイトルとチャプターにはそれぞれ番号（タイトル番号、チャプター番号）が付けられていて、それらを選んで再生を始めることができます。

- ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

はじめに

ディスクの予備知識（つづき）

ディスクの構成（つづき）

オーディオ CD/ ビデオ CD/ スーパービデオ CD

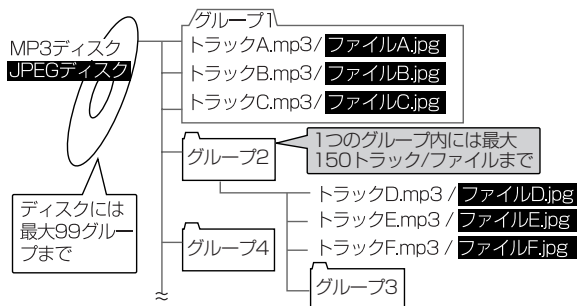
これらのディスクは、**「トラック」**と呼ばれる単位から構成されていて、それぞれのトラックには番号（トラック番号）が付けられています。たとえば２曲目は、「トラック２」となります。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

- ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。本機はインデックス・マークの頭出し機能には対応していません。

MP3 ディスク /JPEG ディスク

本機は MP3 ファイル、JPEG ファイルを記録した CD-R/CD-RWディスクを再生することができます。（本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3ディスク」「JPEG ディスク」と呼びます）

MP3ディスク/JPEGディスクには、それぞれの曲または映像が「**トラック / ファイル**」として記録されています。また、複数のトラック / ファイルをジャンル別、アーティスト別などの「**グループ（フォルダ）**」にまとめて分類できます。さらに「グループの中にグループ」を作ることにより、グループ / トラックの階層構造をつくることができます。この階層は、パソコンにおけるフォルダ / ファイルの階層と同じです。

メモ

- ファイルが入っていないフォルダは、グループとして認識されません。
- フォルダに入っていないファイルはグループ１のトラックまたはファイルとして扱われます。
- 本機は、１枚のディスク内で最大 99 のグループ、各グループ内で最大 150のトラック/ファイルを認識します。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またグループ（フォルダ）内に MP3/JPEG 以外のファイルが含まれるときは、認識できるファイル数が 150 に満たないことがあります。

MP3/JPEG ディスクやファイルについて

ディスクについて

- MP3/JPEG ディスクは、ISO9660 フォーマットで記録されている必要があります。パケットライト（UDFフォーマット）方式で記録されたディスクは、再生できません。
- 本機はマルチセッションで記録されたディスクの再生に対応しています。

ファイル名について

- MP3 ファイルには「.mp3」、JPEG ファイルには「.jpg」または「.jpeg」の拡張子が必要です。（拡張子に、大文字小文字が混在していてもかまいません）
- MP3/JPEG ファイルのファイル名に半角英数字以外の文字が使われていると、MP3 コントロール画面（☞**91** ページ）やJPEGコントロール画面（☞**91** ページ）にトラック/ファイル名が正しく表示されないことがあります。

再生について

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック（ファイル）の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3 ファイルと JPEG ファイルの両方が収録されているディスクは、DVD 設定メニューでどちらのファイルを再生するか選択します。（☞**73** ページ）
- MP3 コントロール画面に表示されるトラック / グループの順序、および JPEG コントロール画面に表示されるファイル / グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル / フォルダの順序と異なることがあります。

MP3 ディスクについて

- MP3 ファイルの ID3 タグには対応していません。
- MP3 ファイルがサンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成された MP3 ディスクを推奨します。

JPEG ディスクについて

- JPEG ファイルの解像度は「640 × 480」をおすすめします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、水平解像度が 2400 ピクセルを超える画像は表示できません。
- JPEG ファイルを静止画再生（☞**92** ページ）しているときは、スクリーンセーバー機能は働きません。
- 本機で再生できるJPEGファイルはベースライン方式です。
- 再生できないJPEGファイルの場合は、黒い画面になります。

オーディオフォーマットについて

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声の信号には、次の3 種類のフォーマットがあります。

ドルビーデジタル (Dolby Digital)

サラウンド方式の一つで、音質を損なうことなく音声データを圧縮し、フロント2ch、センター1ch、リア2chおよびサブウーハー0.1ch の5.1ch まで対応しています。
ただし、すべてのドルビーデジタルディスクが5.1ch で収録されているとは限りません。

DTS Digital Surround（サラウンド）

サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じく最大で5.1ch です。音声データの圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのある再生が可能です。ただし、すべてのDTS 対応のディスクが5.1ch で収録されているとは限りません。

リニアPCM

主にCDなどで使われているデジタル信号方式の一つです。

- フォーマット、および本機と接続するテジタル音声機器に応じて、DVD設定メニューの「音声メニュー➡デジタルOUT」の設定を変更する必要があります。詳しくは、**74**、**75** ページをご覧ください。

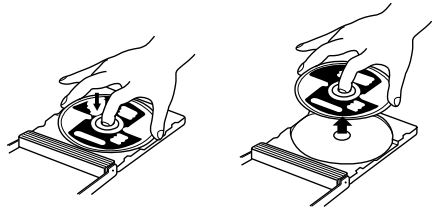
商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTS 及び DTS 2.0+Digital Out はデジタルシアターシステムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVD ビデオのロゴは商標です。
- 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送は録画・ダビングできません。
- 本機で録画・編集したものや縮小画面等を、営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

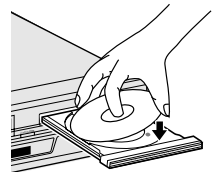
ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。

- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面（文字の書かれていない面）を汚したり、ラベル面（文字の書かれている面）に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

ディスクの入れかた

文字のある面を上にしてディスクトレイの上に置きます。再生するディスクによっては大きさが違いますので、溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

- 8センチディスクは、内側の凹部に置きます。

ディスクの保管

使用するディスクは、ホコリ、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器のそばや車の中など

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたホコリや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

設置と準備の進めかた

設置と準備の進めかた

お客様ご自身で、本機の接続をされるときには、次の順序に従ってください。

❶ 付属品を確かめる

❷ 本機にアンテナとテレビをつなぐ
(☞20ページ)

❸ 本機のリモコンの設定をする
(お持ちの機器を操作できるように設定します。)
・テレビのメーカー(☞27ページ)
・ビデオデッキのリモコンコード
(☞28ページ)

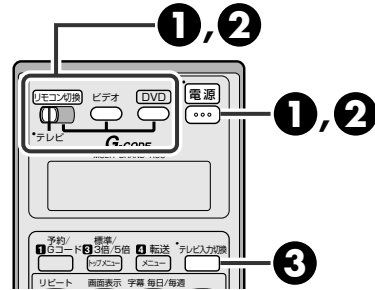
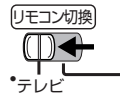
❹ 受信チャンネルを設定する
・一括チャンネル合わせ(☞29ページ)
・オートチャンネル合わせ(☞30ページ)

❺ ガイドチャンネルを設定する
(☞39ページ)

❻ 日付と時刻を設定する
(☞41ページ)

これで設置と準備が終わりました

テレビに本機の画面を出す

左の操作の手順❸の設定が終了したときに、テレビに本機の画面を出し、正しく接続できたかどうかを確かめてください。
テレビで本機のメニュー画面などを見るときも、下記の操作を行ってください。

❶ リモコン切換スイッチを「テレビ」側にして、[電源]を押してテレビの電源を入れる

❷ リモコン切換スイッチを「ビデオ/DVD」側にして、[電源]を押して本機の電源を入れる

- ビデオを操作するときは、**[ビデオ]**を押します。
- DVDプレーヤーを操作するときは、**[DVD]**を押します。

❸ [テレビ入力切換]を押して、テレビの入力を「ビデオ1」などの入力に切り換える

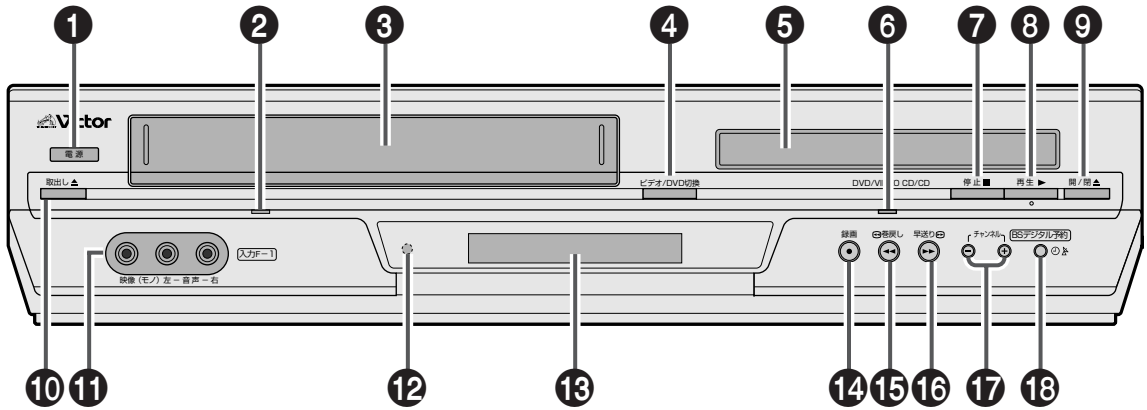
- 例えば、ご使用のテレビのビデオ1端子に接続しているときは「ビデオ1」にするなど、本機を接続した入力端子にあわせて切り換えてください。

❹ 録画済のカセットを再生して、本機の画面が映っていることを確かめる

- またはリモコンの**[設定]**を押して、メニュー画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。(☞42ページ)
(メニュー画面を消すには、もう一度**[設定]**を押す。)

各部の名称

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。詳しい説明が記載されています。

本体前面

❶ **電源ボタン**
本機の電源を「入／切」します。

❷ **ビデオランプ**
ビデオ側を選んだときに緑色に点灯します。

❸ **ビデオカセット挿入口**
ビデオカセットを入れます。

❹ **ビデオ／DVD切換ボタン**
ビデオ側またはDVD側に切り換えるときに押します。

❺ **ディスクトレイ**（☞**76**ページ）
❾の［開／閉（▲）］を押すとディスクトレイが開閉します。

❻ **DVDランプ**
DVD側を選んだときに緑色に点灯します。

❼ **停止（■）ボタン**
録画や再生を止めるときに押します。

❽ **再生（►）ボタン**
再生を始めるときに押します。

❾ **開／閉（▲）ボタン**（☞**76**ページ）
ディスクトレイを「開／閉」するときに押します。

❿ **取出し（▲）ボタン**（☞**46**ページ）
ビデオカセットを取り出すときに押します。

⓫ **映像／音声入力（F-1）端子（前面扉内）**
（☞**68** ページ）
ビデオカメラなどの映像をダビングしたいときにお使いください。

⓬ **リモコン受光部**（☞**25**ページ）

⓭ **表示窓**（☞**17**ページ）

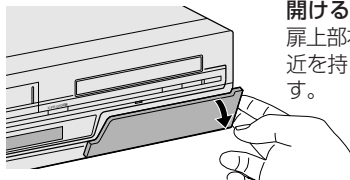
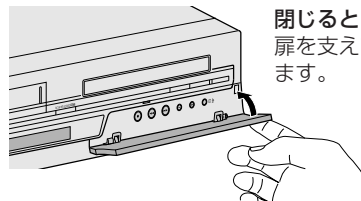
⓮ **録画（●）ボタン（前面扉内）**（☞**48、49** ページ）
録画を始めるときに押します。録画中にくり返し押すと、録画時間を30分単位で設定できます。

⓯ **巻戻し（◄◄）ボタン（前面扉内）**
（☞**47** ページ）

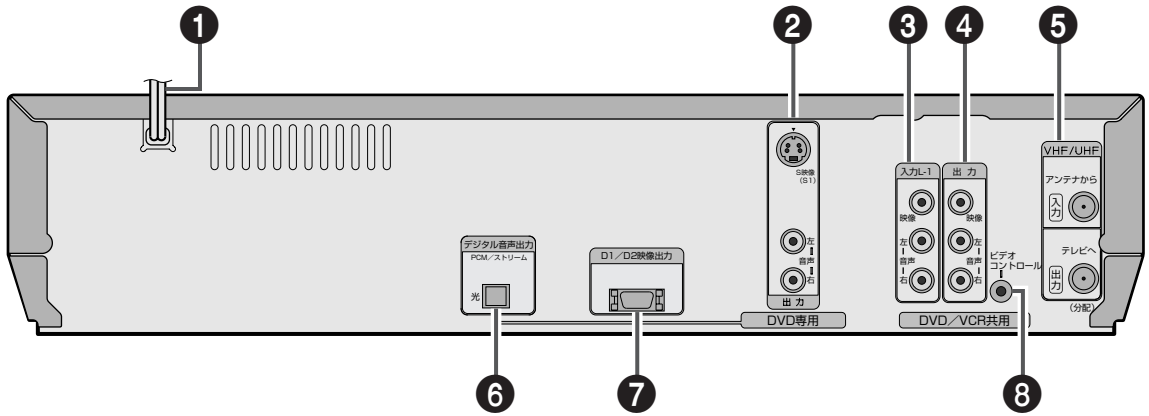
⓰ **早送り（►►）ボタン（前面扉内）**
（☞**47** ページ）

⓱ **チャンネル（＋／－）ボタン（前面扉内）**

⓲ **BSデジタル予約ボタン（前面扉内）**
（☞**62、63** ページ）

本体扉の開閉について

開けるときは
扉上部右端にある「引-開」付近を持って、ゆっくり開けます。

閉じるときは
扉を支えてゆっくり閉じます。

● 左側前面扉も同じ様に開閉します。

本体背面

❶ **電源コード**
家庭用のコンセント（AC 100V）につなぎます。

❷ **S 映像（S1）*／音声出力端子**
（☞**82** ページ）
DVD からの S 映像、音声出力専用端子です。

❸ **映像／音声入力(L-1)端子**
（☞**22 ～ 24、68** ページ）
外部ビデオ機器の映像／音声出力端子とつなぎます。

❹ **映像／音声出力端子**
（☞**21 ～ 24、69** ページ）
テレビまたは他のAV機器の映像／音声入力端子とつなぎます。

❺ **VHF ／ UHF 入力端子**（☞**20** ページ）
VHF ／ UHF アンテナをつなぎます。

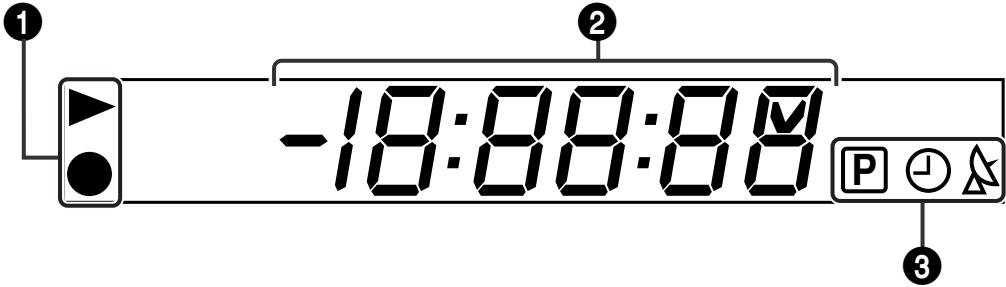
VHF ／ UHF 出力端子（☞**20** ページ）
テレビのVHF／UHFアンテナ入力端子とつなぎます。

❻ **光デジタル音声出力端子**（☞**98、99** ページ）
DVD からのデジタル音声信号が出力される専用端子です。

❼ **D1 ／ D2 映像出力**（☞**82** ページ）
DVD からのコンポーネント映像信号が出力される専用端子です。

❽ **ビデオコントロール端子**
（☞**23、24** ページ）
BS デジタル機器から、BS デジタルリンク予約（☞**62** ページ）をするときにお使いください。

＊S1 映像信号
S 映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。画像サイズが 16：9のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

本体表示窓

❶ **再生／録画表示**
▶　：再生中に点灯します。
●　：録画中に点灯します。
　　ワンタッチタイマー録画中は点滅します。

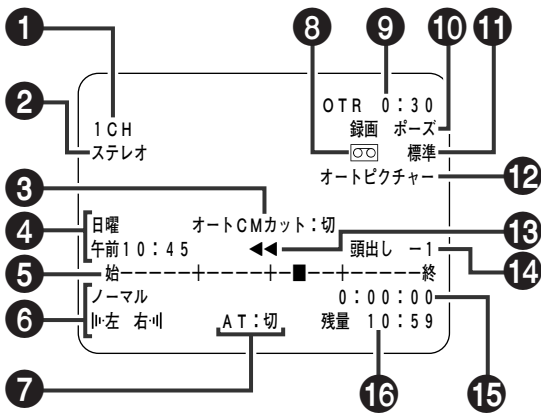
❷ **カウンター／チャンネル表示**
テープの走行時間、残量、チャンネル番号、時計、グループ番号、タイトル番号、チャプター番号、トラック番号や録画スピードなどを表示します。

❸ **プログレッシブスキャン(P)表示**
プログレッシブスキャンモードを選んだときに点灯します。

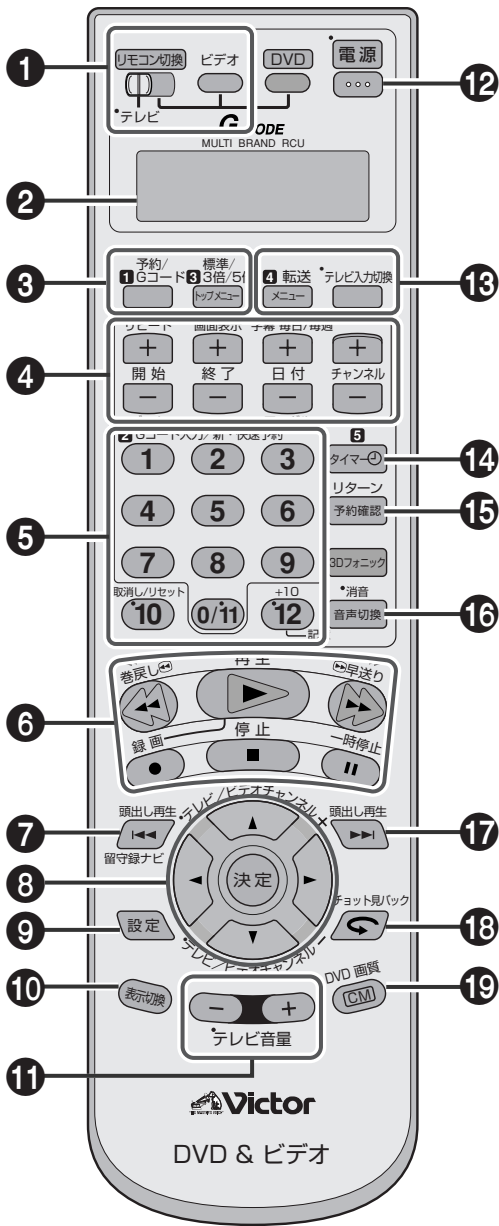
タイマー(◷)表示
録画予約待機中に点灯します。

BSデジタル予約(⚠)表示
BSデジタルリンク予約または着信予約時は◷と⚠を同時に点灯します。

テレビ画面表示(ビデオのみ)

リモコンの[画面表示]を押すと現在の状態を表示します。もう一度押すと消えます。

❶ チャンネル番号
❷ 受信放送の音声
❸ オートCMカット
(☞55ページ)
❹ 曜日／時刻
❺ テープ走行位置
❻ 音声出力
(☞59ページ)
❼ オートトラッキング
(☞58ページ)
❽ カセットの有無
❾ ワンタッチタイマー録画時間
❿ テープ走行
⓫ 録画スピード
⓬ オートピクチャー
(☞61ページ)
⓭ テープ走行方向
⓮ 頭出し番号
(☞56ページ)
⓯ カウンター
⓰ テープ残量

- 設定メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときに表示します。
  同時にすべて表示されることはありません。
- テープの走行時間、残量、チャンネル番号、時計や録画スピードなどが本体表示でわかりにくいときは、テレビ画面表示をご使用になることをおすすめします。

リモコン（テレビ／ビデオ操作部）

❶ リモコン切換（テレビ／ビデオ）スイッチ
ビデオボタン

❷ 表示窓

❸ 予約/Gコードボタン（☞50、51ページ）
標準（SP）/3倍（EP）/5倍（SEP）ボタン
（☞48、50～52ページ）

❹ 新・快速予約ボタン（☞51ページ）
開始＋/ーボタン
終了＋/ーボタン
画面表示（＋）ボタン
日付＋/ーボタン
毎日/毎週ボタン（＋）
チャンネル＋/ーボタン

❺ 数字ボタン（1～9、0/11）
Gコード番号を入力するときに使用します。
（☞50ページ）
記憶ボタン（+10/12）（☞35、36、38ページ）
取消し／リセットボタン（10）
（☞37、54、58ページ）
テレビチャンネルボタン（1～12）（☞26ページ）

❻ テープ操作ボタン（☞46～48ページ）
巻戻し（◀◀）、再生（▶）、早送り（▶▶）、
録画（●）、停止（■）、一時停止（❚❚）

❼ 頭出し再生（|◀◀）ボタン（☞56ページ）
留守録ナビボタン（☞56ページ）

❽ メニュー操作ボタン
メニュー（▲／▼／◀／▶）ボタン
テレビ／ビデオチャンネル＋／ーボタン
決定ボタン

❾ 設定ボタン（☞42ページ）
本機のビデオの設定メニューを呼びだすときに使います。

❿ 表示切換ボタン（☞58ページ）

⓫ テレビ音量＋／ーボタン（☞26ページ）

⓬ 電源ボタン（テレビ／ビデオ）

⓭ 転送ボタン（☞50～52ページ）
テレビ入力切換ボタン（☞26ページ）

⓮ タイマー（◴）ボタン（☞50～54ページ）

⓯ 予約確認ボタン（☞53、54ページ）

⓰ 消音／音声切換ボタン（☞26、59ページ）

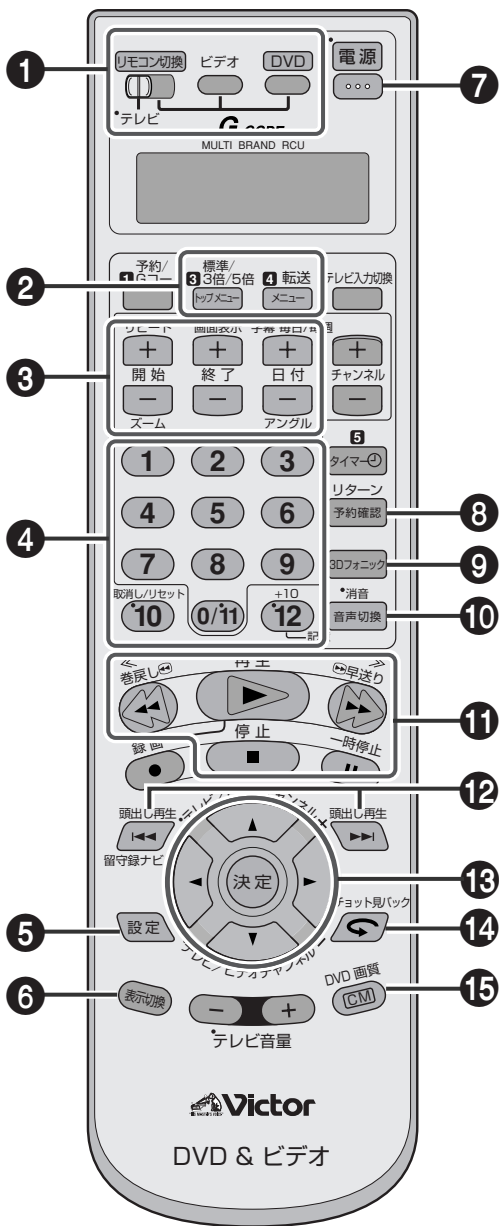
⓱ 頭出し再生（▶▶|）ボタン（☞56ページ）

⓲ チョット見バック（↺）ボタン（☞57ページ）

⓳ CMボタン（☞55ページ）

次の操作はリモコンではできません。
本体側での操作になります。

- テープの取り出し（☞46ページ）
- ワンタッチタイマー録画（☞49ページ）
- BSデジタル予約（☞62、63ページ）

リモコン(DVD操作部)

❶ リモコン切換(DVD)スイッチ

DVDボタン ※長押し(3秒以上)にご注意ください。

スキャンモード切り換えボタン(☞**83**ページ)
長押し(3秒以上)してプログレッシブ(高画質)とインターレース(従来の画質)を切り換えます。

❷ トップメニュー/メニューボタン

トップメニューボタン(☞**80**ページ)
DVDメニューやビデオCDのメニュー画面を表示させるときに押します。

メニューボタン(☞**80**ページ)
DVDメニューやビデオCDやスーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール)機能を使うときに押します。

❸ DVD操作ボタン

リピートボタン(☞**85, 93**ページ)
リピートモード(A-Bリピート以外)を設定するときに押します。

ズームボタン(☞**86**､**93**ページ)
画面を拡大表示させるときに押します。

画面表示ボタン(☞**88**~**90**ページ)
テレビ画面にステータスバーやメニューバーを表示させるときに押します。

字幕ボタン(☞**84**ページ)
字幕が記録されたDVDビデオを再生中に、字幕言語の切り換えるときに使います。

アングルボタン(☞**85**ページ)
マルチアングルで収録されたDVDビデオを再生中に、アングルを切り換えるときに使います。

❹ 数字ボタン(0/11、1~10、+10/12)

トラック、タイトル、グループ、チャプター、シーン、時間、メニュー項目の選択

❺ 設定ボタン(☞72､94ページ)

DVD設定メニューを表示させるときに押します。

❻ 表示切換ボタン(☞77ページ)

本体表示窓の表示を切り換えるときに使います。

❼ 電源ボタン(DVD)

❽ リターンボタン(☞80ページ)

ビデオCDやスーパービデオCDで前のメニュー画面に戻るときに押します。

❾ 3Dフォニックボタン(☞86ページ)

2本のスピーカーだけでサラウンド効果を楽しみたいときに使えます。

❿ 音声切換ボタン(☞84ページ)

音声言語/音声を選ぶときに押します。

⓫ ディスク操作ボタン

早戻し(◀◀)、再生(▶)、早送り(▶▶)、
停止(■)、一時停止(❚❚)

⓬ スキップ(I◀◀/▶▶I)ボタン

前あるいは次のチャプターやトラックの頭にスキップするときに押します。またディスクを再生中に押し続けると早戻し/早送り再生ができます。(MP3ディスクを除く)
ビデオCDのメニュー画面の選択にも使えます。

⓭ メニュー操作ボタン

メニュー(▲/▼/◀/▶)ボタン

決定ボタン

⓮ チョット見バック(↻)ボタン(☞78ページ)

再生中の映像を約10秒前に戻します。

⓯ DVD画質ボタン(☞87ページ)

画質を調節するときに押します。

次の操作はリモコンではできません。
本体側での操作になります。

- ディスクトレイの開閉(☞**76**ページ)

アンテナとテレビをつなぐ

アンテナ側

アンテナコード

VHF/UHF混合のアンテナを接続する場合

VHF アンテナ　UHF アンテナ

壁のアンテナ端子

VHF/UHF別々のアンテナを接続する場合

VHF アンテナ　UHF アンテナ

壁のアンテナ端子

300Ωフィーダー線

VHF/UHF混合器
(別売:VZ-84)

アンテナ入力へ

本機
背面側

入力L-1　出力　映像　左　音声　右　ビデオ コントロール　VHF/UHF　アンテナから　入力　テレビへ　出力

アンテナ出力へ

アンテナ
コネクター
(別売:VZ-71A)

テレビ側

アンテナコード

アンテナコード（付属）

75ΩF型端子付テレビへ接続する場合

VHF/UHF

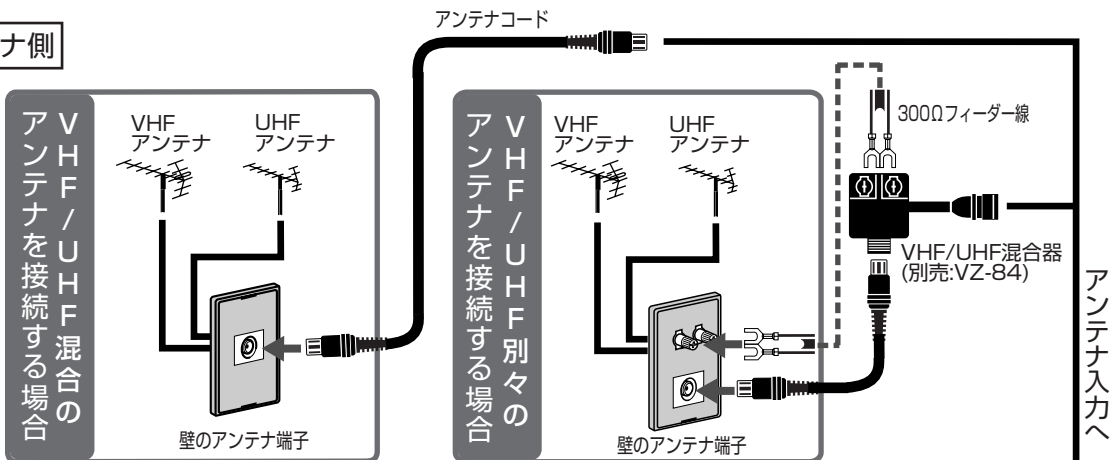
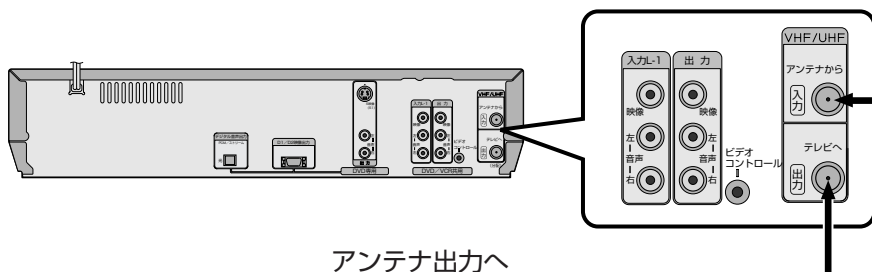
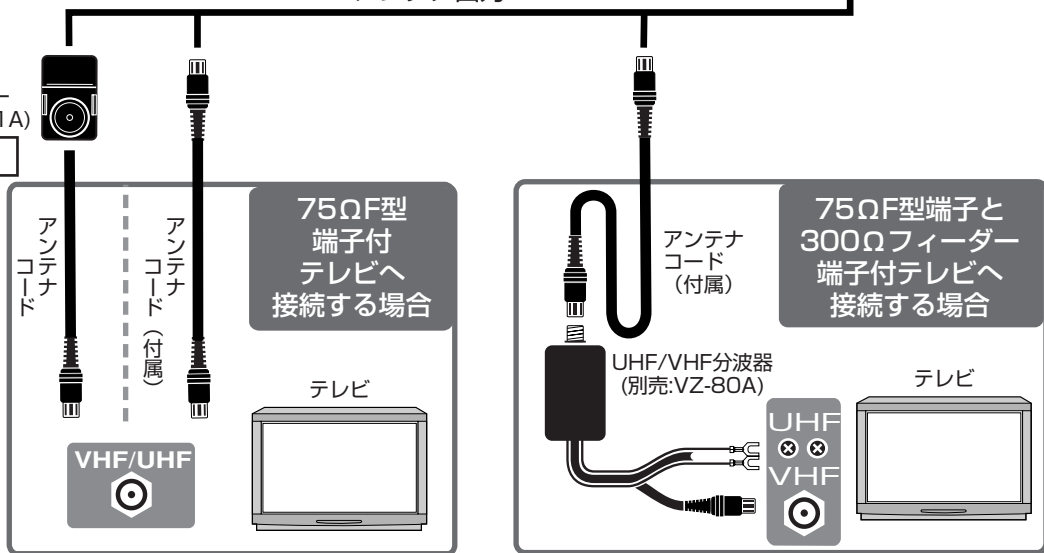
テレビ

アンテナ
コード
（付属）

75ΩF型端子と300Ωフィーダー端子付テレビへ接続する場合

UHF/VHF分波器
(別売:VZ-80A)

UHF　VHF

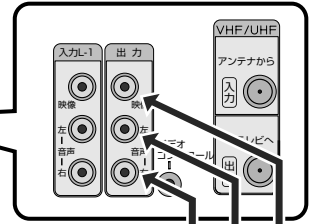
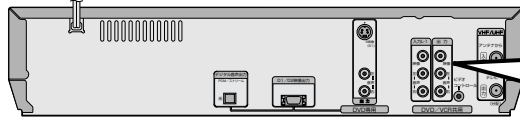
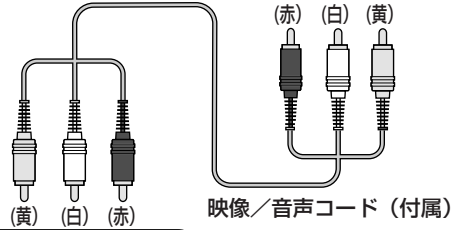
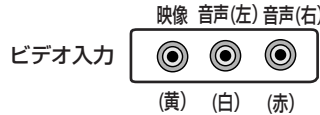
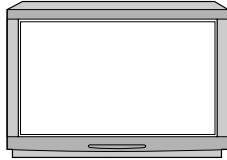
テレビ

● 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

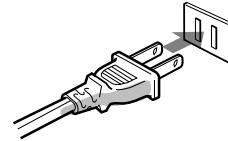
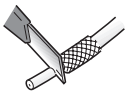
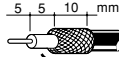
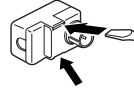
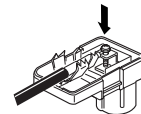
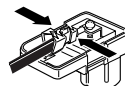
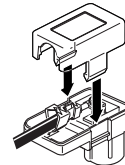
● テレビに映像入力端子がないとき
別売のRFコンバーター(RF-VD550T)を最寄りのビクターサービス窓口にてお買い求めください。(☞**106**～**107**ページ)
詳細はRFコンバーター(RF-VD550T)の取扱説明書をご覧ください。

● ビデオを見るときは
テレビで1チャンネルまたは2チャンネル(別売のRFコンバーターの ビデオチャンネル切換えスイッチで選ばれているチャンネル)を選びます。

アンテナは

● 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
● 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
● アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
● アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

映像／音声コードをつなぐ

・本機からの映像を見るときは
本機をつないでいるテレビの「入力切換(ビデオ1、ビデオ2など)」を選びます。
選びかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

電源プラグはすべての接続が終わってから壁のコンセントに差し込みます。

同軸ケーブルの加工・組立

CATV をつなぐ

CATV放送を見るときは

図のように、ホームターミナル(アダプター)をつないでください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。

テレビ側

テレビ

：信号の流れ

(黄) (白) (赤)

映像／音声入力端子へ

映像／音声コード(付属)

映像／音声出力端子へ

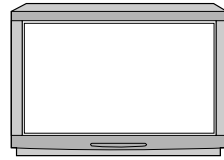
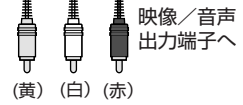
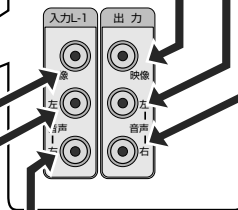
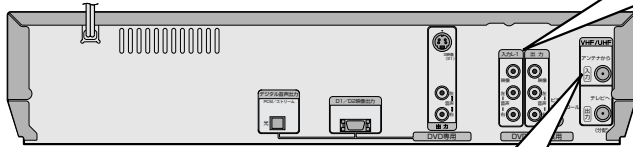
(黄) (白) (赤)

本機背面側

入力L-1　出力

VHF/UHF
アンテナから
入力

VHF/UHFアンテナ入力端子へ

(黄) (白) (赤)

映像／音声入力端子へ

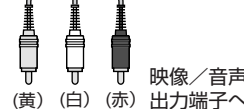
映像／音声コード(別売)

ホームターミナル側

アンテナコード(別売)

ケーブル出力端子へ

映像／音声出力端子へ

(黄) (白) (赤)

家庭のコンセントへ

ホームターミナル(別売)

- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

CATV 放送を受信するには

1. アンテナコード(付属)で本機の VHF/UHF アンテナ入力端子とホームターミナルまたは CATV チューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できる CATV 放送を空いているチャンネルに割り当てます。(☞**30** ページ)

CATV 放送を見るときは

1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機の[**チャンネル +/−**]を押し、接続した入力を選びます。
   前面の入力は「F-1」、背面の入力は「L-1」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

BS デジタルチューナー内蔵テレビをつなぐ

BS デジタルリンク予約または着信予約をするときは、本機背面の「入力L-1」端子に映像／音声コードを接続してください。

• 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

BSデジタルチューナー内蔵テレビ

録画予約の方法は ☞62ページをご覧ください。

BS/CS デジタルチューナーをつなぐ

BS デジタルリンク予約または着信予約をするときは、本機背面の「入力L-1」端子に映像／音声コードを接続してください。

本機背面側

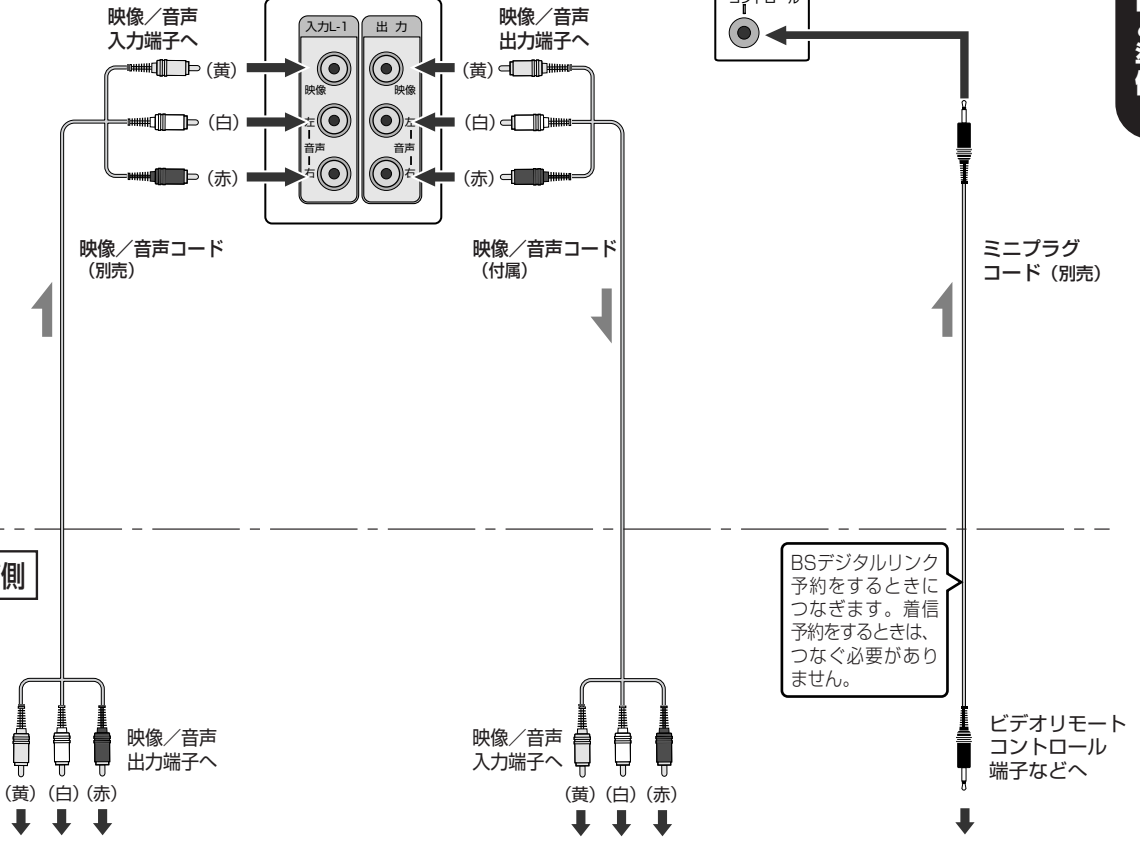
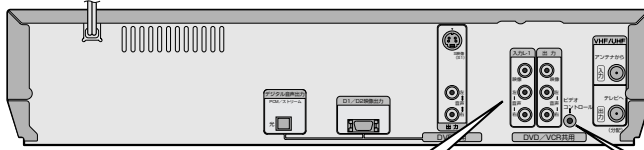
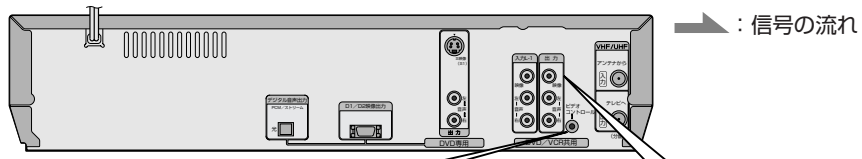
：信号の流れ

ビデオ
コントロール

映像／音声
入力端子へ

入力L-1　出 力

映像　映像
音声　音声

(黄)　(白)　(赤)

映像／音声
出力端子へ

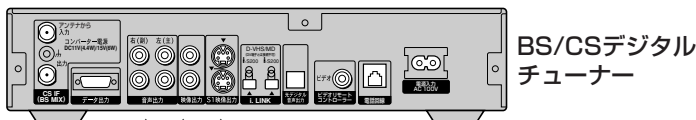
BSデジタルリンク予約をするときにつなぎます。着信予約をするときは、つなぐ必要がありません。

ミニプラグ
コード（別売）

映像／音声コード
（別売）

映像／音声コード
（付属）

チューナー側

ビデオリモート
コントロール
端子などへ

映像／音声
出力端子へ
(赤) (白) (黄)

BS/CSデジタル
チューナー

テレビ側

(赤) (白) (黄)

映像／音声
出力端子へ

D端子
出力へ

映像／音声
入力端子へ (赤) (白) (黄)

映像／音声
入力端子へ
(黄)
(白)
(赤)

映像／音声コード（別売）

D端子入力へ

テレビ

コンポーネントビデオコード（別売）

録画予約の方法は ☞**62**ページをご覧ください。

● 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

デジタル CS 放送を見るには

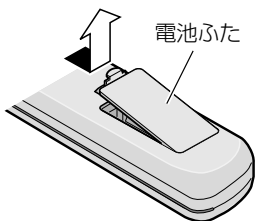
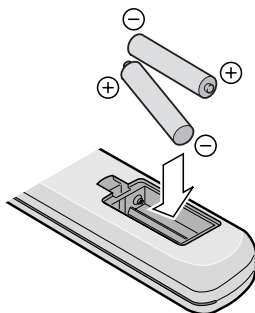
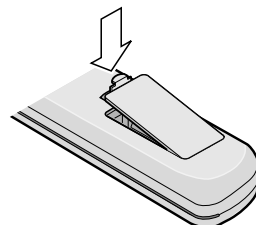
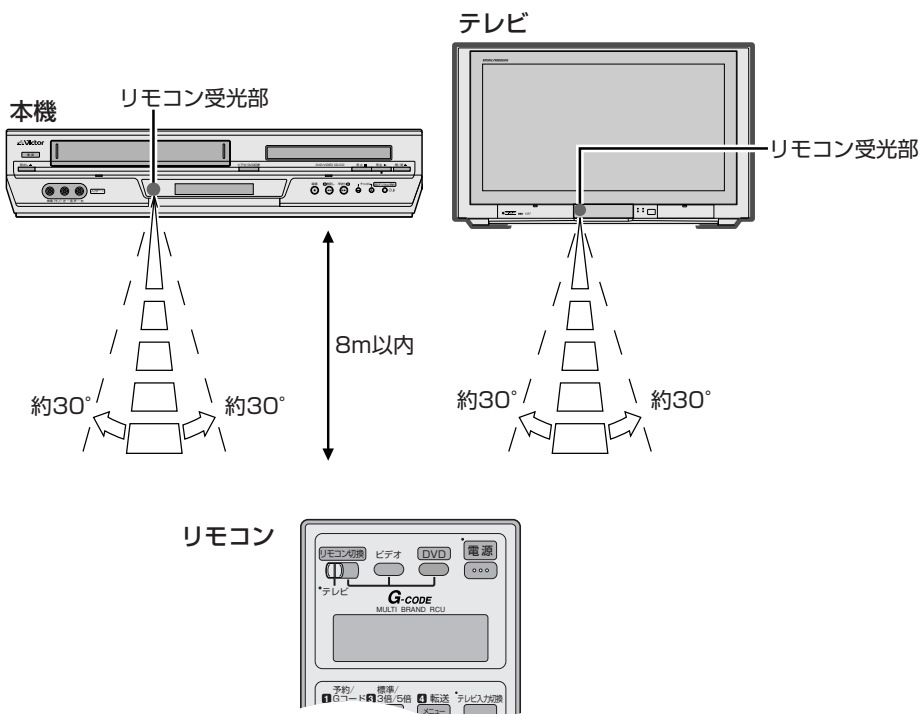
1. デジタルCSチューナーで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機の[**チャンネル +/−**]を押し、接続した入力を選びます。
   前面の入力は「F-1」、背面の入力は「L-1」を選びます。上図のように接続したときは「L-1」を選びます。

デジタル CS 番組を録画するには

1. つめのついたテープを入れます。
2. デジタル CS チューナーの電源を入れます。
3. 録画したいデジタルCS放送のチャンネルを選びます。
4. 本機の[**チャンネル +/−**]を押し、ボタンで接続した入力を選びます。
   前面の入力端子：「F-1」
   背面の入力端子：「L-1」
5. [**標準／３倍／５倍**] を押して、録画スピードを選びます。
6. リモコンの[**録画(●)**]を押しながら[**再生(▶)**]を押します。(本体の場合は[**録画(●)**]のみ押します)

リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

❶ 電池ふたをはずす　❷ 乾電池(単3)を2個入れる　❸ ふたをする

リモコンの操作範囲

リモコン

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池を交換するときは

- 単３乾電池をご使用ください。
- ２本とも新しいものと交換してください。（使用済みのものを混ぜないでください）
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

ご注意

乾電池についてのご注意

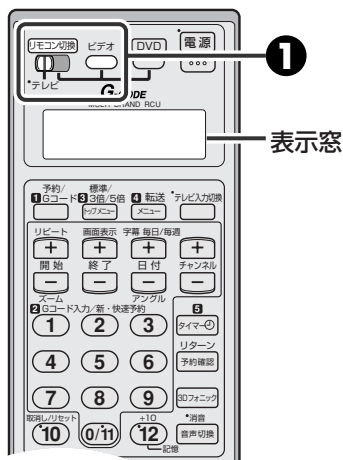
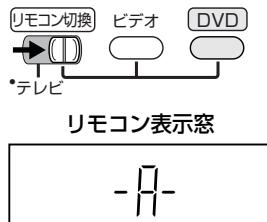
- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5分以上たってから再度乾電池を入れ、操作してください。

リモコンの使いかた（つづき）

ビデオとテレビの切り換え

ビデオを操作する場合

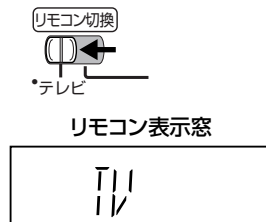
❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

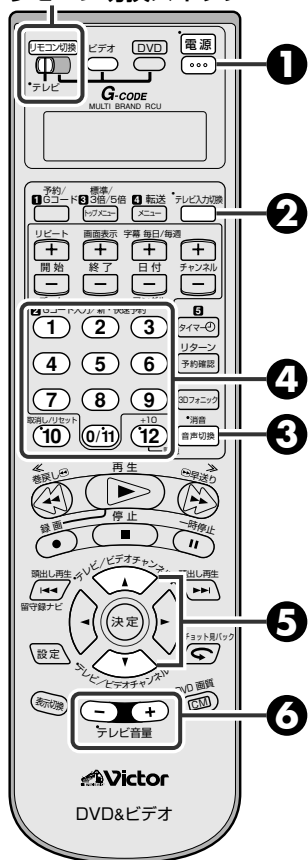
リモコン表示窓

テレビを操作する場合

❶ リモコン切換スイッチを「テレビ」側にする

リモコン切換

テレビ

リモコン表示窓

- リモコン切換スイッチが「テレビ」側の位置でも、「ビデオの基本操作」、「タイマー予約」や「G コード予約」の操作、「設定メニューを呼び出す」操作は切り換えずに行うことができます。

テレビの操作

リモコンのメーカー設定(☞27ページ)をすると次の操作ができます。
（テレビの操作をするときは、まずリモコン切換スイッチを「テレビ」側にしてください。）

❶ テレビ電源ボタン
テレビの電源を入／切します。

❷ テレビ入力切換ボタン
テレビのビデオ（外部）入力切換ができます。

❸ 消音ボタン
テレビの音声を消すことができます。

❹ テレビチャンネルボタン（1～12）
見たいチャンネルの数字ボタンを押します。

❺ テレビチャンネル＋／－ボタン
押すごとにチャンネルが変わります。

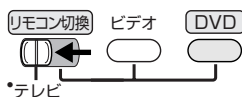
❻ テレビ音量＋／－ボタン
音量を調節します。

次のボタンは、リモコン切換スイッチの位置に関係なく操作できます。
- ［テレビ入力切換］ボタン
- ［テレビ音量＋／－］ボタン

他社のテレビを操作できるようにする

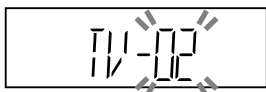
リモコンで、国内メーカー12社のテレビを操作できます。
お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作(電源の入/切、チャンネルの切換、外部入力の切換、消音(ミュート)、音量の調節)ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

準備
- テレビのリモコンを使って電源を切っておきます。

❶ リモコン切換スイッチを「テレビ」側にする

❷ [ビデオ]を3秒以上押す

リモコン表示窓

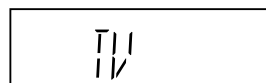
❸ 数字ボタンを押してメーカー番号(2桁)を入力する

リモコン表示窓

- 松下製のときは[0/11]と[2]の順に押します。
- 数字の0は[0/11]を押します。

メーカー番号一覧

メーカー名	メーカー番号
ビクター	01
松下	02または03
三菱	04
ソニー	05
日立	06
東芝	07
三洋	08または09
シャープ	10
パイオニア	11
NEC	12
フナイ	13、15または16
アイワ	14

❹ [決定]を押す

リモコン表示窓

❺ [電源]を押す

- [電源]を押して、設定した機器の電源が入れば、設定は完了です。電源が入らないときは、もう一度、手順❶から❹の操作をしてみてください。
- 松下製、三洋製、フナイ製のテレビをお使いのときは、別のメーカー番号を入力してみてください。
- テレビによっては、操作できないものがあります。

ご注意

- リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。電池を交換したときなどは、メーカー番号の設定を、もう一度やり直してください。

リモコンの使いかた（つづき）

リモコンコードを変える

2台以上の当社製ビデオを同じ場所で別々に操作しようとすると、お互いのリモコンの影響で正しい操作ができなくなります。
そこで、本機のリモコンコードを変えることにより、お互いに影響し合わないようにすることができます。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にする

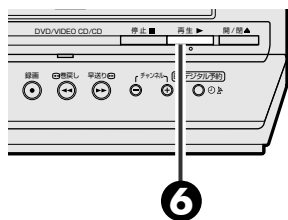
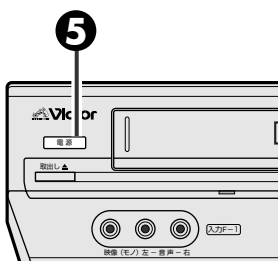
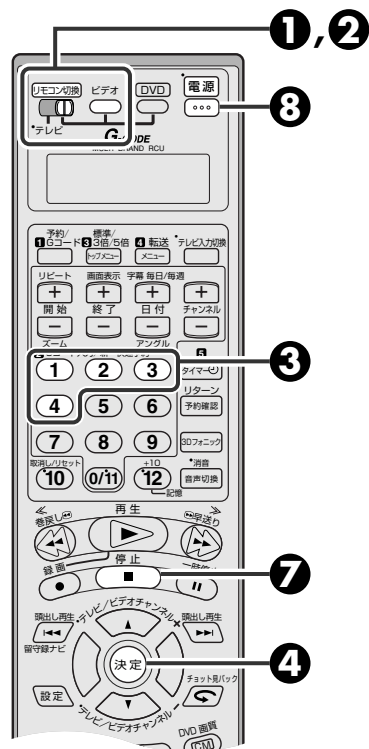
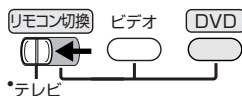
❷ [ビデオ]を3秒以上押す

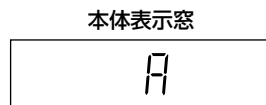
リモコン表示窓

❸ 数字ボタンの[1]から[4]のうち1つを押す

[1]:「Aコード」に変更する
[2]:「Bコード」に変更する
[3]:「Cコード」に変更する
[4]:「Dコード」に変更する

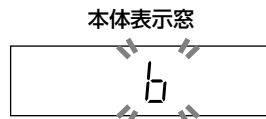
❹ [決定]を押す

リモコン表示窓

❺ 本体の[電源]で電源を切る

❻ 本体の[再生(►)]を5秒以上押す

本体表示窓

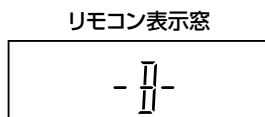
- 本体表示窓に現在設定されている本体側のリモコンコードが表示されます。

❼ 本体に向けてリモコンの[停止(■)]を押す

本体表示窓

- リモコンで設定したコードが点滅して本体に設定されます。

❽ [電源]を押す

- **[電源]**を押して設定した機器の電源が入れば、設定は完了です。

メモ

- ビデオ操作時には表示窓に、リモコンコード(A、B、C、D)が表示されます。
- お買い上げ時は、リモコンも本体も「Aコード」に設定されています。
- 当社製ビデオでも、CおよびDのリモコンコードに対応していない機種があります。それぞれの取扱説明書でご確認ください。

ご注意

- リモコンの電池をはずすと、リモコンコードが「A」に戻ります。Aコード以外に設定しているときは、もう一度設定をやり直してください。
- 本体表示窓にリモコンコードが表示されないときは、設定メニューの「モード選択➡ディスプレイオフ」が「入」で設定されてないことをご確認ください。(☞**64**ページ)

受信チャンネルを設定する（VHF／UHFのテレビ番組をご覧になる方へ）

受信チャンネルを自動的に設定する
（一括チャンネル合わせ）

お住まいの地域番号を入力するだけで、受信チャンネルとGコード予約をするためのガイドチャンネルが自動的に設定されます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞**14**ページ)。

準備
- お住まいの地域の地域番号をお確かめください。(☞**31**〜**34**ページ)
- お住まいの地域番号が無いときには、お近くの地域番号を入力するか、**35**ページをご覧ください。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

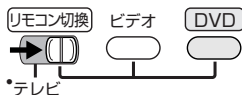
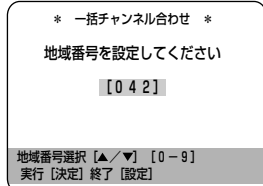
テレビ画面

＊ 設定 ＊
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

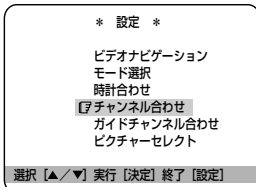
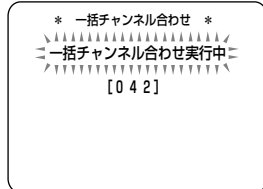
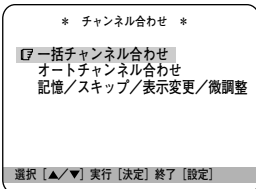
❹ [▲／▼]で「一括チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
☞一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❺ [▲／▼]で地域番号を選ぶ

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
地域番号を設定してください
［０４２］
地域番号選択［▲／▼］［０－９］
実行［決定］終了［設定］

- 押し続けると早く変わります。
- 数字ボタン[0/11〜9]でも選択できます。
  例：地域番号が042
  （東京23区）のとき
  [0/11]、[4]、[2]の順に押す。

❻ [決定]を押す

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ実行中
［０４２］

- 「一括チャンネル合わせ」が実行されます。

❼ [チャンネル＋／－]で受信したチャンネルを確認する

次のような変更がないかたは、「時計合わせをする」へ進んでください。(☞**41**ページ)

- 放送局をひとつずつ追加したいとき：☞**35**ページ参照
- 映りが悪いとき：☞**36**ページ参照
- 不要なチャンネルを飛ばしたいとき：☞**37**ページ参照
- チャンネル表示を変更したいとき：☞**38**ページ参照

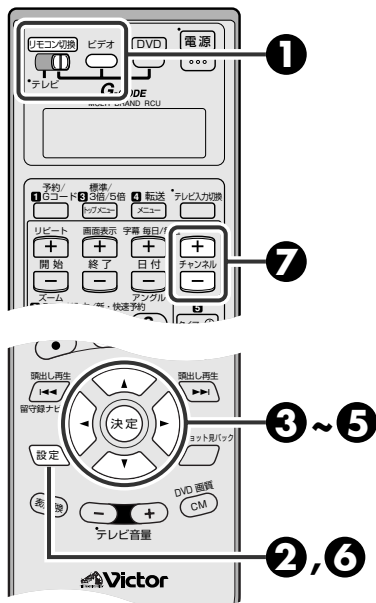
メモ

うまく受信できないチャンネルがあるときは
- お住まいの場所によっては、近隣の地域を選んだ方がうまく受信できることがあります。近県または近隣の地域を選び、もう一度一括チャンネル合わせを行ってみてください。
- 「1」と「2」がある地域番号の場合、「1」でうまく受信できないときは「2」を選んで、もう一度一括チャンネル合わせを行ってみてください。

お買い上げ時の設定に戻したいときは
- 手順❺で「000」を選び［決定］を押してください。

受信チャンネルを設定する（CATV放送をご覧になる方へ）

オートチャンネル合わせで設定する

準備
- UHF/VHFアンテナおよびCATVアンテナの接続をしてください。
（☞**20**、**22**ページ）

メモ CATV放送について

- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。また、CATV放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」では設定されません。
- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）の使用が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面外部入力「F-1」、背面外部入力「L-1」またはビデオチャンネル（1チャンネルか2チャンネル）にします。
- くわしくは、CATV放送会社にお問い合わせください。

受信チャンネルを自動設定できます。自動設定を行った後は、ガイドチャンネルを設定してください。
CATV放送を受信されている方におすすめいたします。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞**14**ページ)。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

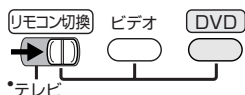
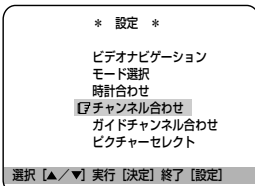
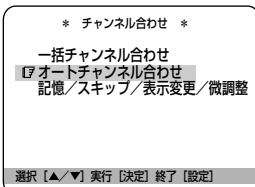
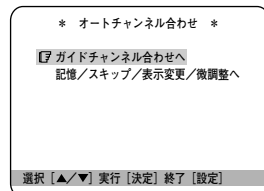
❷ [設定]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

＊ 設定 ＊
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❹ [▲／▼]で「オートチャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
☞オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

- 「オートチャンネル合わせ」が実行されます。

❺ 必要に応じて放送局の設定をする

＊ オートチャンネル合わせ ＊
☞ガイドチャンネル合わせへ
記憶／スキップ／表示変更／微調整へ
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

ガイドチャンネルを合わせるには

①[▲／▼]を押して、「ガイドチャンネル合わせへ」を選び、**[決定]**を押す
②☞**39**ページの手順❹～❽までを行う

放送局を設定するには

①[▲／▼]を押して、「記憶／スキップ／表示変更／微調整へ」を選び、**[決定]**を押す
②放送局を
- **個別に設定する**：☞**35**ページの手順❺～❾までを行う。
- **微調整する**：☞**36**ページの手順❻～❾までを行う。
- **スキップする**：☞**37**ページの手順❺～❽までを行う。

❻ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。

❼ [チャンネル＋／－]で受信したチャンネルを確認する

次のような変更がないかたは、「時計合わせをする」へ進んでください。
（☞**41**ページ）

- チャンネル表示を変更したいとき：☞**38**ページ参照

地域番号一覧表

この表は「受信チャンネルを設定する」(☞**29**ページ)の手順❺で入力する地域番号表です。
お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。(☞**35**ページ)
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
G コード番号を使って録画の予約をするために必要になります。(実際のチャンネルとは異なる場合があります。)

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガ		
		1	2	
都道府県名	地域名(対応都市) 地域番号	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	受信チャン

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

(2004年4月現在)

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー	初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別) 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
北海道	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
北海道	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
北海道	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
北海道	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
北海道	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
北海道	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
北海道	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
北海道	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
北海道	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
北海道	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
北海道	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森(弘前) 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
青森	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
青森	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
岩手	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
岩手	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
宮城	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
宮城	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
秋田	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
秋田	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビュー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
山形	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビュー山形 22/36				山形テレビ 39/38
山形	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビュー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2/90		テレビュー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
福島	いわき 029		テレビュー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
福島	会津若松 030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビュー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		

次ページへ続く

受信チャンネルを設定する（つづき）

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸(勝田) 031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立 032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮1 033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
栃木	宇都宮2 135	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 41/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 44/12
栃木	矢板1 034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
栃木	矢板2 136	NHK総合 40/80		NHK教育 30/90	日本テレビ 36/4		TBS 42/6		フジテレビ 45/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬		（伊勢崎・高崎）											
群馬	前橋 035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生1 036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
群馬	桐生2 137	NHK総合 51/80		NHK教育 57/90	日本テレビ 53/4	群馬テレビ 41/48	TBS 55/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
埼玉		（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越）											
埼玉	さいたま 037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷1 038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
埼玉	熊谷2 138	NHK総合 51/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 30/38	テレビ東京 61/12
埼玉	秩父1 039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
埼玉	秩父2 139	NHK総合 14/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 16/4		TBS 18/6		フジテレビ 29/8		テレビ朝日 38/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 44/12
千葉		（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）											
千葉	千葉 040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
千葉	銚子 041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京		（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）											
東京	23区 042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
東京	八王子1 043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	八王子2 140	NHK総合 33/80	MXテレビ 40/14	NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 31/8		テレビ朝日 45/10		テレビ東京 62/12
東京	多摩1 044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
東京	多摩2 141	NHK総合 49/80	MXテレビ 61/14	NHK教育 47/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10		テレビ東京 59/12
神奈川		（横浜の一部）											
神奈川	＊横浜1 045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
神奈川		（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）											
神奈川	＊横浜2 046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
神奈川	平塚(茅ケ崎) 047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
神奈川	秦野 048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
神奈川	小田原 049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府 050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野1 051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
長野	長野2 052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
長野	松本 053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
長野	飯田 054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
長野	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟(長岡) 056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越 057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		

＊横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜２」をお選びください。
「横浜2」ではうまく受信できないときに、「横浜１」をお選びください。

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山	058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
富山	高岡	059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32
石川	金沢（小松）	060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
石川	七尾	061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井	062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
福井	敦賀	063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜（大垣）	064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
岐阜	高山	065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
岐阜	中津川	066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡			（清水・焼津）											
静岡	静岡	067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
静岡	浜松	068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
静岡	富士（富士宮）	069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
静岡	三島・沼津	070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
静岡	島田	071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
静岡	藤枝	072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知			（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）											
愛知	名古屋	073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
愛知	豊橋（豊川）	074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
愛知	豊田	075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重			（鈴鹿・松坂・四日市）											
三重	津	076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
三重	伊勢	077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59/33	名古屋テレビ 61/11	
三重	名張	078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津	079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
滋賀	彦根	080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治）	081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
京都	舞鶴	082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
京都	福知山	083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪			（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）											
大阪	大阪	084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸1	085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
兵庫	神戸2	142		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 31/4		朝日放送 41/6		関西テレビ 43/8		読売テレビ 47/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 45/90
兵庫	神戸灘	086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
兵庫	川西	087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
兵庫	三木	088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
兵庫	姫路	089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
兵庫	明石（加古川）	090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原）	091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/−	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
奈良	五條	092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山	093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
和歌山	海南・田辺	094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90

次ページへ続く

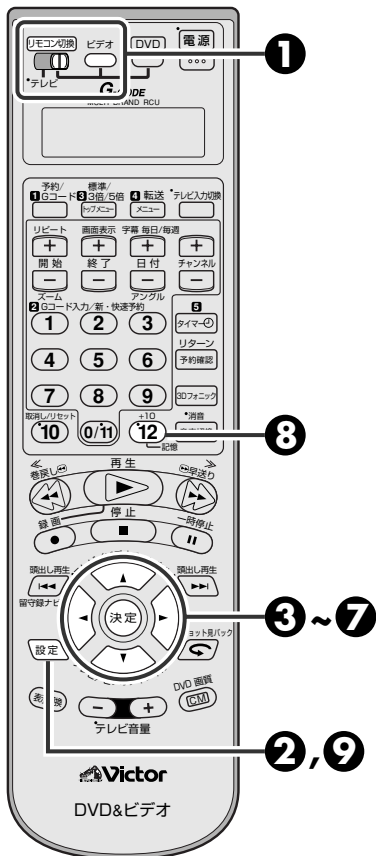
受信チャンネルを設定する（つづき）

映らないときは、お近くの地域番号もためしてください。

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
鳥取	鳥取	095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江	096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
島根	浜田	097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			
岡山	岡山(倉敷)	098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
岡山	津山	099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
岡山	笠岡	100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島	101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
広島	福山	102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
広島	尾道	103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
広島	呉	104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口	105	（徳山・防府） NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
山口	下関	106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
山口	宇部	107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
山口	岩国	108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島	109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松	110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
香川	丸亀	111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山	112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
愛媛	新居浜	113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
愛媛	今治	114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
愛媛	宇和島	115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知	116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡	117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
福岡	久留米	118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
福岡	大牟田	119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
福岡	北九州	120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
福岡	行橋	121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀	122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎	123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
長崎	佐世保	124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
長崎	諫早	125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本(八代)	126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分(別府)	127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
大分	中津	128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎(都城)	129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
宮崎	延岡	130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島	131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
鹿児島	阿久根	132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
鹿児島	鹿屋	133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇(沖縄)	134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

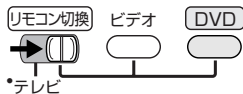
放送局をひとつずつ設定する

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

メモ

- 設定が完了したあとで、Gコード予約するためのガイドチャンネルも設定してください。(☞**39**、**40**ページ)
- お好みのチャンネル番号に変えたいときは、☞**38**ページの操作をしてください。

次のようなときには、放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。

- 「一括チャンネル合わせ」では受信できない放送局があるとき(☞**29**ページ)
- テレビのチャンネルとチャンネル表示を合わせたいとき
- CATV放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき
- 新しく放送局が開局されたとき

例　NHK総合(52チャンネル)をチャンネル表示「1」で見られるようにする。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

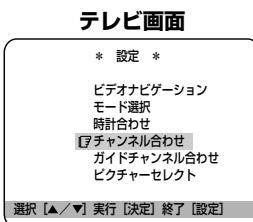
＊ 設定 ＊
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

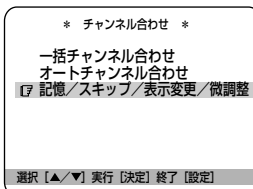
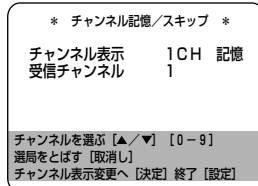
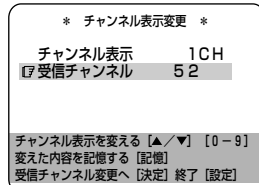
❹ [▲／▼]で「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
☞ 記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❺ [▲／▼]でチャンネル表示を選ぶ

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1
チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［設定］

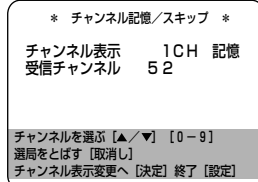
❻ [決定]を2回押して「受信チャンネル」に「☞」を表示する

❼ [▲／▼]で「受信チャンネル」を選ぶ

＊ チャンネル表示変更 ＊
チャンネル表示　1CH
☞受信チャンネル　52
チャンネル表示を変える［▲／▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
受信チャンネル変更へ［決定］終了［設定］

- 受信チャンネルを変更するときは、数字ボタン[0/11～9]を使うこともできます。

例：「52」と入力するには、[5]と[2]を押す。

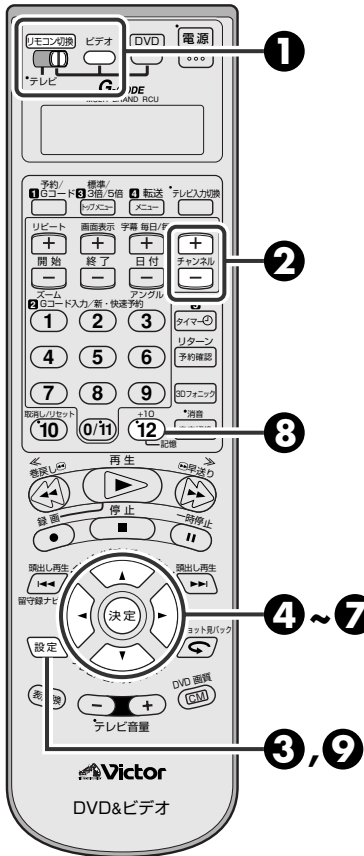
例：「102」と入力するには、[1]と[0/11]と[2]を押す。

❽ [記憶]を押す

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　52
チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［設定］

❾ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。
- 他のチャンネルも変更するときは❷～❾の手順をくり返します。

受信チャンネルを設定する（つづき）

映りの悪いチャンネルを調整する

ノイズの多いチャンネルをよりクリアーに調整する機能があります。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞14ページ)。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [チャンネル＋／－]で映りの悪いチャンネルを選ぶ

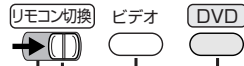
❸ [設定]を押す

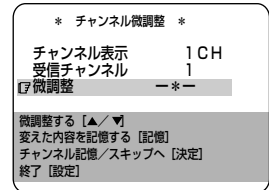
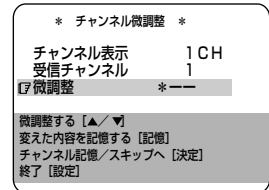
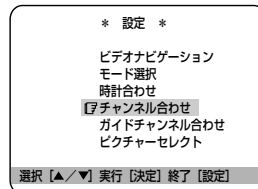
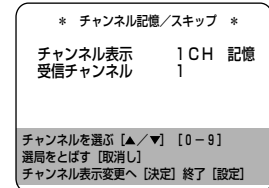
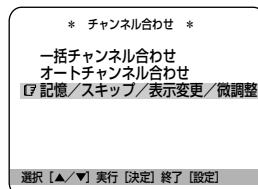
❹ [▲／▼]で「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

＊ 設定 ＊

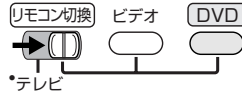
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❺ [▲／▼]で「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

❻ [決定]を3回押して「チャンネル微調整」画面を表示する

❼ [▲／▼]で映像を見ながら微調整する

❽ [記憶]を押す

❾ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。

不要な放送局を受信できないようにする
（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞14ページ)。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

❸ [▲／▼]で「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

＊　設定　＊

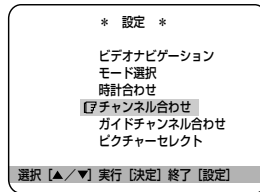
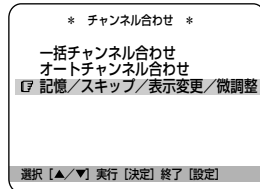
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❹ [▲／▼]で「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊　チャンネル合わせ　＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
☞記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❺ [▲／▼]で飛ばしたいチャンネルを選ぶ

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　６６ＣＨ　記憶
受信チャンネル　　６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［設定］

- 数字ボタン[0/11～9]でも選択できます。
- テレビ画面には選んだチャンネルの映像が、メニュー画面と重なって映ります。

❻ [取消し／リセット]でスキップ設定をする

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　６６ＣＨ　スキップ
受信チャンネル　　６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［設定］

❼ 他の放送局もスキップするときは、手順の❺と❻をくり返す

❽ [設定]を押す

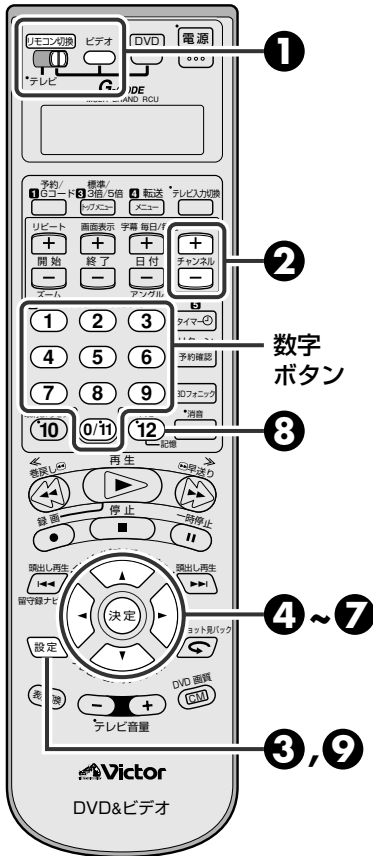
- メニュー画面が消えて終了です。

- チャンネル表示を変更したいときは、☞38ページをご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」をしてください。(☞36ページ)
- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。(☞39、40ページ)

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには

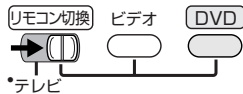
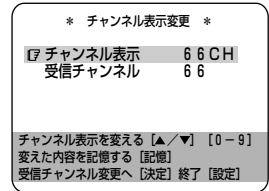
① 「不要な放送局を受信できないようにする」の手順❶から❹までを行う
② ［▲／▼］を押し、受信したい放送局を選ぶ
③ ［記憶］を押す
④ ［設定］を押し、メニュー操作を終了する

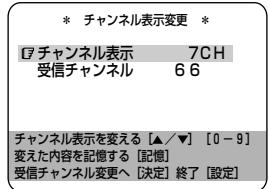
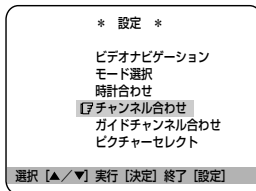
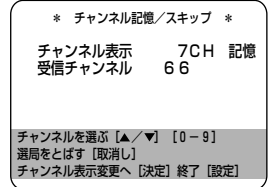
設置と準備

チャンネル表示を変更する

テレビと同じチャンネル表示に合わせたいときなどに設定してください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

例 CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は66チャンネル）を、「7チャンネル」で見られるようにする。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [チャンネル＋／－]で「66チャンネル」を選ぶ

- テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。
- 数字ボタン[0/11～9]でも選べます。

❸ [設定]を押す

❹ [▲／▼]で「チャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

＊ 設定 ＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❺ [▲／▼]で「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び、[決定]を押す

＊ チャンネル合わせ ＊

一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
☞記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❻ [決定]を1回押して「チャンネル表示」に「☞」を表示する

❼ [▲／▼]で「チャンネル表示」を「7」に変える

❽ [記憶]を押す

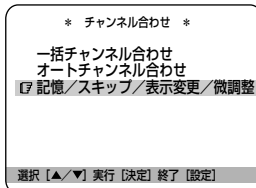
＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示 7CH 記憶
受信チャンネル 66

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［取消し］
チャンネル表示変更へ［決定］終了［設定］

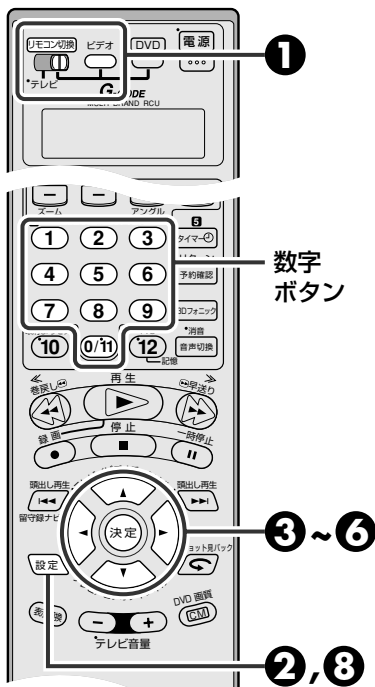
❾ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。
- 他のチャンネルも変更するときは❷～❾の手順をくり返します。

メモ

- 設定が完了したあとで、Gコード予約するためのガイドチャンネルも設定してください。(☞**39**、**40**ページ)

ガイドチャンネルを設定する

Gコード®予約をするためのチャンネル設定をする

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞14ページ)。

次のような操作をされたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。
- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき(☞35 ページ)
- 「一括チャンネル合わせ」のあとで、新たな放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

例　テレビ神奈川（TVK）のガイドチャンネル 42 に設定する。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

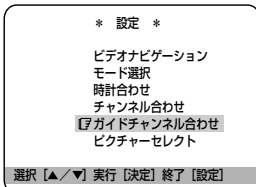
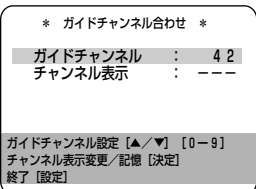
❷ [設定]を押す

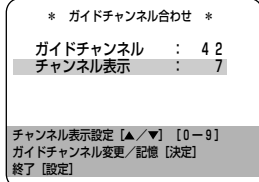
❸ [▲／▼]で「ガイドチャンネル合わせ」を選び、[決定]を押す

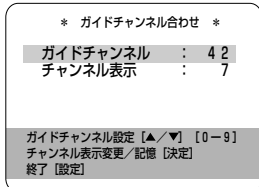
テレビ画面

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❹ [▲／▼]で設定したい放送局のガイドチャンネル番号「42」を選ぶ

- ガイドチャンネル一覧表を参照して入力します。(☞40ページ)
- 数字ボタン[0/11～9]でも選択できます。

❺ [決定]を押したあと[▲／▼]で設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

- 数字ボタン[0/11～9]でも選択できます。

❻ [決定]で変更を確定する

❼ 他にも設定したい放送局があるときは、手順の❹～❻をくり返す

❽ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。

メモ

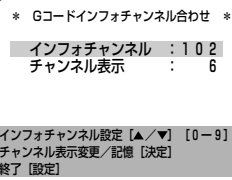
- ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。
- ガイドチャンネルやチャンネル表示を変更するときは、数字ボタン[0/11～9]を押しても入力できます。
  例：「10」と入力するには、[1]と[0/11]を押す。
  例：「102」と入力するには、[1]と[0/11]と[2]を押す。
- ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコード番号による録画の予約ができなくなります。

Gコードインフォのガイドチャンネルを設定する

Gコードインフォ(102～106チャンネル)とは、将来に始められる放送です。
その放送をGコード番号を使って録画するためには、Gコードインフォのためのガイドチャンネルを設定する必要があります。
録画予約の方法はGコード予約と同じです。(☞50ページ)
ただし、Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。

＊　Gコードインフォチャンネル合わせ　＊

インフォチャンネル　：1 0 2
チャンネル表示　：　6

インフォチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［決定］
終了［設定］

ガイドチャンネルを設定する（つづき）

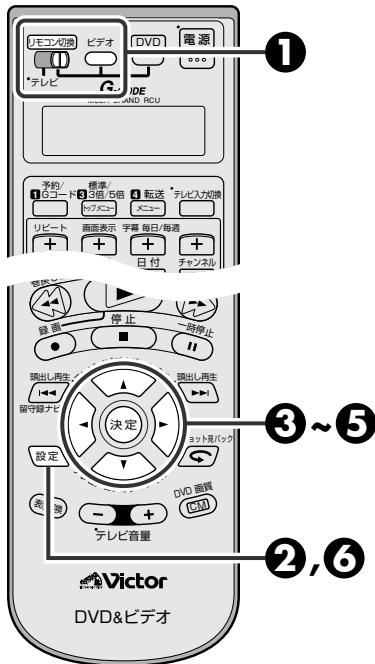
ガイドチャンネル一覧表

（2004年4月現在）

地域	都道府県	放送局	ガイドチャンネル
全国共通		NHK総合	80
全国共通		NHK教育	90
北海道・東北	北海道	北海道放送（HBC）	1
		札幌テレビ（STV）	5
		テレビ北海道（TVH）	17
		北海道文化（UHB）	27
		北海道テレビ（HTB）	35
	青森	青森放送（RAB）	1
		青森朝日（ABA）	34
		青森テレビ（ATV）	38
	岩手	岩手放送（IBC）	6
		岩手朝日（IAT）	20
		めんこい（MIT）	33
		テレビ岩手（TVI）	35
	秋田	秋田放送（ABS）	11
		秋田朝日（AAB）	31
		秋田テレビ（AKT）	37
	宮城	東北放送（TBC）	1
		仙台放送（OX）	12
		東日本放送（KHB）	32
		宮城テレビ（MMT）	34
	山形	山形放送（YBC）	10
		さくらんぼテレビ（SAY）	30
		テレビュー山形（TUY）	36
		山形テレビ（YTS）	38
	福島	福島テレビ（FTV）	11
		テレビュー福島（TUF）	31
		福島中央（FCT）	33
		福島放送（KFB）	35
関東・甲信越	関東	日本テレビ（NTV）	4
		TBSテレビ（TBS）	6
		フジテレビ（CX）	8
		テレビ朝日（ANB）	10
		テレビ東京（TX）	12
		東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
		放送大学	16
		テレビ埼玉（TVS）	38
		テレビ神奈川（TVK）	42
		千葉テレビ（CTC）	46
		群馬テレビ（GTV）	48
		とちぎテレビ（TTV）	23
	新潟	新潟放送（BSN）	5
		新潟テレビ21（NT21）	21
		テレビ新潟（TNN）	29
		新潟総合（NST）	35
	長野	信越放送（SBC）	11
		長野朝日（ABN）	20
		テレビ信州（TSB）	30
		長野放送（NBS）	38
	山梨	山梨放送（YBS）	5
		テレビ山梨（UTY）	37
中部	静岡	静岡放送（SBS）	11
		静岡第一（SDT）	31
		静岡朝日テレビ（SATV）	33
		テレビ静岡（SUT）	35
	中京	東海テレビ（THK）	1
		中部日本放送（CBC）	5
		名古屋テレビ（NBN）	11
		テレビ愛知（TVA）	25
		三重テレビ（MTV）	33
		中京テレビ（CTV）	35
		岐阜放送（GBS）	37
	富山	北日本放送（KNB）	1
		チューリップTV（TUT）	32
		富山テレビ（T34）	34
	石川	北陸放送（MRO）	6
		北陸朝日（HAB）	25
		テレビ金沢（KTK）	33
		石川テレビ（ITC）	37
	福井	福井放送（FBC）	11
		福井テレビ（FTB）	39
関西・中国	関西	毎日放送（MBS）	4
		朝日放送（ABC）	6
		関西テレビ（KTV）	8
		読売テレビ（YTV）	10
		テレビ大阪（TVO）	19
		テレビ和歌山（WTV）	30
		びわ湖放送（BBC）	30
		京都テレビ（KBS）	34
		サンテレビ（SUN）	36
		奈良テレビ（TVN）	55
	岡山	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	広島	中国放送（RCC）	4
		広島テレビ（HTV）	12
		テレビ新広島（TSS）	31
		広島ホーム（HOME）	35
	鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
		山陰放送（BSS）	10
		山陰中央（TSK）	34
	山口	山口放送（KRY）	11
		山口朝日（YAB）	28
		テレビ山口（TYS）	38
四国	香川	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	愛媛	南海放送（RNB）	10
		愛媛朝日（EAT）	25
		あいテレビ（ITV）	29
		愛媛放送（EBC）	37
	徳島	四国放送（JRT）	1
	高知	高知放送（RKC）	8
		テレビ高知（KUTV）	38
		さんさんテレビ（KSS）	40
九州	福岡	九州朝日（KBC）	1
		RKB毎日（RKB）	4
		テレビ西日本（TNC）	9
		TXN九州（TVQ）	19
		福岡放送（FBS）	37
	大分	大分放送（OBS）	5
		大分朝日（OAB）	24
		テレビ大分（TOS）	36
	佐賀	サガテレビ（STS）	36
	長崎	長崎放送（NBC）	5
		長崎国際（NIB）	25
		長崎文化（NCC）	27
		テレビ長崎（KTN）	37
	熊本	熊本放送（RKK）	11
		熊本朝日（KAB）	16
		熊本県民（KKT）	22
		テレビ熊本（TKU）	34
	宮崎	宮崎放送（MRT）	10
		テレビ宮崎（UMK）	35
	鹿児島	南日本放送（MBC）	1
		鹿児島読売テレビ（KYT）	30
		鹿児島放送（KKB）	32
		鹿児島テレビ（KTS）	38
	沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
		琉球放送（RBC）	10
		琉球朝日（QAB）	28
BS放送／CS放送／CATV		日本テレビケーブルニュース	40
		CSN1ムービーチャンネル	49
		チャンネルNECO	50
		ゴルフネットワーク	51
		BS1	71
		BS3	72
		BS5　WOWOW	73
		BS7　NHK衛星第1	74
		BS9	75
		BS11　NHK衛星第2	76
		BS13	77
		BS15	78
		CNN	81
		MTV	82
		スター・チャンネル	83
		スペースシャワーTV	84
		スポーツ・アイ	85
		衛星劇場	86
		GAORA（ガオラ）	87
		ホームチャンネル	88
		スカイ・A	89
		BBC	91
		ファミリー劇場	92
		スーパーチャンネル	93
		ザ・ゴルフ・チャンネル	94
		朝日ニュースター	99

時計合わせをする

日付と時刻を設定する

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞14ページ)。

お買い上げ時には時計は設定されていません。
正しい日付と時刻を設定してください。

例 2004年6月23日、午後5時30分に合わせる。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

❸ [▲／▼]で「時計合わせ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

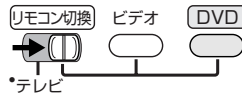
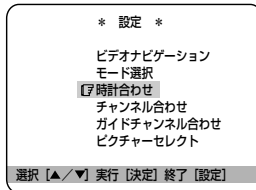
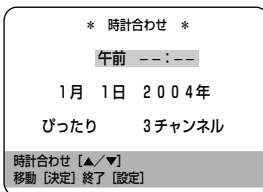
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❹ 時刻、日付、西暦を合わせる

＊　時計合わせ　＊

午前　－－：－－

1月　1日　2004年

ぴったり　　3チャンネル

時計合わせ［▲／▼］
移動［決定］終了［設定］

[▲/▼]で時刻を合わせて、[決定]を押す

⬇

[▲/▼]で日付を合わせて、[決定]を押す

⬇

[▲/▼]で西暦を合わせて、[決定]を押す

- [▲/▼]は押し続けると早く変わります。
  時刻：30分単位で変わります
  日付：15日単位で変わります
- [決定]をくり返し押すと、次の設定項目に移動できます。

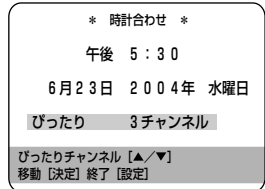
❺ [▲／▼]でぴったりクロックのチャンネルを選ぶ

＊　時計合わせ　＊

午後　5：30

6月23日　2004年　水曜日

ぴったり　　3チャンネル

ぴったりチャンネル［▲／▼］
移動［決定］終了［設定］

- 「一括チャンネル合わせ」(☞29ページ)を行ったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、お住まいの地域で受信できるNHK教育テレビを選びます。

❻ [設定]を押す

- 時計が動き始めます。
- ぴったりクロックが働いていないと、本機の時計が正確に合わないことがあります。この状態で録画予約すると、番組の開始または終了部分がずれた状態で録画されます。ぴったりクロックが働いていないときは、時計を正確に合わせることをおすすめします。

メモ　ぴったりクロックとは

- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、時計の誤差を自動修正します。
- 平成16年4月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - ・時報が放送されていないとき
  - ・本機の電源が入っているとき
  - ・現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - ・時報のバックに音楽が入っているとき
  - ・高校野球シーズンなどで、時報が放送されていないとき
- 停電などで表示窓が「－－：－－」表示しているときは、日付と時刻を再度設定してください。

メニューの使いかた

メニュー画面一覧表

設定メニュー画面

＊　設定　＊

☞ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

ビデオナビゲーション画面

☞ 04/　6/22（火）午後　8：00　10CH
04/　6/22（火）午前　8：00　10CH
04/　6/25（金）午後　8：00　10CH

選択［▲／▼］頭出し［決定］
テープのデータを消す［取消し］終了［設定］

（☞66ページ）

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
☞モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

モード選択画面（1ページ目）

＊　モード選択　＊

☞ テープレベルアップ	入
ぴったり録画	切
オンスクリーン	オート
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
二カ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
次ページへ	

選択［▲／▼→決定］　終了［設定］

（☞43ページ）

モード選択画面（2ページ目）

前ページへ	
☞ ビデオナビゲーション	入
BSデジタル予約切換	ビデオコントロール
オート電源オフ	切

選択［▲／▼→決定］　終了［設定］

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
☞時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

時計合わせ画面

＊　時計合わせ　＊

午後　5：30

6月23日　2004年　水曜日

ぴったり　　3チャンネル

時計合わせ［▲／▼］
移動［決定］終了［設定］

（☞41ページ）

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

チャンネル合わせ画面

＊　チャンネル合わせ　＊

☞一括チャンネル合わせ
オートチャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

（☞29ページ）

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
☞ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

ガイドチャンネル合わせ画面

＊　ガイドチャンネル合わせ　＊

ガイドチャンネル　：　42
チャンネル表示　：　1

ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［決定］
終了［設定］

（☞39ページ）

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
☞ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

ピクチャーセレクト画面

オートピクチャー

設定［決定／▶］　終了［設定］

（☞61ページ）

モード選択の設定内容について

設定メニューの「モード選択」画面は、2ページ構成で画質調整やオンスクリーンの設定などを決めるときに使います。ここでは、設定の内容とお買い上げ時の状態を説明します。

＊ モード選択 ＊

テープレベルアップ	入
ぴったり録画	切
オンスクリーン	オート
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ニカ国語音声録音	主
ディスプレイオフ	切
次ページへ	

選択［▲／▼→決定］ 終了［設定］

例 ビデオナビゲーションを「切」にする。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞14ページ)。

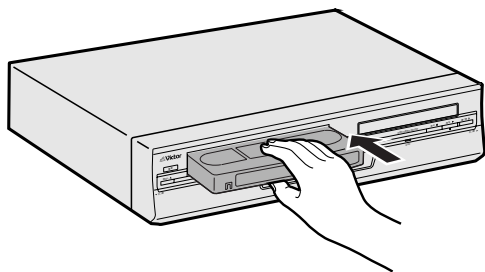
1. リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す
2. [設定]を押す
3. [▲/▼]で「モード選択」を選び、[決定]を押す
4. [▲/▼]で「ビデオナビゲーション」を選ぶ
5. [決定]で「切」を選ぶ
6. [設定]を押して終了する

設置と準備

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

項　目	設定内容	
テープレベルアップ（☞60ページ参照）	テープに合わせた最適な画質で録画をします。	
	入（お買い上げ時）	：テープに合わせた最適な状態で録画したいときに選びます。
	切	：この機能を使用しません。
ぴったり録画	標準（SP）モードで録画予約中にテープ残量が少なくなると、自動的に録画スピードを「3倍（EP）」に変えるか、変えないかの設定をします。	
	切（お買い上げ時）	：この機能を使用しません。
	入	：録画スピードが「標準（SP）」で録画予約された番組を録画中にテープが足りなくなると途中で自動的に「3倍（EP）」に切り換わり、録画切れを防ぎます。
オンスクリーン	テレビ画面にカウンターなどの表示をするか、しないかの設定をします。	
	オート（お買い上げ時）	：ビデオ操作時に、操作内容を5秒間、テレビ画面に表示します。
	入	：常にカウンター（または残量/時計）を表示します。
	切	：ビデオの操作内容をテレビ画面に表示しません。
V(ビデオ)スタビライズ	テープを再生中に、映像が上下に揺れるときに使います。	
	切（お買い上げ時）	：通常は「切」にしておきます。
	入	：この機能を使うときにだけ選びます。
ブルーバック	放送のないチャンネルを青い画面（ブルーバック）にするか、しないかの設定をします。	
	入（お買い上げ時）	：放送のないチャンネルをブルーバックにします。
	切	：電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」を選びます。
ニカ国語音声録音	主音声（日本語）と副音声（英語など）の両方を録音したいときに使います。	
	主（お買い上げ時）	：二重音声放送の主音声だけを録音します。
	主＊副	：二重音声放送の主音声と副音声の両方を録音します。ノーマル音声は主音声のみ録音します。
ディスプレイオフ（☞64ページ参照）	本機の電源が「切」のとき、本体表示窓の表示を消すか点灯するかを設定します。	
	切（お買い上げ時）	：点灯します。
	入	：消灯します。

モード選択の設定内容について（つづき）

項　目	設定内容	
ビデオナビゲーション （☞66ページ参照）	ビデオナビゲーション機能の設定をします。	
	入	：この機能を使うとき。
	切	：この機能を使用しないとき。
BSデジタル予約切換 （☞62、63ページ参照）	BS／CSデジタルチューナーから録画予約するとき、ビデオコントロール端子を使用するか、しないかの設定をします。	
	ビデオコントロール	：ビデオコントロール端子を使用して、録画予約をするときに選びます。
	入力L-1	：ビデオコントロール端子を使用しないで、録画予約するときに選びます。
オート電源オフ （☞65ページ参照）	本機の電源の切り忘れを防止するため、電源を自動的に切りたいときに設定します。	
	切	：この機能を使用しないとき。
	3H	：電源「入」の状態で何も操作しないと、3時間後に自動的に電源が切れます。

再生する ...46
映像を見ながら早送り / 巻戻しする(シャトルサーチ) ... 47
早送り / 巻戻しをする ... 47

録画する ...48
録画時間を設定する(ワンタッチタイマー録画) ... 49
録画中に別の番組を見る(裏番組録画) ... 49

G コード® 予約する ...50
転送後に予約内容を変更する ... 50

新・快速録画予約をする ...51

24 時間以内に放送される番組を予約する ...52
予約が重複しているとき(オーバーラッププログラム機能) ... 52

予約を確認するには ...53

予約を変更・取消しするには ...54

オート CM カットと CM スキップサーチ ...55
CM を飛ばして録画する(オート CM カット) ... 55
CM を早送りして再生する(CM スキップサーチ) ... 55

番組(録画)の頭出しをするには ...56
録画予約後に番組を探す(留守録ナビ) ... 56

コマ送り・スロー再生とチョット見バック再生 ...57
コマ送りやスロー再生するには ... 57
見逃したシーンを再生するには(チョット見バック) ... 57

映像の調節とテープの残量表示 ...58
トラッキングを調節する ... 58
テープの残り時間を調べる ... 58

音声を切り換えるには ...59
二重音声放送を(主音声と副音声で)録画したテープのとき ... 59
ステレオ放送を録画したテープのとき ... 59

テープレベルアップ ...60
録画するときの動作 ... 60

ピクチャーセレクトの設定 ...61
再生するときの設定 ... 61
録画するときの設定 ... 61

ビデオコントロール端子に接続して録画予約する ...62
(BS デジタルリンク予約)
メーカー設定をする ... 62
録画予約をする ... 62

ビデオコントロール端子に接続しないで録画予約する ... 63
(着信予約)
メニューの設定をする ... 63
録画予約をする ... 63

ディスプレイオフ ...64

オート電源オフ ...65

ビデオナビゲーションとは ...66
番組情報について ... 66
正しく番組情報を記録するために ... 66

番組情報の一覧表から見たい番組を探す／情報を全て消去する ...67

他機で再生、本機で録画する ...68

本機で再生、他機で録画する ...69

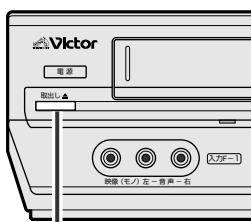
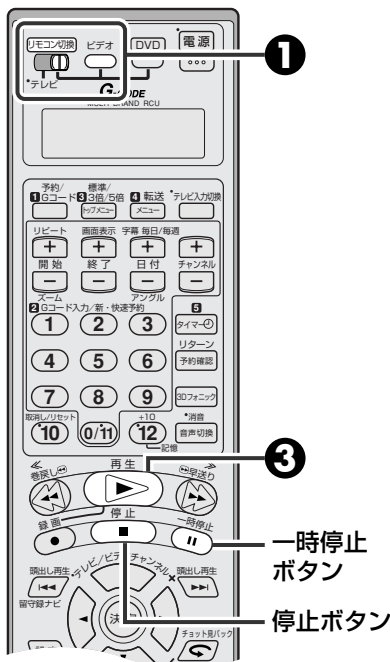
テープをくり返し再生する(リピート再生) ...70

思わぬ誤操作を防止(チャイルドロック) ...70

用途に合わせて使う(ネクストファンクションメモリー) ... 70

ビデオを見る

再生する

準備
- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞20〜44ページ)

ビデオテープを再生してみましょう。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞14ページ)。

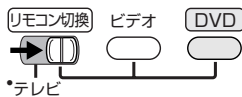
❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

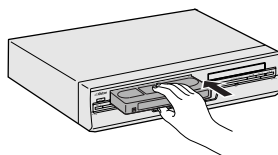
- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 数秒間テープが動き、テープ情報の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞66ページをご覧ください。
- つめのないテープを入れると、自動的に再生が始まります。
  そのときに、DVD側が「停止」状態でDVDランプが点灯しているときは、自動的にビデオランプの点灯に切り換わります。

テープの出し入れ口に手を入れないでください。
手をはさまれて、けがの原因になることがあります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❸ [再生(▶)]を押す

- 再生が始まります。
- お好みにより、「最適な画質に設定する」で画質を設定できます。(☞61 ページ)

再生を一時停止する

再生中に

[一時停止(❚❚)]を押す

- 静止画がテレビ画面に映ります。
- 再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

再生をやめる

再生中に

[停止(■)]を押す

テープを取り出す

本体のボタンでのみ操作できます。

[取出し(⏏)]を押す

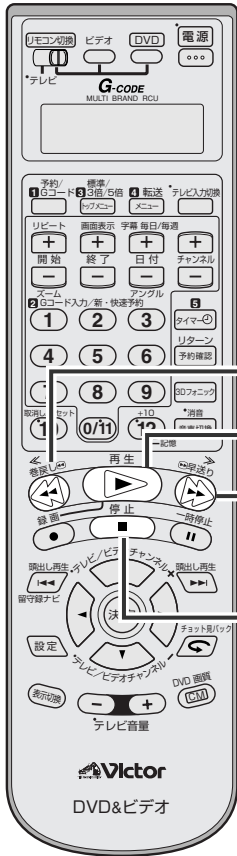
メモ

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻戻されます。
- 設定メニューの「モード選択 ➡ テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。(☞60ページ)
- 一時停止が 3 分以上続くと本機は自動的に停止します。

テープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

設定メニューの「モード選択 ➡ V スタビライズ（ビデオスタビライザー)」を「入」にしてください。(☞43 ページ参照)
映像の上下の揺れが補正されます。

テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。

- 録画中、スロー再生中は、効果はありません。

映像を見ながら早送り／巻戻しする（シャトルサーチ）

再生中に

リモコンまたは本体の[早送り(⏩)]を押す

押すごとに、スピードが次のように切り換わります。

（標準）＋5倍速 ⟺ ＋11倍速
（3倍）＋11倍速 ⟺ ＋31倍速
（5倍） ＋7倍速 ⟺ ＋11倍速

リモコンまたは本体の[巻戻し(⏪)]を押す

押すと逆転再生(－1倍速)を始めます。その後押すごとに、スピードが次のように切り換わります。

（標準）－5倍速 ⟺ －11倍速
（3倍）－11倍速 ⟺ －31倍速
（5倍） －7倍速 ⟺ －11倍速

- 通常再生に戻すには、**[再生(►)]**を押します。

早送り／巻戻しをする

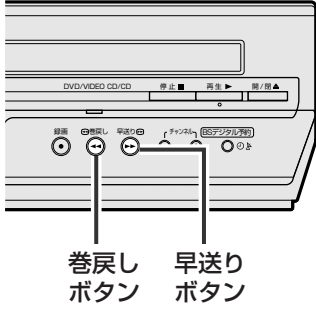
停止中に

リモコンまたは本体の[早送り(►►)]を押す

早送りをします。

リモコンまたは本体の[巻戻し(◄◄)]を押す

巻戻しをします。

- 早送り／巻戻しを止めるには、**[停止(■)]**を押します。
  早送り／巻戻し中は、テープ保護のため**[停止(■)]**を押してからテープが止まるまで時間がかかります。

- シャトルサーチ中は音声が出ません。
- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
- 5 倍(SEP)モードで静止画再生やシャトルサーチしたときは、他のモードよりノイズが多くなります。

番組を録画する

録画する

準備
- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。(☞**20**〜**44**ページ)

お好みのテレビ番組を録画してみましょう。
BS デジタルチューナーの番組を録画するときは、☞62 ページをご覧ください。また、大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることをお確かめください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞**14**ページ)。

一時停止ボタン
停止ボタン

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

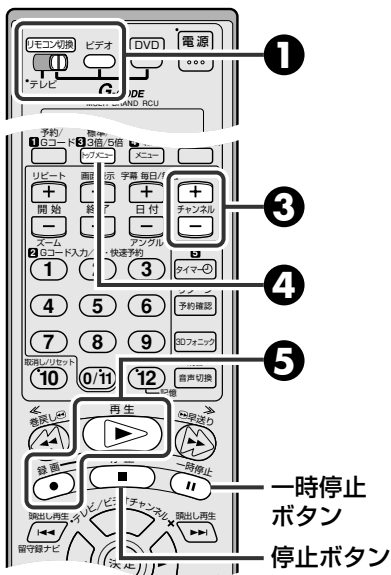
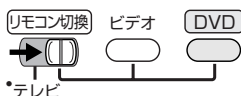
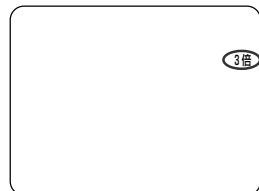
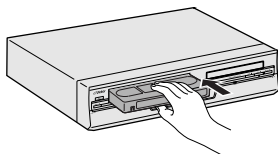
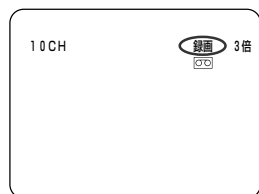
- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 数秒間テープが動き、テープ情報の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞**66**ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

❸ [チャンネル＋／－]で番組を選ぶ

テレビ画面

❹ [標準／3倍／5倍]で録画スピードを選ぶ

- 一度押すと現在の録画スピードを表示し、表示中にもう一度押すと録画スピードが切り換わります。
  標準(SP)：画質を重視
  3倍(EP)：3倍長く録画
  5倍(SEP)：5倍長く録画

❺ [録画(●)]を押しながら[再生(▶)]を押す

- 本体で操作するときは、**[録画(●)]**を押します。
- 「最適な画質に設定する」で画質を設定できます。(☞**61**ページ)

録画を一時停止する

録画中に

[一時停止(❚❚)]を押す

- 録画が一時停止されます。
- 再び録画を始めるには、**[再生(▶)]**を押します。

録画をやめる

録画中に

[停止(■)]を押す

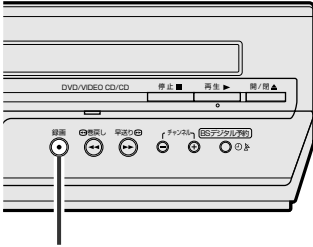
メモ リモコンの数字ボタン[0/11〜9]でチャンネルを選ぶときは

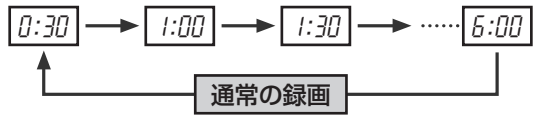
① リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す。
② 数字ボタン[0/11〜9]を押す。
　例：10チャンネルを選ぶときは[1]、[0/11]と続けて押す。
　例：外部入力を選ぶときは[0/11]を押す。「L-1」または「F-1」入力に切り換わります。

ご注意

- 万一、本機およびビデオテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- いますぐ録画したいときは、テープレベルアップ / ビデオナビゲーション機能が動作するため番組の始めが記録されない場合がありますので、事前にテープを入れるかテープレベルアップ / ビデオナビゲーション機能を「切」にすることをおすすめします。(☞**43**、**44** ページ)
- 本機で 5 倍(SEP)モード録画したテープは、本機で再生してください。

録画時間を設定する(ワンタッチタイマー録画)

録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

押すごとに、録画時間(最長6時間まで)が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。

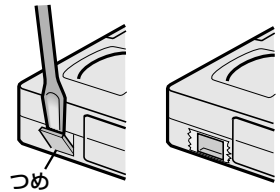
本体の[録画(●)]を押す

録画を途中でやめるには、**[停止(■)]**を押します。

録画中に別の番組を見る(裏番組録画)

録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビで見たい番組を選ぶ

誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
セロハンテープを二重に張って穴をふさぐとふたたび録画できます。

ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットは S-VHS、VHSタイプをお使いください。
ただし、S-VHSタイプのテープを使用してもS-VHS録画はできません。

■ 録画済みテープに新しく録画するとき、前に録画されたものは消されます。

■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。

■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。

■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。

■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

SQPB(S-VHS 簡易再生)機能について

(SQPB = S-VHS Quasi Playback)

■ S-VHS 方式で録画されたテープも再生することができます。ただし、S-VHS 本来の高画質にはなりません。

メモ

DVD を使いたいときは・・・
- 次のようなときでも、DVD 側は使用できます。
  (リモコン切換スイッチを[ビデオ/DVD]側にして[DVD]を押します。)
  - •録画中
  - •タイマー録画中
  - •タイマー予約待機中

  (**[電源]**を押します。)

- 一時停止が3分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、テープは停止し、本体表示窓の「▶」と「●」が点滅します。
- ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、電源が切れて、本体表示窓の「▶」と「●」が点滅します。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音を録音したいときは、設定メニューの「モード選択➡二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞**43**ページ)
- 設定メニューの「モード選択➡テープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。くわしくは「最適な画質で録画する」をご覧ください。(☞**60**ページ)

ビデオを楽しむ

Gコード® 機能を使って予約する（Gコード® 予約）

Gコード® 予約する

準備 ●リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押します。

メモ

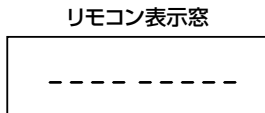
- 途中でやめるときは、[取消し/リセット] を押します。
- 転送時に本体表示窓に「Err」、テレビ画面に「ERROR」と表示されたときは、次の点を確認してください。
  - ・番組の開始時刻が過ぎていないか
  - ・Gコード番号が正しいか(Gコード番号を入力し直してください。)
  - ・ガイドチャンネルの設定がされているか(☞39ページ)
- 転送時に本体表示窓に「FULL」、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示されたときは、すでに8予約分登録されています。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- Gコード予約のときの注意
  - ・Gコード予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
  - ・1ヵ月以内の番組を8つまで予約できます。
  - ・予約中に3分以上放置すると、自動的に予約モードを解除します。
  - ・ツメのないテープが入っていると、本体表示窓の「⊙」、「▶」、「●」が点滅し電源が切れます。ツメの付いたテープを入れてください。

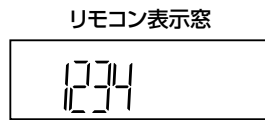
簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコード番号を使って録画を予約します。
他の予約方法とあわせて、8番組までの予約ができます。

- ガイドチャンネル(☞39ページ)と日付と時刻(☞41ページ)の設定を先に行ってください。

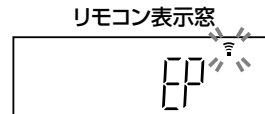
❶ つめのついたテープを入れる

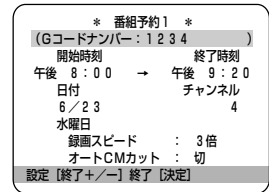
❷ [予約／Gコード]を押す

リモコン表示窓

❸ 数字[0/11～9]を押してGコード番号を入力する

リモコン表示窓

- 番号を間違えたときは、[取消し/リセット]を押します。
- 数字の0は[0/11]を押します。

❹ [標準／3倍／5倍]で録画スピードを選ぶ

リモコン表示窓

標準(SP)：画質を重視するとき
3倍(EP)：3倍長く録画するとき
5倍(SEP)：5倍長く録画するとき

❺ [転送]を押す

テレビ画面

- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
- 必要に応じて以下の「**転送後に予約内容を変更する**」を行ってください。
  - CMカットして録画したいとき
  - 毎日／毎週録画したいとき
  - 録画終了時刻を変えたいとき

❻ [決定]を押す

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順❷から❻をくり返します。
- 予約が重複しているときには、画面に「開始または終了時刻を変更してください」、本体表示窓は「Err」と表示され、重複している予約が点滅します。(☞52ページ)

❼ [タイマー(⊙)]を押す

- 本体表示窓の「⊙」が点灯し、電源が切れます。(録画予約の待機状態)

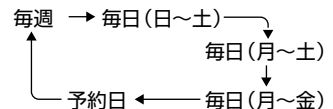
転送後に予約内容を変更する

必要に応じて次の設定ができます。(他の予約方法のときもできます)

- ***CMカットして録画したいとき...***
  [CM] を押して、表示を「入」にします。(☞55ページ) (転送前でも操作できます。)
  手順❺の前に押すとCMカットマークが表示されます。外部入力録画やBSチャンネルの録画、録画スピードがSEP(5倍)のときはCMカットできません。

リモコン表示窓

CMカットマーク

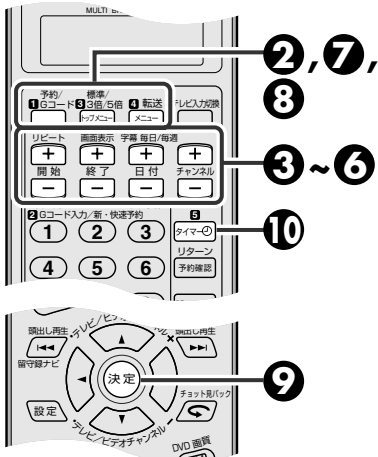
- ***同じ番組を毎日/毎週録画したいとき...***
  [毎日／毎週] を押すごとに、次のように変わります。(転送前でも操作できます。)

- ***録画終了時刻を変えたいとき...***
  [終了+／−] を押すごとに1分単位で、押し続けると30分単位で延長または短縮できます。

Gコード®機能を使わずに予約する（新・快速録画予約）

新・快速録画予約をする

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞14ページ)。

準備
● リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押します。

メモ

● 途中でやめるときは、[予約／Gコード]を押します。

ぴったり録画を「入」で録画予約すると

● 録画スピードを「標準(SP)」に設定していてもテープ残量が少なくなると、自動的に「3倍(EP)」に切り換わって録画します。
(☞43ページ)
テープ再生時、録画スピードの切り換わり部分で映像が乱れます。
● 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。

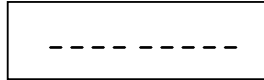
予約のときの注意

● 1ヵ月以内の番組を８つまで予約できます。
● 予約中に3分以上放置しますと自動的に予約モードを解除します。
● ツメのないテープが入っていると、本体表示窓の「⊙」、「▶」、「●」が点滅し電源が切れます。ツメの付いたテープを入れてください。
● すでに予約が8つぶん登録されているときに、リモコンから予約内容を転送すると、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。

Gコード機能を使わずに録画予約します。
他の予約方法とあわせて、８番組までの予約ができます。

例　西暦2004年6月23日午後8時から午後9時20分まで4チャンネルを標準モードで予約する。

❶ つめのついたテープを入れる

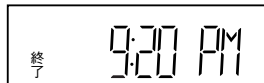
❷ [予約／Gコード]を押す

リモコン表示窓

❸ [開始＋／－]で録画の開始時刻を設定する

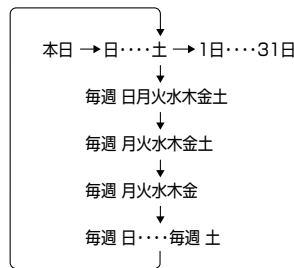
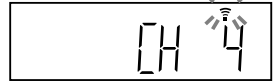
リモコン表示窓

● 押すごとに、1分単位で変わります。
● 押し続けると30分単位で変わります。

❹ [終了＋／－]で録画の終了時刻を設定する

リモコン表示窓

❺ [日付＋／－]で録画日を設定する

リモコン表示窓

● 押すごとに、次のように変わります。

● 押し続けると速く変わります。

❻ [チャンネル＋／－]でチャンネルを選ぶ

リモコン表示窓

● 本体前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。
● 本体背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」を表示させます。

❼ [標準／3倍／5倍]で録画スピードを選ぶ

❽ [転送]を押す

テレビ画面

● 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
● 必要に応じて以下の「**転送後に予約内容を変更する**」を行ってください。(☞50ページ)
• CMカットして録画したいとき
• 毎日／毎週録画したいとき
• 録画終了時刻を変えたいとき

❾ [決定]を押す

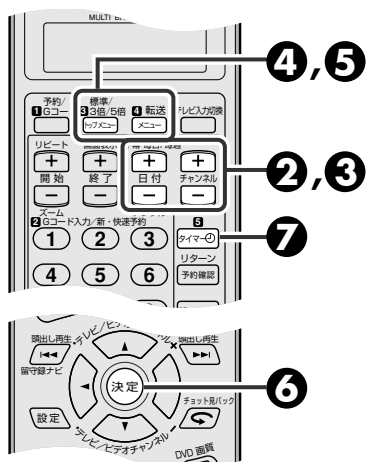
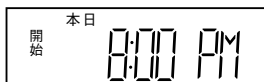
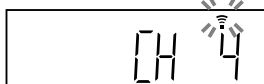
● 「番組予約を完了しました　タイマーを入れてください」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。
● 続けて、他の番組を予約するときは、手順❷から❾をくり返します。

❿ [タイマー(⊙)]を押す

● 本体表示窓の「⊙」が点灯し、電源が切れます。(録画予約待機状態)

ビデオを楽しむ

本日予約のしかた

24 時間以内に放送される番組を予約する

24時間以内の予約を、リモコンで他の予約方法とあわせて、8番組までできます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞**14**ページ)。

準備
- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、**[ビデオ]**を押します。

❶ 51ページの手順❶～❹を行なう

❷ [日付＋／－]で「本日」に設定する

リモコン表示窓

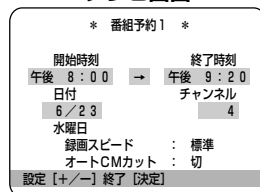
本 日
開始 8:00 PM

❸ [チャンネル＋／－]でチャンネルを選ぶ

リモコン表示窓

- 本体前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。
- 本体背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」を表示させます。

❹ [標準／3倍／5倍]で録画スピードを選ぶ

❺ [転送]を押す

テレビ画面

- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
- 必要に応じて**「転送後に予約内容を変更する」**を行ってください。(☞**50**ページ)
  - CMカットして録画したいとき
  - 毎日／毎週録画したいとき
  - 録画終了時刻を変えたいとき

❻ [決定]を押す

- 「番組予約を完了しました　タイマーを入れてください」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。
- 続けて、他の番組を予約するときは、手順❶から❻をくり返します。

❼ [タイマー(◷)]を押す

- 本体表示窓の「◷」が点灯し、電源が切れます。(録画予約待機状態)

予約が重複しているとき(オーバーラップ プログラム機能)

- 予約が重複しているときは、「開始または終了時刻を変更してください」のメッセージが表示されて、しばらくすると予約の確認画面が表示されます。
- 予約の確認画面では、**重複している内容が点滅表示**されます。
- 修正したい録画予約に **[▲／▼]** で合わせて **[▶]** を押すと、選んだ録画予約が表示されます。
  予約内容の開始時刻、終了時刻や録画日など必要な部分を修正します。修正の手順は、前ページの「新・快速録画予約をする」の手順❸から❻と同じです。
- **[決定]** を押してください。修正後、重複している予約がある場合は、再び点滅表示します。再度修正してください。

予約	開始時刻	終了時刻	CH	日付
1	午前 9：00	10：00	4	6／23
2	午後 9：00	10：00	12	7／ 1
3	午前 1：00	2：00	1	7／ 3
4	午前 8：00	11：30	6	6／23
5				
6				
7				
8				

選択 [▲／▼] 修正 [▶] 終了 [設定]

＊ 番組予約４ ＊

開始時刻　　終了時刻
午前 8：00 → 午前11：30
日付　　チャンネル
6／23　　6
水曜日
録画スピード ： 標準
オートCMカット ： 入
設定 [＋／－] 確認 [決定] 終了 [設定]

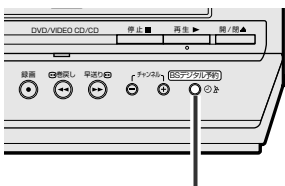
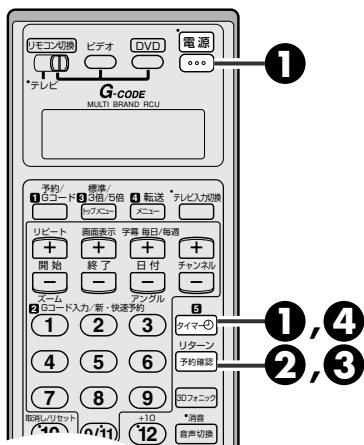
メモ

- 途中でやめるときは、[予約／ G コード] を押します。

ぴったり録画を「入」で録画予約すると
- 録画スピードを「標準(SP)」に設定していてもテープ残量が少なくなると、自動的に「3倍(EP)」に切り換わって録画します。(☞**43** ページ)
  テープ再生時、録画スピードの切り換わり部分で映像が乱れます。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCM カット」の設定はできません。

予約のときの注意
- 予約中に3分以上放置しますと自動的に予約モードを解除します。
- ツメのないテープが入っていると、本体表示窓の「◷」、「▶」、「●」が点滅し電源が切れます。ツメの付いたテープを入れてください。
- すでに予約が8つぶん登録されているときに、リモコンから予約内容を転送すると、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。

予約を確認する

予約を確認するには

録画予約設定後、テレビ画面で予約の確認ができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞14ページ)。

準備
- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押します。

BSデジタル予約ボタン

❶ [電源]を押す

- **本体表示窓に「◴」が点灯しているときは**
  [タイマー(◴)]を押して「◴」を消してから[電源]を押します。
- **本体表示窓に「◴」と「📡」が点灯しているときは**
  本体の[BSデジタル予約]を押して「◴」と「📡」を消してから[電源]を押します。

❷ [予約確認]を押す

- 録画予約内容が一覧表示されます。
  本体の表示窓には「P1P8」と表示されます。
- Gコード予約の毎週予約のみ、実行されるまでは1回目の日付が表示されます。

テレビ画面

予約	開始時刻	終了時刻	CH	日付
1	午前　９：００	１０：００	４	６／２３
2	午後　９：００	１０：００	１２	７／　１
3	午前　１：００	２：００	１	７／　３
4	午前１１：００	１１：３０	Ｌ－１	６／２３
5				
6				
7				
8				

予約修正 [予約確認]

❸ [予約確認]を押して予約内容の詳細を表示する

- 押すごとに録画予約内容が順番に表示されます。
  本体の表示窓には予約番号ごとに、「P1」、「P2」と送られます。
- すべてを表示すると、元のテレビ画面に戻ります。

＊　番組予約１　＊

開始時刻　　　終了時刻
午前　９：００　→　午前１０：００
日付　　　チャンネル
６／２３　　　４
水曜日
録画スピード　：　標準
オートCMカット　：　入
次の予約 [予約確認]

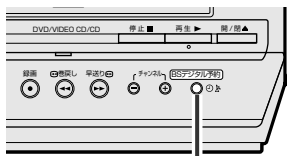
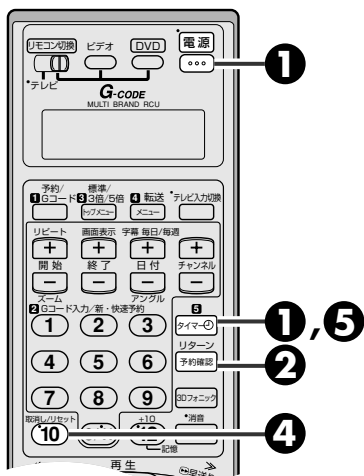
❹ [タイマー(◴)]を押して予約待機にする

- 本体表示窓に「◴」が点灯し、電源が切れます。
- BSデジタルリンク予約または着信予約の待機状態にするときは、[タイマー(◴)]の代わりに、[BSデジタル予約]を2秒以上押して「◴」と「📡」を点灯させます。

途中でやめるときは…
- [予約確認] を元のテレビ画面が表示されるまで押します。

「毎日」と「毎週」の確認は画面で
- 予約内容の「毎日」または「毎週」の設定は本体表示窓には表示されませんので、テレビ画面に詳細内容を表示させて確認してください。

予約を変更・取消する

予約を変更・取消しするには

録画予約設定後、テレビ画面で予約の変更または取消しができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞14ページ)。

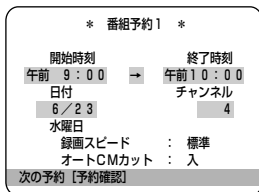
- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、**[ビデオ]**を押します。

BSデジタル予約ボタン

❶ [電源]を押す

- **本体表示窓に「⊙」が点灯しているときは**
  [タイマー(⊙)]を押して「⊙」を消してから**[電源]**を押します。
- **本体表示窓に「⊙」と「⚡」が点灯しているときは**
  本体の**[BSデジタル予約]**を押して「⊙」と「⚡」を消してから**[電源]**を押します。

❷ [予約確認]で変更したい予約内容を表示する

- 「予約を確認するには」(☞53ページ)の手順❷と❸をご覧ください。

❸ 必要に応じて設定を変更する

- 「新･快速録画予約をする」(☞51ページ)の手順❸〜❼を参照してください。

❹ 必要に応じて[取消し/リセット]で録画予約を取り消す

- 表示中の録画予約が取り消され、次の予約内容が表示されます。

❺ [タイマー(⊙)]を押して予約待機にする

- 本体表示窓に「⊙」が点灯し、電源が切れます。
- BSデジタルリンク予約または着信予約の待機状態にするときは、**[タイマー(⊙)]**の代わりに、**[BSデジタル予約]**を2秒以上押して「⊙」と「⚡」を点灯させます。

途中でやめるときは…

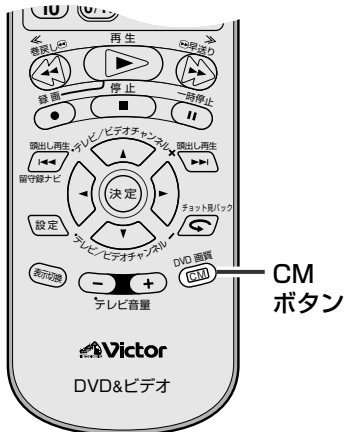
- ［予約確認］を元のテレビ画面が表示されるまで押します。

コマーシャルを飛ばして録画・再生する

オートCMカットとCMスキップサーチ

コマーシャルが入ったら、その部分を飛ばして録画することができます。また、再生中におよそ30秒間分(平均的なコマーシャル1つ分)を早送りすることができます。

CMを飛ばして録画する（オートCMカット）

二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オートCMカット」です。

停止中 または **録画中**

[CM]を押す

入：CM がカットされる
切：CM がカットされない

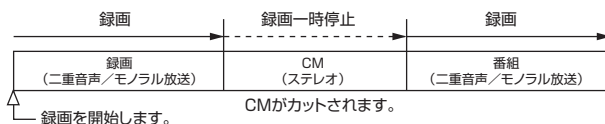
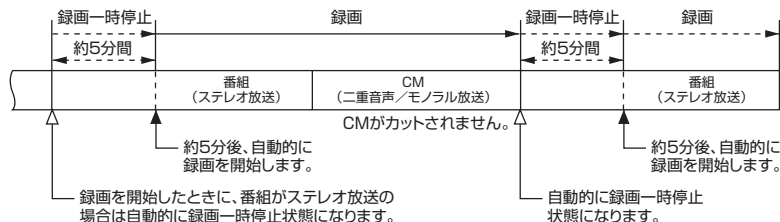
- 押すごとに、オートCMカットの「入/切」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。
- 録画予約時も設定可能です。（☞50, 51ページ）

CMを早送りして再生する（CMスキップサーチ）

再生中

[CM]を押す

- 一度押すと、押したところからおよそ30秒間分を早送りします。一回のCMスキップサーチでは、最高6回まで(およそ3分間分)押すことができます。

● オートCMカットができる例

● オートCMカットができない例

上のように、オートCMカットができない番組がありますので、録画を始める前に新聞などの番組欄で音声を確認してください。番組欄には、下のように表示されています。

二 ：二カ国語放送	二重音声放送	S	：ステレオ放送
多 ：解説などが聞ける放送		表示なし	：モノラル放送

メモ　次のような場合は正常にCMカットができません

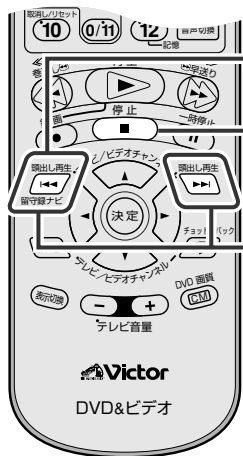
- モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「入」になっていても、録画されます。また、タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- テープをダビングするときなどは、オートCMカットは使えません。
- 録画スピードを5倍(SEP)にするとオートCMカットが「入」になっていても強制的に「切」になります。

- ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。
オートCMカットが「入」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。

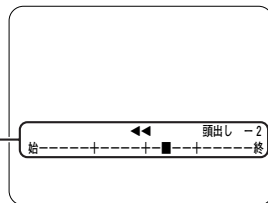
番組の頭出しをする（留守録ナビ）

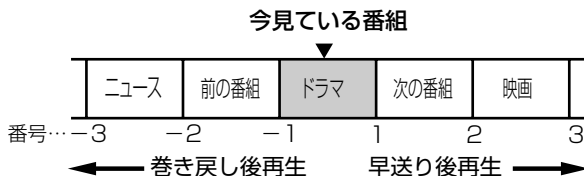
番組(録画)の頭出しをするには

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

録画の始めに頭出し信号をテープに書き込みます。
この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。
テープの何番目に見たい番組が録画されているか、わかっているときに便利です。
番組の頭出しは、前後9番目まで指定できます。

停止中に

[頭出し再生(⏮／⏭)]
を押す

- 押すごとに、頭出しの番号がひとつずつ増えて(減って)いきます。

指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）の
　　ひとつ前の番組を見たいとき

頭出し番号の指定のしかた

［例］**次の番組を頭出しするとき　　　　：頭出し ⏭** ボタンを**1回**押す。
　　今見ている番組を頭出しするとき：頭出し ⏮ ボタンを**1回**押す。
　　ひとつ前の番組を頭出しするとき：頭出し ⏮ ボタンを**2回**押す。

メモ **［留守録ナビ］を押しすぎたら**

- ［停止(■)］を押し、もう一度やり直してください。
- 予約が残っているときは、［タイマー(◷)］を押してから、［留守録ナビ］を押してください。

録画予約後に番組を探す(留守録ナビ)

録画予約やワンタッチタイマー録画終了後に、リモコンの**[留守録ナビ]**を押すだけで、電源が自動的に入り、頭出しをして再生できます。

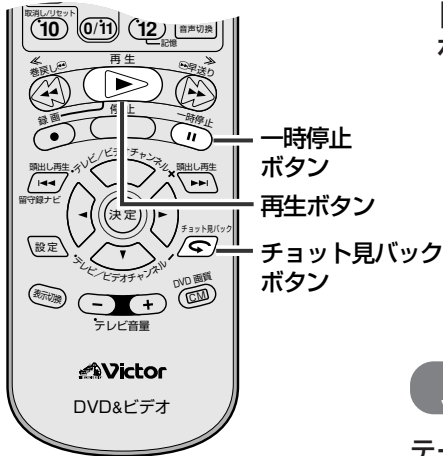
[留守録ナビ]を押す

- 押すごとに、頭出しの番号が「頭出し −1」、「頭出し −2」と送られます。

- 途中でやめるときは、**[停止(■)]**を押します。
- 設定メニューの「モード選択 ➡ ディスプレイオフ」が「入」のときは、操作できません。「切」に設定してください。(☞**64**ページ参照)

再生するスピードを変える

コマ送り・スロー再生とチョット見バック再生

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

スピードのある映像をより詳しく見たいときに、コマ送りやスローで再生することができます。

コマ送りやスロー再生するには

再生中に

[一時停止(❚❚)]を押す

- 一度押すと、静止画再生になります。
- くり返し押すと、押すごとに映像を1コマずつコマ送りで再生します。
- 2秒以上押し続けると、スロー再生を始めます。
- 巻戻し方向のコマ送りとスロー再生はできません。
- 通常再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

見逃したシーンを再生するには(チョット見バック)

テープを再生中に見逃したシーンなどを、自動的に約 7 秒前のシーンまで巻戻して再生できます。

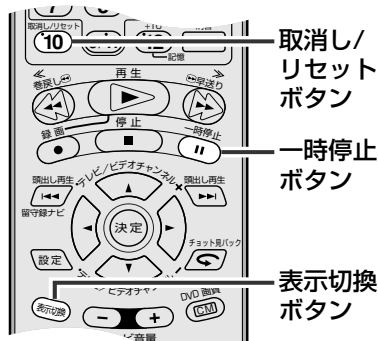
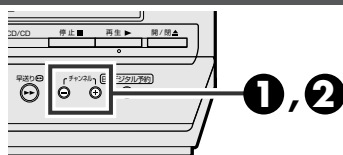
再生中に

[チョット見バック]を押す

- 一度押すと、押したところから約7秒前のシーンに戻り、再生します。1回のチョット見バックでは、最高4回まで押すことができます。

再生スピードを変えたときには

- 静止画再生、コマ送り再生、スロー再生中は、音声が聞こえません。
- 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行ってください。(☞**58** ページ)
- 静止画再生やスロー再生が 3 分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画スピードがSEP(5倍速)のときは、コマ送り再生はできません。

映像の調節とテープの残量表示

再生中に、映像の調節やテープの残り時間を調べることができます。

トラッキングを調節する

トラッキングとは、テープにヘッドの位置を正確に合わせ、記録信号を読み出して行く動作をいいます。
本機には、オートトラッキング機能が付いています。テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。

再生中に

❶ 本体の[チャンネル＋／－]を同時に押して、オートトラッキングを解除する

- 押すごとに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。
- 「切」のときのみ、「AT:切」がテレビ画面に表示されます。

❷ 本体またはリモコンの[チャンネル＋／－]で、トラッキングを調節する

静止画再生中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは

① 静止画再生中は、**[一時停止（II）]** を２秒以上押し、スロー再生にする。
② **[チャンネル＋／－]**を押し、調節する。

メモ

- 本機の電源を入れたり、テープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。
- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されるテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、設定メニューの「モード選択➡ オンスクリーン」を「切」にしてください。（☞**43**ページ）
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「－－－－」になったり、点滅したりすることがあります。
- 大切な記録には標準モードをおすすめします。標準モードは3倍モードよりもヘッドによるテープ上への記録の読み書き面積が大きく、長期使用や他のビデオデッキとのテープ交換再生時でもヘッドと記録部分との位置がずれにくくなります。
  105 ページの「美しい画面をご覧いただくために」もご覧ください。

- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。
- 標準モード以外で録画されたテープを他のビデオデッキで再生するとノイズが出る場合がありますので、自己録再生(録画したビデオデッキそのもので再生)することをおすすめします。

テープの残り時間を調べる

再生中または録画中にテープの残り時間を表示させることができます。

本体表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えて、テープの残量を表示させます。

再生中 または 録画中

[表示切換]を押す

- 押すごとに、表示窓の表示が次のように切り換わります。

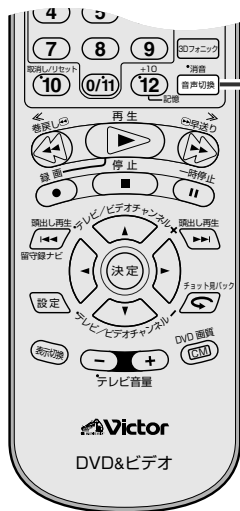
→ テープの残量表示＊ → 時計表示 → カウンター表示 →

＊：テープの残量は少しの間テープを走行させないと表示されません。

カウンターをリセットするには
[取消し/リセット]を押す

本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが、「0:00:00」に戻ります。

聞きたい音声を選ぶ

音声を切り換えるには

二重音声放送(二カ国語放送など)やステレオ放送を見ているときや、二重音声放送(二カ国語放送など)を録画したテープの再生中に、聞きたい音声を選ぶことができます。

設定メニューの「モード選択➡オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。
(☞**43**ページ)

[音声切換]を押す

- 押すごとに、聞こえる音声が変わります。

二重音声放送を(主音声と副音声で)録画したテープのとき

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声(主音声)	ノーマル音声(主音声+副音声)
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル	ノーマル 左　右

ステレオ放送を録画したテープのとき

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声(モノラル音声)	ノーマル音声(左音声+右音声)
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル	ノーマル 左　右

ハイファイ音声が記録されていないテープでは

- ノーマル音声しか聞けません。

副音声も録音したいときは

- お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、設定メニューの「モード選択➡二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞**43**ページ)

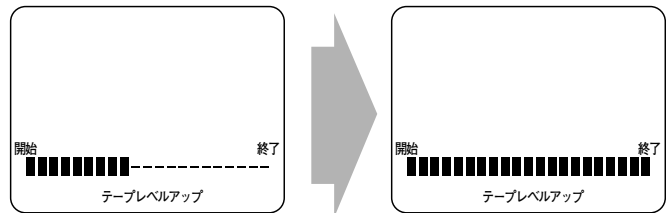
最適な画質で録画する

テープレベルアップ

テープレベルアップを使うと、自動的に録画するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画することができます。

録画するときの動作

■ 設定メニューの「モード選択➡テープレベルアップ」を「入」にします。(☞**43** ページ)
録画するテープを入れ、通常の録画の手順を行ってください。

録画が始まると、テレビ画面にテープレベルアップの確認状態が表示されます。この画面が表示されているときに、テープに最も良い状態で録画するための品質レベルを測定しています。(測定中は録画しません)

測定中は録画しません。

約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画が開始されます。

- テープレベルアップの測定が行われるのは、次のようなときです。
  - テープを入れた後、初めて録画するとき
  - 録画スピードを変えたとき
- 設定メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。(☞**43**ページ)

録画開始前に測定したいときは

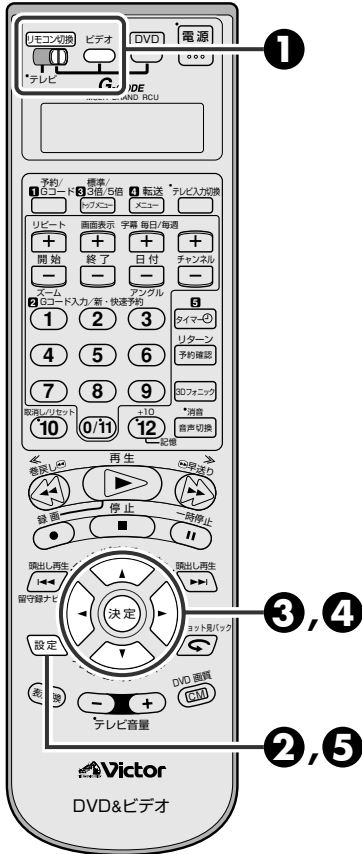
1 **[一時停止(II)]**と**[録画(●)]**を同時に押す
本機は録画一時停止状態になり、テープの品質レベルを測定します。

2 録画したい番組が始まったら、**[再生(▶)]**を押す
録画が始まります。

メモ テープレベルアップについて

- 予約録画をするときは、最初の予約録画を始める前に、テープの品質レベルを「標準(SP)」と「3倍(EP)」モードに対して測定します。以降の予約録画開始時には測定しません。(テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
- テープの品質レベルを測定中は、[一時停止(II)] は働きません。

最適な画質に設定する

ピクチャーセレクトの設定

お好みの番組などを録画や再生するときに最適な画質を選ぶことができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞14ページ)。

再生するときの設定

再生中の映像によって、より効果的な画質調整をすることができます。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

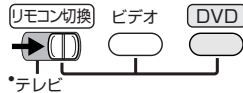
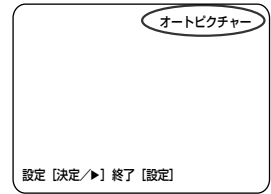
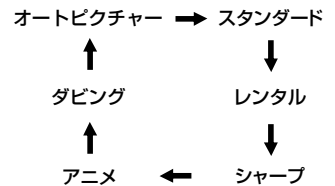
- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ 再生中に[設定]を押す

テレビ画面

＊ 設定 ＊
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❸ [▲／▼]で「ピクチャーセレクト」を選び、[決定]を押す

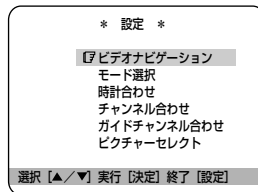
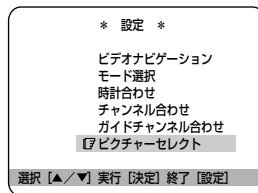
＊ 設定 ＊
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❹ [決定]または[▶]で映像に合ったモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように変わります。

オートピクチャー：テープの状態により、自動的に画質を調整します。（通常はこのモードにしてください。）

スタンダード：バランスの良い画質にしたいときに使います。

レンタル：レンタルビデオなどでノイズが目立つときに使います。

シャープ：くっきりとした輪郭の画質にしたいときに使います。

アニメ：アニメーションなどを再生するときに使います。

ダビング：ダビングするときに使います。

❺ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。

録画するときの設定

録画時も、再生と同じ方法で設定できます。
上の手順❹で選べるモードは、「オートピクチャー」と「ダビング」のみです。

ビデオを楽しむ

BS/CS デジタル放送の番組を録画予約する

ビデオコントロール端子に接続して録画予約する（BS デジタルリンク予約）

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

BSデジタルチューナーの予約機能に連動させ、簡単に録画することができます。BSデジタルリンク予約が待機中または録画中は、DVD側は使用できません。

メーカー設定をする

❶ 本機とBS機器(BSデジタルテレビまたは BS デジタルチューナー)を接続する

- 接続方法は、☞**24**ページをご覧ください。

❷ [チャンネル＋／－]で外部入力の「L-1」を選ぶ

❸ 設定メニューの「モード選択 ➡BSデジタル予約切換」で「ビデオコントロール」を選ぶ

テレビ画面

- 操作のしかたは☞**43**、**44**ページをご覧ください。

❹ [BSデジタル予約]を2秒以上押して「⊙」と「⍋」を点灯させる

- 本機の電源が自動的に切れます。

❺ BS機器側でメーカー設定をする

- 本機とBS機器が通信できるように設定します。本機の電源が入／切すれば、メーカー設定は終了です。
- メーカー設定のしかたは、BS機器の取扱説明書をご覧ください。

【これでメーカー設定は終了です】

録画予約をする

① BS機器側で番組を予約する

- 予約のしかたは、BS機器の取扱説明書をご覧ください。

② つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。

③ [標準／3倍／5倍]で録画スピードを選ぶ

④ [BSデジタル予約]を2秒以上押して「⊙」と「⍋」を点灯させる

- 本機の電源が自動的に切れ、予約待機状態になります。
- 予約開始時刻になるとBS機器の電源が入り、本機は自動的に録画を始めます。録画中は、「⊙」が点灯し、「⍋」が点滅します。
- BS機器の電源が入ったままでも、予約開始時刻になると、予約したチャンネルに切り換わって、本機は自動的に録画を始めます。
- 録画を途中で止めたいときは[BSデジタル予約]を1回押して、「⊙」と「⍋」を消灯してから、[停止(■)]を押してください。

メモ　予約待機中または録画終了後に本機を操作したいときは

- [BS デジタル予約] を 1 回押して、「⊙」と「⍋」を消してから操作してください。
- もう一度予約待機状態にしたいときは、[BSデジタル予約] を2秒以上押して、「⊙」と「⍋」を点灯させます。

録画中は

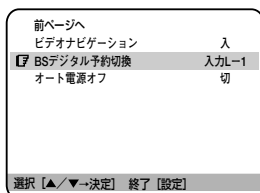
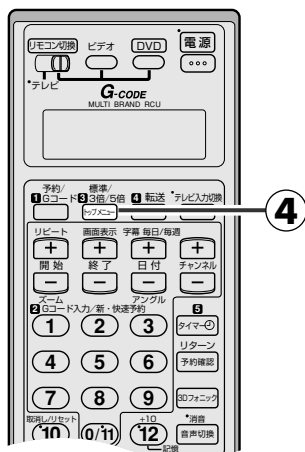
- 「⊙」と「⍋」点灯中は、G コード予約などの予約は実行しません。
- 録画中にテープの終わりまでくると、電源が切れ「▶」と「●」が点滅します。[BS デジタル予約] を押すと、「⊙」と「⍋」の点滅が消えます。本機の電源を入れ、巻戻しなどの操作をすると「▶」と「●」の点滅が消えます。

ビデオコントロール端子に接続しないで録画予約する（着信予約）

BSデジタルチューナーの予約機能に連動させ、簡単に録画することができます。予約時間以外でも、BS/CSチューナーの電源を入れると、録画を開始します。着信予約待機中または録画中は、DVD側は使用できません。

メニューの設定をする

❶ 設定メニューの「モード選択➡BSデジタル予約切換」で「入力 L-1」を選ぶ

テレビ画面

- 操作のしかたは、☞43、44ページをご覧ください。

録画予約をする

① BS/CSチューナー側で番組を予約する

- 予約のしかたは、BS/CSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

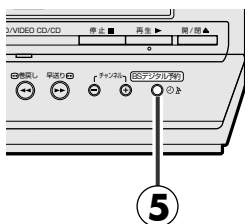
② 予約設定後、BS/CSチューナーの電源を切る

③ つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。

④ ［標準／3倍／5倍］で録画スピードを選ぶ

⑤ ［BSデジタル予約］を2秒以上押して「◷」と「📡」を点灯させる

- 本機の電源が自動的に切れ、予約待機状態になります。
- 予約開始時刻になるとBS/CSチューナーの電源が入り、本機は自動的に録画を始めます。録画中は、「📡」が点滅します。

メモ 着信予約について

- 「◷」と「📡」点灯中は、BS/CSチューナーの電源を入れないでください。電源を入れると、本機で録画が始まります。また、本機背面の「L-1」入力端子に接続している機器の電源を入れても、本機は録画を始めます。
- ［BSデジタル予約］を押したとき、BS/CSチューナーの電源が入っていると、「◷」と「📡」が点滅します。このときは、BS/CSチューナーの電源を切ってください。
- 使用するBS/CSチューナーによっては、実際の番組より多少長めに録画されたり、番組の始めが欠けて録画されることがあります。
- ☞62ページの「メモ」もご覧ください。

省電力の設定をする

ディスプレイオフ

電源ボタンを押して電源を切ると、本体表示部分が消灯して消費電力を少なくすることができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞14ページ)。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ/DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

テレビ画面

＊ 設定 ＊

- ビデオナビゲーション
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- ピクチャーセレクト

選択 [▲/▼] 実行 [決定] 終了 [設定]

❸ [▲/▼]で「モード選択」を選び、[決定]を押す

❹ [▲/▼]で「ディスプレイオフ」を選ぶ

❺ [決定]で「入」にする

- 押すごとに、設定の「入/切」が切り換わります。

❻ [設定]を押す

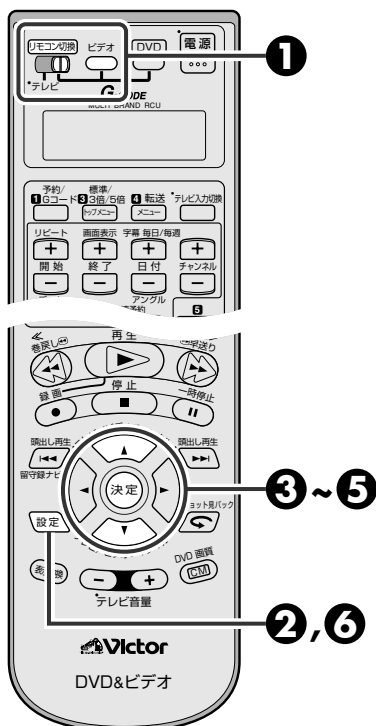
- メニュー画面が消えて終了です。

省電力設定したときの注意

- 設定メニューの「モード選択 ➡ ディスプレイオフ」を「入」にして電源を切ると[電源]、[タイマー(⏲)]、[取出し(⏏)]以外のボタンは操作できません。

省電力設定が働かないとき

- 次のようなときは、電源を切っても、本体表示部分が消灯しません。
  - ・チャイルドロック動作中
  - ・録画予約待機中
  - ・BSデジタルリンク予約待機中
  - ・着信予約待機中

オート電源オフ

本機の電源の切り忘れを防止するため、電源を自動的に切りたいときに設定します。
・電源「入」の状態で何も操作しないと、3時間後に自動的に電源を切ることができます。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ１など)を選んでください(☞14ページ)。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

テレビ画面

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

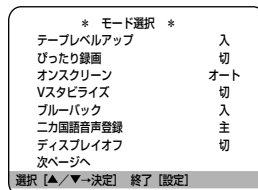
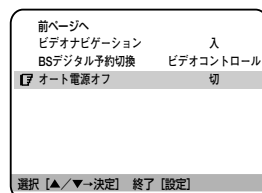
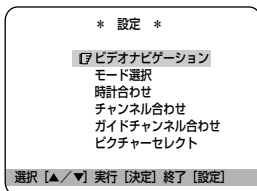
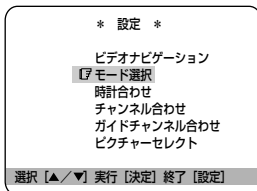
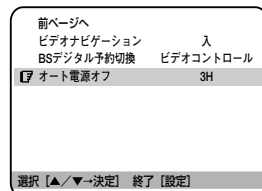
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❸ [▲／▼]で「モード選択」を選び、[決定]を押す

＊　設定　＊

ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

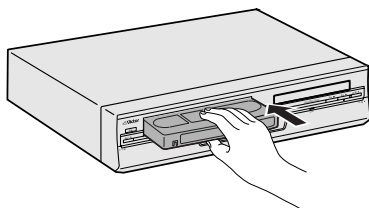
❹ [▲／▼]で「オート電源オフ」を選ぶ

❺ [決定]で「3H」にする

- 押すごとに、設定の「3H／切」が切り換わります。

❻ [設定]を押す

- メニュー画面が消えて終了です。

オート電源オフを設定すると

- 電源が切れる３分前に「電源が切れます」というメッセージがテレビ画面に点滅します。このメッセージが点滅中に操作ボタンを押すと、メッセージが消えて押したボタンの動作が行なわれます。

番組情報から番組を探す（ビデオナビゲーション）

ビデオナビゲーションとは

録画された番組情報（録画日時、チャンネル）をテープごと本機のメモリーに記憶することができます。
テープを入れて番組情報を一覧表示させてから、お好みの番組を選んで頭出し再生することができます。

本機のメモリーに記憶できる容量：テープ１本あたり８番組、最大 10 本ぶん

テープの見える面を上にし、
中央部をゆっくり押します。

テープを入れると

- ビデオナビゲーションに必要な番組情報を自動で検索します。
- 番組情報の検索中に、操作ボタン（再生ボタンなど）を押すと検索が中断されます。このようなときは番組情報は読み込まれません。

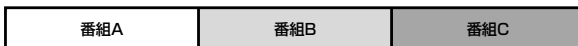
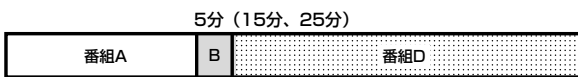
番組情報について

本機以外のビデオデッキでは、番組情報を見ることはできません。

正しく番組情報を記録するために

番組を録画するとき

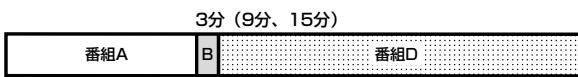
次の時間より長く録画しないと正しく番組情報を記録できません。
標準：５分以上　　　　　３倍：15 分以上　　　　　５倍：25 分以上

以前録画したテープに重ね録りするとき

（番組Bの残りと、新しく録画する番組Dの番組情報が本機のメモリーに記録されます）

3分（9分、15分）

録画済みの番組Bが
4分（12分、20分）
以下の場合

番組A　B　番組D

✖　〇

（番組Bの情報は消えて、新しく録画する番組Dの番組情報のみ本機のメモリーに記録されます）

（　）内の数値は、３倍、５倍モードの時間です。

記憶できるテープ数が減ってきたら

- 本機で記憶できるテープ数が３本以下になると、番組情報を読み込み中に「残りテープ」として本数が同時に表示されます。記憶できるテープ数がなくなったときは、一番古い番組情報から順に、新しい番組情報に上書きされます。

１本のカセットに８番組以上録画すると

- 一番古い録画の番組情報から順に消えていきます。

つめのないテープを入れたときは

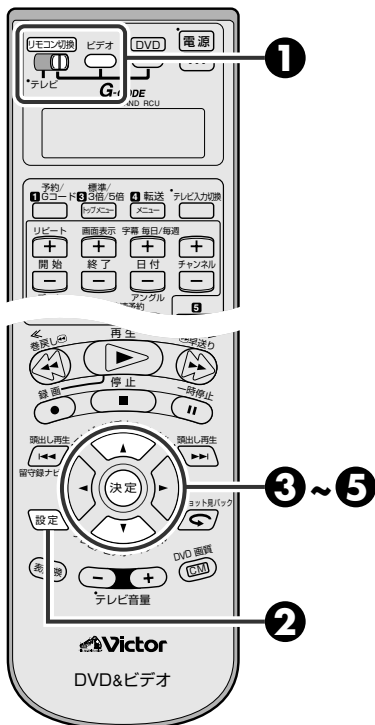
- 自動的に再生するため、番組情報の検索はしません。
  番組情報を見たいときは、設定メニューから「ビデオナビゲーション」を選んでください。

ビデオナビゲーション機能の「入／切」について

- 設定メニューの「モード選択➡ビデオナビゲーション」で行います。

ご注意

- 一本のテープに２つ以上の番組を録画するときは、番組の間に未記録部分ができないように録画してください。途中に未記録部分があると番組情報が正しく記憶できないことがあります。
- 番組情報の検索を中断してから録画予約すると、正しく番組情報が記憶されません。画面の「テープの内容を確認しています」と言う表示が消えてから録画予約待機にしてください。
- 番組情報は本機のメモリーに記憶されます。万一、本機のメモリーが故障して番組情報が消えてしまったときは、復元することはできません。
- 録画一時停止でつなぎ撮りした番組は、番組情報に登録されません。
- 録画中に停電が発生しても、停電補償時間内（約10分）に復旧すれば、録画は再開します。ただし、この場合１本のテープの中に停電前後で別々の番組情報として登録します。そのため、前後どちらかの番組情報しか表示できません。

番組情報の一覧表から見たい番組を探す／情報を全て消去する

録画された番組情報の一覧表から、見たい番組を選んで頭出し再生します。録画したテープに再度最初から録画するときは、そのテープの番組情報をすべて消去することをおすすめします。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

❶ リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[ビデオ]を押す

- 本体のビデオランプが点灯します。

❷ [設定]を押す

テレビ画面

＊ 設定 ＊

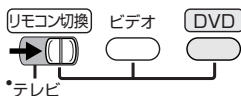
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

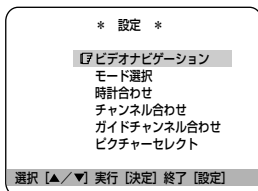
選択［▲／▼］実行［決定］終了［設定］

❸ [▲／▼]で「ビデオナビゲーション」を選び、[決定]を押す

＊ 設定 ＊

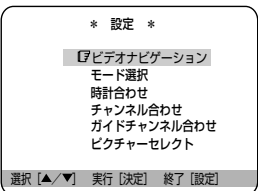
ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
ピクチャーセレクト

選択［▲／▼］ 実行［決定］ 終了［設定］

❹ [▲／▼]で番組情報一覧表から番組を選ぶ

番組情報一覧表

❺ [決定]を押す

- 番組情報一覧表から番組を選ぶと、選ばれた番組を自動的に頭出し再生します。頭出し中には画面に進行状況が表示されます。

テープの番組情報一覧表をすべて消去するには

- 番組情報一覧表を表示させてから、**[取消し/リセット]**を3秒以上押し続ける。
  表示されている番組情報がすべて消去され、テレビ画面に戻ります。

メモ 番組情報があるはずなのに見つからないとき

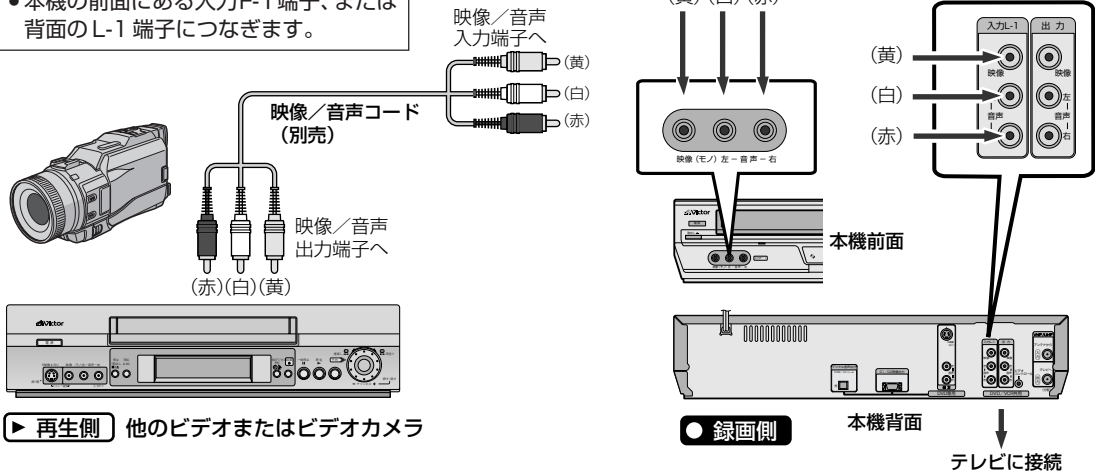
- 「テープのデータが確認できません」と表示されてから、巻き戻し方向へ頭出し再生をしてください。(☞**56** ページ)
  再生が始まったら［停止(■)］を押し、手順❷から操作してください。

すべての番組を見終わって、テープに再度録画するときは

- 録画を行う前に、番組情報をすべて消去することをおすすめします。消去しないで上書きをしたときは、正しく動作しないことがあります。
- VHS-C テープについては、正しく動作しないことがあります。
- 録画した個々の番組情報をひとつずつ消すことはできません。

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する

● 再生側の機器がビデオデッキまたはビデオカメラのとき

他機側（再生）

準備
- 再生するテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- 設定メニューの「ピクチャーセレクト」を「ダビング」にしておきます。(☞**61**ページ)

❶ 外部入力を選ぶ

[チャンネル＋／－]で「F-1」または「L-1」を選ぶ

- 前面の入力端子に、相手の機器をつないだときは「F-1」、背面の入力端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

❷ 録画一時停止状態にする

[一時停止(⏸)]を押しながら[録画(●)]を押す

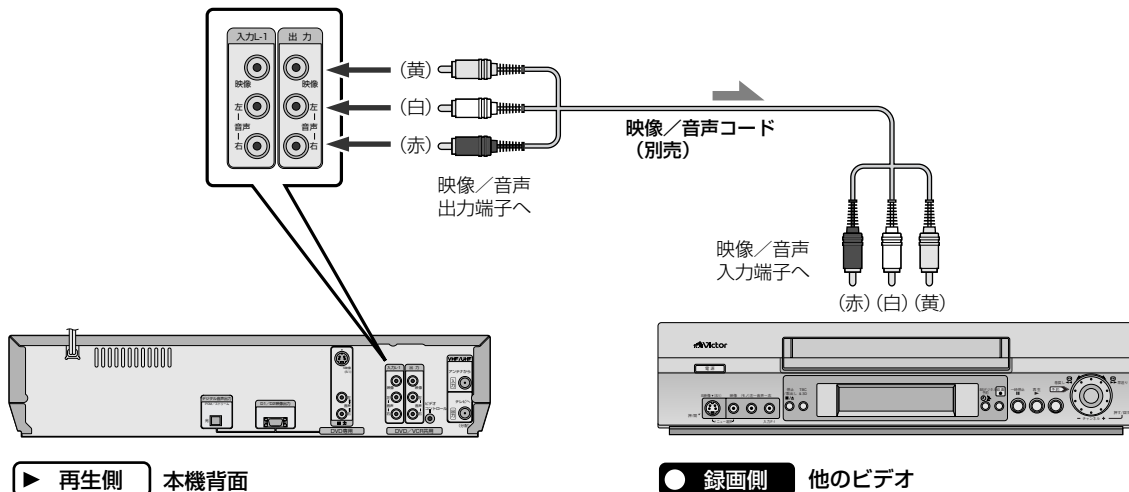
❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

❹ 録画を始める

[再生(▶)]を押す

- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モードで録画することをおすすめします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- 録画一時停止などで映像をつないだ部分の精度が劣ることがありますが、本機の性能であり故障ではありません。
- ダビングが終わったら…
  設定メニューの「ピクチャーセレクト」を「オートピクチャー」に戻しておいてください。(☞**61**ページ)

あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で再生、他機で録画する

本機側（再生）

準備
- 再生するテープを入れておきます。
- 設定メニューの「モード選択 ➡ オンスクリーン」を「切」にしておきます。「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が一緒に録画されてしまいます。(☞**43**ページ)
- 設定メニューの「ピクチャーセレクト」を「ダビング」にしておきます。(☞**61**ページ)

他機側（録画）

準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- くわしい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❷ 録画一時停止状態にする

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

[再生(▶)]を押す

❹ 録画を始める

- ダビングが終わったら…
  設定メニューの「ピクチャーセレクト」を「オートピクチャー」に戻しておいてください。
  (☞**61** ページ)

ビデオを楽しむ

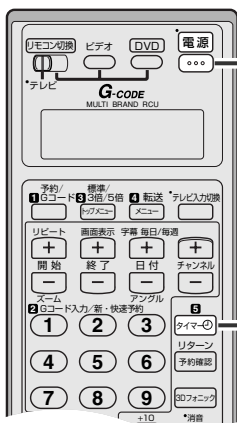
その他の機能

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞14ページ)。

テープをくり返し再生する（リピート再生）

[再生(▶)]を5秒以上押す

- 途中で止めるには、[停止(■)]を押します。
- 本体の表示窓の「▶」が点滅して、テープの始めから終わりまでを 100 回くり返し再生します。
- 録画スピードが 5 倍（SEP）で記録されたテープは、リピート再生できません。

思わぬ誤操作を防止（チャイルドロック）

本機には、チャイルドロック機能がついています。
チャイルドロック中には、[タイマー(◴)]だけが使えます。
その他の本体、リモコンの操作ボタンは働きません。

電源を切るときに

[電源]を10秒以上押す

- チャイルドロックが働いているときは、[電源]を押すと本体表示窓に「CL」を表示します。
- チャイルドロックを解除するには、もう一度リモコンの[電源]を10秒以上押し続けてください。電源が入ってチャイルドロックが解除されます。

用途に合わせて使う（ネクストファンクションメモリー）

再生中や、テープを見終わったときに使える機能があります。
用途に合わせてお使いください。

- **テープを巻戻してから再生する**

  [巻戻し(◀◀)] を押してから2秒以内に [再生(▶)]を押す

  途中まで見たテープを見直すときなどにお使いください。

- **テープを巻戻してから電源を切る**

  [巻戻し(◀◀)] を押してから2秒以内に [電源]を押す

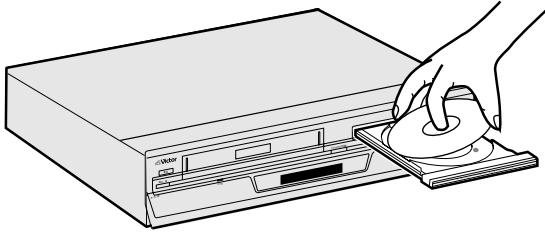
  留守録したテープを見終わって、お休みになるときなどにお使いください。

- **テープを巻戻してから予約録画待機状態にする**

  [巻戻し(◀◀)] を押してから2秒以内に [タイマー(◴)]を押す

  録画予約機能と合わせてお使いください。

- **テープを巻戻してからテープを取り出す**

  [巻戻し(◀◀)] を押してから2秒以内に 本体の[取出し(⏏)]を押す

MP3/JPEGディスクで使える機能

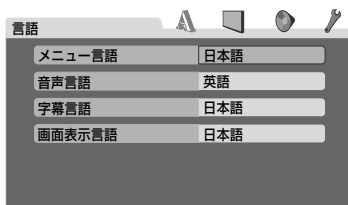
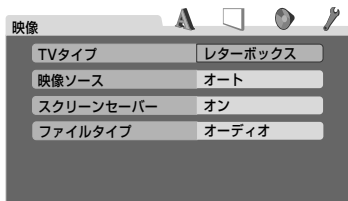
DVD設定メニューについて 72
お買い上げ時の設定を変える 72
DVD設定メニュー項目一覧 73
言語コード一覧 75
デジタルOUT詳細 75
オープニング画面について 76
ディスクを入れる / 取り出す 76
再生する 76
再生を停止する 77
今見たシーンをもう一度見る（チョット見バック） 78
早送り / 早戻し再生をする 78
一時停止 / 画像を1コマずつ送る / スローモーション再生する（スロー） 79
画像を1コマずつ送る（コマ送り） 79
スローモーション再生する 79
見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ 79
メニューから再生する 80
DVDビデオのメニューから選ぶ 80
ビデオCDのメニューから選ぶ 80
DVDを高画質で楽しむ 82
本機とD端子付きテレビの映像 / 音声端子を接続する 82
スキャンモードを切り換える 83
音声言語 / 音声を選ぶ（音声） 84
字幕を切り換える（字幕） 84
アングルを切り換える（アングル） 85
くり返し再生する（リピート再生） 85
画面を拡大する（ズーム） 86
サラウンド感を出す（3Dフォニック） 86
画質を調節する（VFP） 87
ステータスバーとメニューバーを使う（画面表示） 88
DVDビデオのときのアイコン 89
ビデオCDのときのアイコン 89
オーディオCDのときのアイコン 89
スーパービデオCDのときのアイコン 89
くり返し再生する（リピート再生） 90
タイトル / チャプター / トラック / 全トラックをくり返す 90
指定した範囲をくり返し再生する <A-Bリピート> 90
MP3ディスクを再生する 91
JPEGディスクを再生する 92
ファイルを連続再生する（スライドショー） 92
トラック / ファイルを直接指定して再生する 92
くり返し再生する（リピート再生） 93
画面を拡大する（ズーム） 93
視聴制限を設定する 94
視聴制限を一時解除する 95
トレイロックについて 95
カントリーコード一覧 96
DVDビデオをビデオテープにダビングする 97
本機とドルビーデジタルデコーダーまたはDTS内蔵アンプをつなぐ 98
光デジタル音声出力でデジタル録音する 99

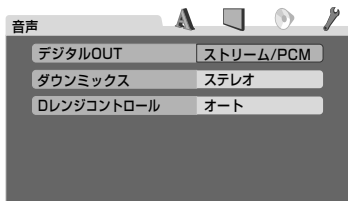
DVD プレーヤーの設定をする

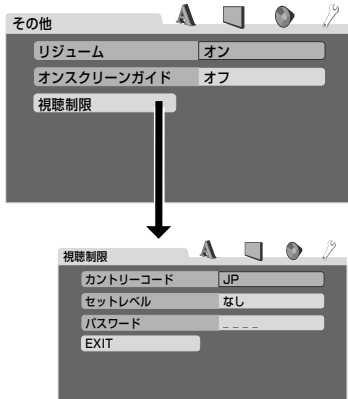
本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞**14**ページ)。

DVD設定メニューについて

次の４つの設定メニューを使って、DVD プレーヤーの設定をします。

：言語メニュー　(☞ 73ページ)
DVDビデオ再生時の各言語設定とDVD設定メニューの言語を設定します。

：映像メニュー　(☞ 73ページ)
映像出力の設定などをします。

：音声メニュー　(☞ 74ページ)
音声出力の設定をします。

音声	
デジタルOUT	ストリーム/PCM
ダウンミックス	ステレオ
Dレンジコントロール	オート

：その他メニュー　(☞ 74ページ)
その他の設定をします。

- 視聴制限にはサブメニューがあります。

お買い上げ時の設定を変える

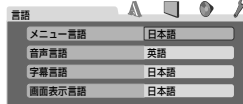
操作の例として「映像メニュー」の「スクリーンセーバー」の設定を変更します。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／ＤＶＤ」側にし**[DVD]** を押します。本体のDVD ランプが点灯します。

停止中に

❶ [設定]を押す

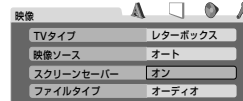
言語メニュー画面が表示されます。

言語	
メニュー言語	日本語
音声言語	英語
字幕言語	日本語
画面表示言語	日本語

- 再生中には選択できない項目もあります。

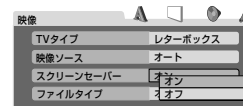
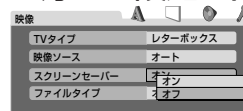
❷ [◀／▶]をくり返し押して映像メニューを表示させる

- ボタンを押すごとにメニュー画面が切り換わります。

❸ [▲／▼]をくり返し押して「スクリーンセーバー」に合わせる

映像	
TVタイプ	レターボックス
映像ソース	オート
スクリーンセーバー	オン
ファイルタイプ	オーディオ

❹ [決定]を押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

映像	
TVタイプ	レターボックス
映像ソース	オート
スクリーンセーバー	オン / オン、オフ
ファイルタイプ	オーディオ

❺ [▲／▼]をくり返し押してお好みの設定に合わせる

❻ [決定]を押す

設定が変更されました。

DVD設定メニューを消すには
[設定]を押す

DVD設定メニュー項目一覧

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容		
言語メニュー	メニュー言語		DVDのメニュー画面に表示される言語を選びます。 英語⇔スペイン語⇔フランス語⇔中国語⇔ドイツ語⇔イタリア語⇔ 日本語 ⇔AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表（☞ **75**ページ）をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	音声言語		DVDの音声言語を選びます。 英語⇔スペイン語⇔フランス語⇔中国語⇔ドイツ語⇔イタリア語⇔日本語⇔AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表（☞ **75**ページ）をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	字幕言語		DVDの字幕言語を選びます。 オフ⇔英語⇔スペイン語⇔フランス語⇔中国語⇔ドイツ語⇔イタリア語⇔ 日本語 ⇔AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表（☞**75**ページ）をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	画面表示言語		設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。 日本語 ⇔英語	
映像メニュー	TVタイプ		お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。	
	16:9画面	16:9	：**画面サイズが16:9のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。（4:3で収録されたDVDビデオを再生するときは、出力信号の画面幅を自動調節します。）**	「16:9」設定で4:3画面のDVDを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。
	レターボックス画面	レターボックス	：**上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。**	
	パンスキャン画面	パンスキャン	：**左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。**	ディスクが4:3パンスキャンに対応していないときは、パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。
	映像ソース ディスクの中には「オート」モードでは正しく再生されないものがあります。映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは、設定を変えてみてください。		ディスクに収録されている映像素材に応じて、最適な画質で再生するための設定を選びます。	
		オート	：**素材のタイプ（ビデオ/フィルム）を自動判別します。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像の再生に適しています。通常はこちらに設定します。**	
		フィルム	：**フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録された映像ソースの再生に適しています**（☞ **83**ページ）。	
		ビデオ	：**ビデオ素材の映像の再生に適しています。**	
	スクリーンセーバー		画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー（☞ **74**ページ）を使うか、使わないかを選びます。	
		オン	：**静止画が5分以上続くと画面が暗くなります。**	
		オフ	：**スクリーンセーバーは機能しません。**	
	ファイルタイプ		1枚のCD-R/CD-RWディスクにMP3、JPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生するかを選びます。いずれか一方のみが記録されている場合は、設定に関わらず再生できます。	
		オーディオ	：**MP3ファイルを再生するとき選びます。**	
		静止画	：**JPEGファイルを再生するとき選びます。**	

DVD設定メニュー項目一覧（つづき）

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

	項目	設定内容
音声メニュー	デジタルOUT	本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。(デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません)設定項目と出力信号の関係については、**75**ページの表をご覧ください。 PCMのみ：リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダーなどと接続するとき、この設定にします。 DOLBY DIGITAL/PCM：ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。 ストリーム/PCM（お買い上げ時）：DTSデコーダーやドルビーデジタルデコーダー付機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
	ダウンミックス	サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます。（この設定はDVD ビデオを再生するときのみ影響します） ドルビーサラウンド：本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。 ステレオ（お買い上げ時）：本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
	D（ダイナミック）レンジコントロール	ドルビーデジタル収録されたDVDビデオを小音量で楽しむ場合、音声のダイナミックレンジを圧縮します。収録されたチャンネル数に合わせて設定します。 この機能はドルビーデジタル収録されたディスク以外では働きません。 3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。 オート（お買い上げ時）：ドルビーデジタル1chまたは2ch収録のディスク以外で常にダイナミックレンジを圧縮します。 オン：常にダイナミックレンジを圧縮します。
その他メニュー	リジューム	リジューム再生（☞ **77**ページ）を使うか、使わないかを選びます。 オン（お買い上げ時）：リジューム機能が働きます。 オフ：リジューム機能が働きません。
	オンスクリーンガイド	再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク（▶、…… など）や文字を表示するか、表示しないかを選びます。 オン：マークや文字が表示されます。 オフ（お買い上げ時）：マークや文字が表示されません。
	視聴制限	視聴制限を設定します。この項目を選ぶと、視聴制限設定画面が表示されます。 設定方法については、**94**ページをご覧ください。

スクリーンセーバーについて

長い時間、テレビ画面に静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。
DVD設定メニュー表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作しないと、画面が暗くなります。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

スクリーンセーバー機能は「映像メニュー」(☞**73**ページ)で設定します。

● スクリーンセーバー機能は、ビデオのときは働きません。

言語コード一覧/デジタルOUT詳細

〈言語コード一覧〉

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ - ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

〈デジタルOUT詳細〉

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビット リニアPCMのDVDビデオ 96kHzのリニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリー ム		48kHz、16ビット ステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3のCD-R/CD-RW	32kHz/44.1kHz/48kHz、16ビットリニアPCM		

- 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの再生では、オリジナルの20または24ビットの音声信号が、デジタル音声出力端子から出力されることがあります。

DVD プレーヤーの基本操作

ここでは、主にリモコンのボタンを使っての操作説明をします。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

● 本機の電源を「入」にします。

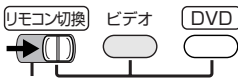
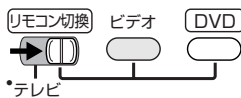
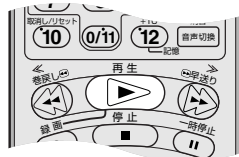
本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ1など)を選んでください(☞**14**ページ)。

DVDを操作する場合

リモコン切換スイッチを「ビデオ／ＤＶＤ」側にし**[DVD]**を押します。

本体のDVDランプが点灯します。

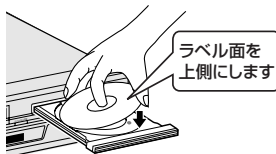
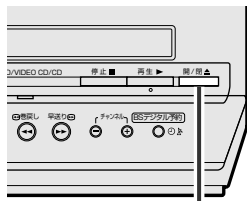
また、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。ここでは、機能ごとに次のマークを示し、どの種類のディスクで操作ができるのかをお知らせしています。

例：オーディオCD以外で使える機能のとき

オープニング画面について

• 電源が「入」になると、テレビ画面に自動的にオープニング画面が表示されます。

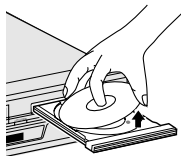
ディスクを入れる/取り出す

本体の［開／閉(⏏)］を押す

ディスクトレイが出てきます。ディスクトレイの円形部分に沿うように正しくディスクを置きます。

開/閉（⏏）ボタン

● ８センチディスクは内側の凹部に置きます。
● 両面ディスクのときは、再生したい面を下にして、ディスクトレイに入れます。
● もう一度 **[開／閉(⏏)]** を押すとディスクトレイが閉まります。ディスクによっては再生が始まります。
● 電源「切」のときでも、本体の**[開／閉(⏏)]**を押すと、ディスクトレイが出てきます。

再生する

● リモコン切換スイッチを「ビデオ／ＤＶＤ」側にし**[DVD]** を押します。本体のDVDランプが点灯します。

[再生(▶)]を押す

ディスクの最初から再生が始まります。
リジュームの設定によっては、前回の続きが再生されることもあります(☞**77** ページ)。

例：DVDビデオを再生したとき

経過時間

例：オーディオCDを再生したとき

経過時間

メニューが表示されたときは

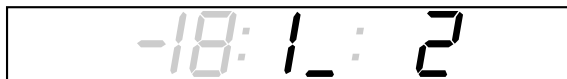
ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。（☞**80**ページ）

● ディスクによっては、ディスクトレイが閉まると自動的に再生が始まります。そのときにビデオ側が「停止」状態でビデオランプが点灯している時は、自動的にDVDランプの点灯に切り換わります。

● 電源プラグを差し込んだあと約30秒間は、ディスク挿入などの操作はできません。
● ディスクを取り出すときは、ディスクが出終わるまでさわらないでください。また、ディスクが挿入口から出た状態のままディスクを放置しないでください。

本体の表示窓に再生中のチャプター番号やトラック番号を表示させるには

ディスクの再生中に**[表示切換]**を押します。

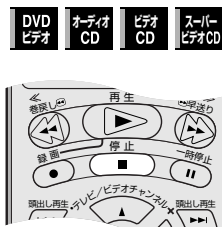
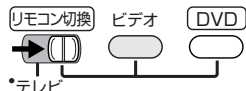
例：DVDビデオの場合

タイトル番号　チャプター番号

例：オーディオCDの場合

収録トラック数　トラック番号

- **[表示切換]**をもう一度押すとディスクの経過時間表示に戻ります。

再生を停止する

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし**[DVD]**を押します。本体のDVDランプが点灯します。

再生中に

[停止(■)]を押す

再生が停止します。
リジューム設定(☞**74**ページ)が「オン」のとき、本体表示窓に「rESuM」と表示されます。
このとき**[再生(▶)]**を押すと、記憶された位置から続きが再生されます**(リジューム再生)**。

- オーディオCDでは、リジューム再生は働きません。また、一部のディスクでも働かないこともあります。

位置の記憶を取り消すには

- 停止中に**[停止(■)]**を押す
- ディスクを取り出す
- 電源を「切」にする

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

⃠ ：本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、操作ができないことがありますのでご注意ください。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

- ▶ ：再生を開始すると表示されます。
- ⏸ ：一時停止（☞**79**ページ）すると表示されます。
- ⏪⏩：早送り/早戻し再生（☞**78**ページ）をすると表示されます。
- スロー ：スローモーション再生（☞**79**ページ）をすると表示されます。
- 音声 ：複数の音声言語が収録されている場面で表示されます（DVDビデオのみ：☞**84**ページ）。
- 字幕 ：複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます（DVDビデオのみ：☞**84**ページ）。
- アングル ：複数のアングルが収録されている場面で表示されます（DVDビデオのみ：☞**85**ページ）。

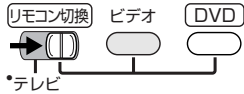
- オンスクリーンガイドはお買い上げ時は「オフ」になっています。(☞**74**ページ)

- PBC対応のビデオCDや、記憶された位置によっては、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- DVDビデオのメニュー画面表示中やビデオCDのPBCメニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。

今見たシーンをもう一度見る (チョット見バック)

今見たシーンをワンタッチで戻して、もう一度見ることができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし [DVD] を押します。本体の DVD ランプが点灯します。

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

再生中に

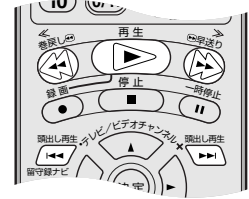
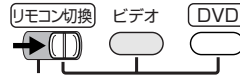
[チョット見バック( )] を押す

約 10 秒前から再生が始まります。

- DVD ビデオによっては、働かない場合があります。また、異なるタイトルには戻ることができません。

早送り/早戻し再生をする

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし [DVD] を押します。本体の DVD ランプが点灯します。

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

早送り／早戻し1

再生中に

[|◀◀] または [▶▶|] を押し続ける

[▶▶|] を押し続けている間、5倍速の早送り再生になります。

[|◀◀] を押し続けている間、5倍速の早戻し再生になります。

ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

早送り／早戻し2

再生中に

[◀◀] または [▶▶] を押す

[▶▶] を押すと早送りになります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

(早送り)： 2倍 ➔ 5倍 ➔ 20倍 ➔ 60倍

[◀◀] を押すと早戻しになります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

(早戻し)： 2倍 ➔ 5倍 ➔ 20倍 ➔ 60倍

通常の再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

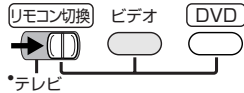
- 早送り / 早戻し再生中は、音声が出ません。オーディオ CD では、音声が断続的に聞こえます。
- オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

例：早送り20倍のとき　▶▶ x20

例：早戻し5倍のとき　◀◀ x5

- ディスクによっては、オンスクリーンガイド表示どおりのスピードで動作しない場合があります。

一時停止/画像を1コマずつ送る/スローモーション再生する(スロー)

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／ＤＶＤ」側にし[DVD] を押します。本体のDVD ランプが点灯します。

再生中に

[一時停止(II)]を押す

再生が一時停止します。

画像を1コマずつ送る(コマ送り)

一時停止中に

[一時停止(II)]を押す

ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

- DVD プレーヤーでは、逆方向のコマ送りはできません。

スローモーション再生する

一時停止中に

[◀◀]または[▶▶]を押す

[▶▶]を押すと順方向のスローモーション再生になります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。
  (順方向): 1/32 ➡ 1/16 ➡ 1/8 ➡ 1/4 ➡ 1/2

[◀◀]を押すと逆方向のスローモーション再生になります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。
  (逆方向): 1/32 ➡ 1/16 ➡ 1/8 ➡ 1/4 ➡ 1/2
- DVDビデオ以外のディスクでは、逆方向のスローモーションは働きません。

通常の再生に戻すには、[再生(▶)]を押します。

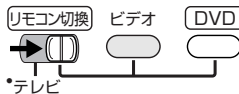
- スローモーション再生中は、音声が出ません。
- オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

例：スローモーション 順方向1/2のとき

例：スローモーション 逆方向1/32のとき

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

前後のタイトル / チャプター(DVD ビデオ)やトラック(オーディオ CD/ ビデオ CD/ スーパービデオ CD)の頭にスキップすることができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／ＤＶＤ」側にし[DVD] を押します。本体のDVD ランプが点灯します。

DVDビデオ：再生中に、オーディオCD：停止中または再生中に、ビデオCD/スーパービデオCD：停止中またはPBCオフで再生中に

頭出し1

[I◀◀]または[▶▶I]を押す

選んだチャプター/トラックが本体表示窓に表示されます。
[▶▶I]をくり返し押すと、先のチャプター/トラックに進みます。
[I◀◀]をくり返し押すと、前のチャプター/トラックに戻ります。

- 現在再生しているチャプター/トラックの頭に戻すには、1回だけ[I◀◀]を押します。

頭出し2

数字ボタン[1～10、0/11、+10/12]を使って番号を指定する

指定した番号が本体表示窓に表示され、再生が始まります。

- DVD ビデオのときは、停止中はタイトル、再生中はチャプターを指定できます。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのときは、トラックが指定されます。

数字ボタンの使いかた

- 1～10 を選ぶには
  その番号の数字ボタンを直接押します。
- 11 以上を選ぶには
  [+10/12] を押してから[1]～[9]を押します。
  [+10/12] を押すごとに 1＿➡2＿➡3＿…と 10の位の数字がカウントアップします。
  [0/11] を押すと「0」が入力できます。

- DVDビデオやPBC機能(☞81ページ)対応ビデオCDによっては、この機能を使えないものもあります。
- ⃠が表示されたときは ...
  押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されていません。

DVDを楽しむ

メニューから再生する

DVDビデオのメニューや、ビデオCD/スーパービデオCDのPBC（プレイバックコントロール）を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

DVDビデオのメニューから選ぶ

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

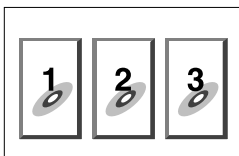
DVDビデオ:いつでも

❶ **[トップメニュー]または[メニュー]を押す**

ディスクのメニュー画面が表示されます。

❷ **[▲／▼／◀／▶]を使って見たい映像や項目を選び、[決定]を押す**

選択したところから再生されます。

例：

- [トップメニュー]を押したとき⃠が表示されたときは・・・
  そのディスクにタイトルやグループ一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されておりません。
- [メニュー]を押して⃠が表示されたときは・・・
  そのディスクにメニュー画面自体が収録されておりません。
- 停止中は、[メニュー]は働きません。

ビデオCDのメニューから選ぶ

PBC（☞81ページ）が記録されたビデオCD/スーパービデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

メニュー画面が表示されたら

数字ボタン[1～10、0/11、+10/12]を使って見たいトラックの番号を指定する

選んだ番号のトラックが再生されます。

数字ボタンの使いかた

- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押します。
- **11以上を選ぶには**
  [+10/12] を押してから[1]～[9]を押します。
  [+10/12] を押すごとに1＿➡2＿➡3＿…と10の位の数字がカウントアップします。
  [0/11] を押すと「0」が入力できます。

メニュー画面に戻るときは

[リターン]を押す

テレビ画面上に[次へ]または[前へ]などと表示されているときは

[▶▶I]を押してメニューの次のページへ進みます。
[I◀◀]を押してメニューの前のページへ戻ります。

- 操作方法はディスクにより異なります。

メニューから再生する(つづき)

[メニュー]と[トップメニュー]について

- 複数のタイトルが収録されているディスクでは、**[トップメニュー]**を押して、タイトル名のリストなどが表示されているメニュー画面を表示させせます。
  また、タイトルが 1 つだけのディスクでも、メニュー画面が収録されているときは、**[メニュー]**を押して、メニュー画面を表示させせることができます。
  各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をご覧ください。
- メニュー画面によっては数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。
- ＤＶＤビデオのフォーマットで記録し、ファイナライズされたディスクでも、再生するディスクよってはディスクのメニュー画面にその内容(タイトル)が、表示されない場合があります。

ビデオCD/スーパービデオCDのPBC機能をオン / オフするには

PBCオフで再生するには 、停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の再生が始まります。表示窓に演奏経過時間が表示されます。

経過時間

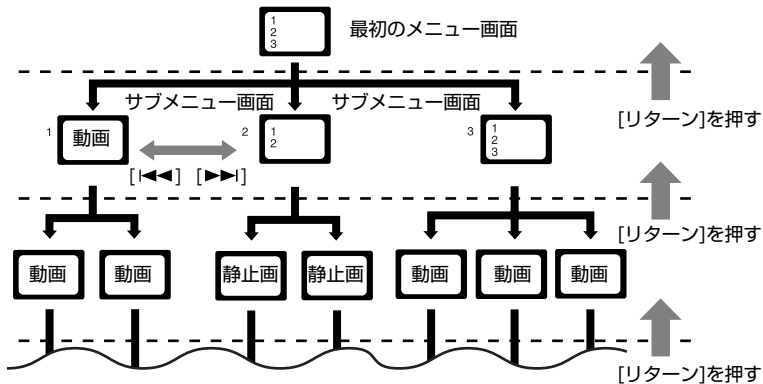
ＰＢＣ をふたたびオンにするには、再生中に、**[トップメニュー]**または**[メニュー]**を押す、または**[停止(■)]**を 1 回(リジューム機能が「オン」のときは２回)押してから、**[再生(►)]**を押します。 表示窓に「Pbc」と表示されます。

プレイバックコントロール（PBC）について

ビデオCD/スーパービデオCDのプレイバックコントロール(PBC)では、いくつかの階層に分けられて収録されたディスクの内容を、画面の指示にしたがって、再生することができます。
PBC対応ディスクを再生すると、通常は最初のメニュー画面が表示されます。そこで画面に表示された項目や番号を選んで、見たいところを再生したり、次の画面に進んだりすることができます。
本機では、PBC対応のディスクでも、PBCを使わずに収録されたトラックを連続して再生することができます。

また、PBC対応ディスクは、動画の4倍以上の解像度を持つ高精細な静止画を収録することもできます。

PBCのメニュー再生の基本的な流れ

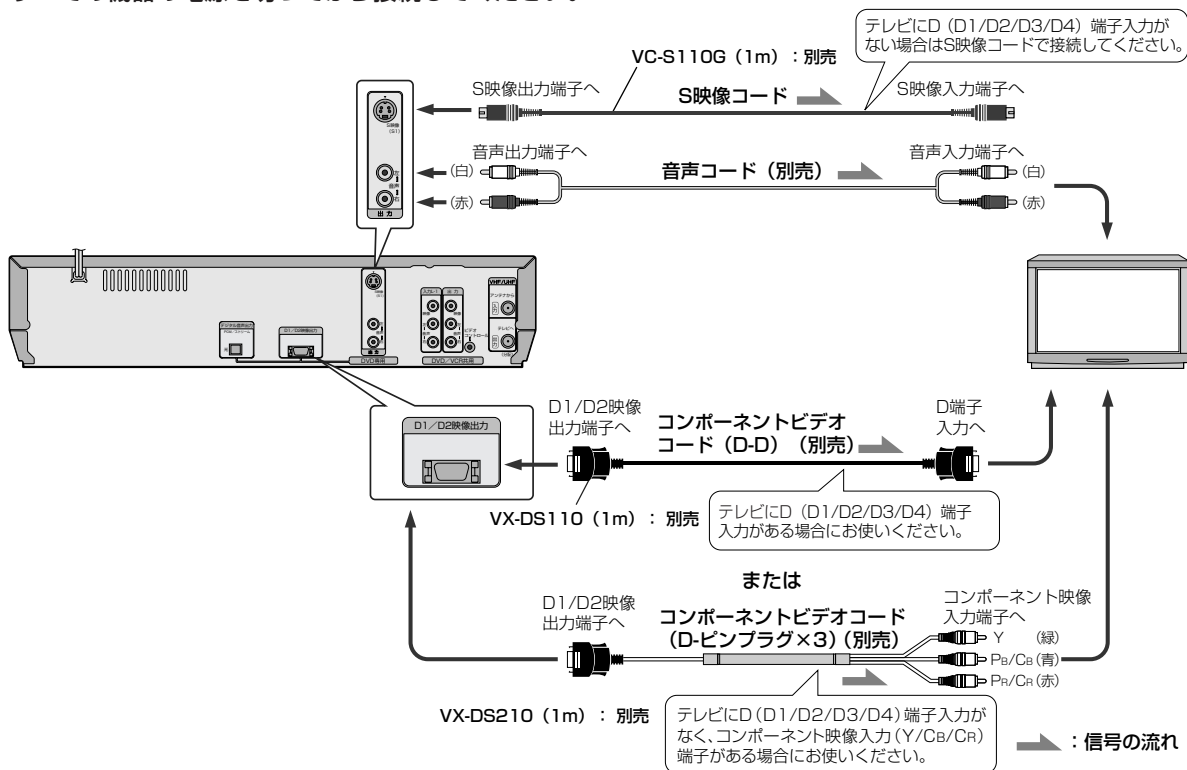
DVD プレーヤーの便利な機能

DVDを高画質で楽しむ

テレビに D1 ／ D2 ／ D3 ／ D4 端子入力があるときは、本機の D1/D2 映像出力端子とつないでください。

本機からの映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機が接続されている外部入力(ビデオ 1 など)を選んでください(☞**14**ページ)。

本機と D 端子付きテレビの映像／音声端子を接続する

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子入力が
ない場合はS映像コードで接続してください。
VC-S110G（1m）：別売
S映像出力端子へ
S映像コード
S映像入力端子へ
音声出力端子へ
音声コード（別売）
音声入力端子へ
(白)
(赤)
D1/D2映像
出力端子へ
コンポーネントビデオ
コード（D-D）（別売）
D端子
入力へ
D1／D2映像出力
VX-DS110（1m）：別売
テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子
入力がある場合にお使いください。
または
D1/D2映像
出力端子へ
コンポーネントビデオコード
（D-ピンプラグ×3）（別売）
コンポーネント映像
入力端子へ
Y（緑）
PB/CB(青)
PR/CR(赤)
VX-DS210（1m）：別売
テレビにD(D1/D2/D3/D4)端子入力が
なく、コンポーネント映像入力(Y/CB/CR)
端子がある場合にお使いください。
：信号の流れ

接続後、DVD 設定メニューの「映像メニュー ➡TV タイプ」を設定してください。

- お買い上げ時は、「レターボックス」に設定されています。

ワイドテレビを接続しているとき：「16：9」を選びます。

通常のテレビを接続しているとき：「パンスキャン」または「レターボックス」を選びます。

- 詳しくは、**73** ページをご覧ください。

D端子入力付きテレビをお持ちのかたへ

- コンポーネントビデオコードおよび音声コードを接続してください。

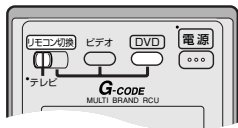
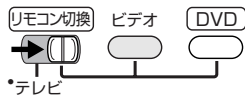
ワイドテレビをお持ちのかたへ

- 「TVのタイプ」を「パンスキャン」にしたときは、字幕が見えなかったり、画面の端が欠ける場合があります。通常は「レターボックス」に設定してください。
- 画像サイズの判別をするために、本機とテレビの接続は、D端子またはS映像端子で接続することをおすすめいたします。

- 「プログレッシブスキャンモード」のときは、映像出力端子の映像が乱れます。D端子を使用しないときは、「プログレッシブスキャンモード」には切り換えないでください。
- DVD専用出力端子は、ビデオ側の映像信号／音声信号を出力しません。

スキャンモードを切り換える

本機のスキャンモードは、お買い上げ時は「インターレース」に設定されています。
プログレッシブスキャン対応テレビと本機のD映像端子で接続したときに、スキャンモードをプログレッシブ方式に切り換えます。

● リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。
本体のDVDランプが点灯します。

停止中または再生中に

リモコンの[DVD]を3秒以上押す

スキャンモードがプログレッシブ方式に切り換わり、本体表示窓が次の様に点灯します。

● スキャンモードがプログレッシブ方式のときは、D映像以外の映像端子からは、正常な映像が出力されません。

インターレース方式に戻すには

[DVD]を3秒以上押す。

本体表示窓が次の様に点灯します。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に写ることがありました。
ビクターのデジタルダイレクトプログレッシブ方式は、DVD ビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

● ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあます。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」にしてください。
● プログレッシブ映像出力の著作権保護信号についてプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」にしてお使いください。ビクター製のテレビでは、HD - 32LS3やAV - 32AD3などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

DVDプレーヤーの便利な機能（つづき）

音声言語/音声を選ぶ（音声）

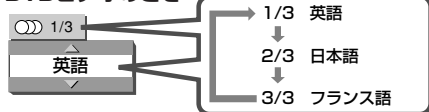
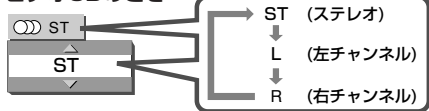
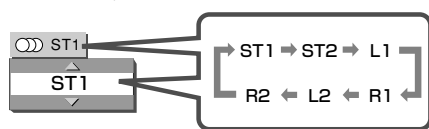
DVDビデオやビデオCD/スーパービデオCDの中には複数の音声言語/音声が収録されているものがあります。それらの中から希望する音声言語/音声を選ぶことができます。

DVDビデオの場合：複数の音声が収録されているチャプターの再生開始時に◯))が数秒間表示されます。

- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは◯))は表示されません（☞74ページ）。**
- **メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます（☞89ページ）。**

再生中に

[音声切換]をくり返し押す

ボタンを押すごとに、音声言語/音声が切り換わります。

例：スーパービデオCDのとき

（スーパービデオCDには2種類のステレオ音声が録音されているものがあります。）

現在の音声設定を確認するには

[音声切換]を一回押す

音声選択ウィンドウを消すには

[決定]を押す

- ⃠が表示されたときは…
  ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 音声の切り換えは、ディスクに収録されていない音声言語/音声については、ご使用になれません。

音声言語の表記について

言語コードで表示されたときは、言語コード（☞75ページ）をご確認ください。

字幕を切り換える（字幕）

DVDビデオ/スーパービデオCDの中には、複数の字幕言語が収録されているものがあります。それらの中から希望する言語を選びます。

DVDビデオの場合：複数の字幕が収録されているチャプターの再生開始時に[....]が数秒間表示されます。

- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは[....]は表示されません。（☞74ページ）**
- **メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます。（☞89ページ）**

再生中に

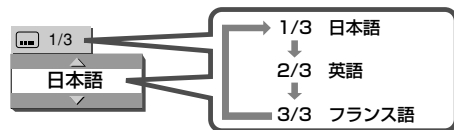
❶ [字幕]を押す

字幕言語ウインドウが表示されます。

❷ [▲／▼]を押して字幕言語を選ぶ

例：

[....] 1/3
日本語

1/3 日本語
↓
2/3 英語
↓
3/3 フランス語

字幕を消すには

[字幕]を押して「オフ」を選ぶ

字幕選択ウィンドウを消すには

[決定]を押す

- 🚫が表示されたときは…
  ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 字幕の切り換えは、ディスクに収録されていない言語については、ご使用になれません。

字幕言語の表記について

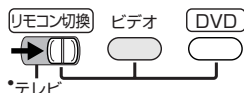
言語コードで表示されたときは、言語コード（☞75ページ）をご確認ください。

アングルを切り換える(アングル)

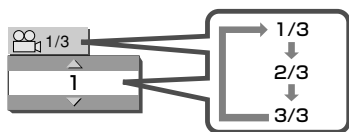
DVDビデオの中には、複数のアングルが収録されているものがあります。それらの中から希望するアングルを選びます。

複数のアングルが収録されているチャプターの再生開始時に🎥が数秒間表示されます。

- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは🎥は表示されません。（☞74ページ）**
- **メニューバーを使って、アングルを選ぶこともできます。（☞89ページ）**

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、**［DVD］**を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

再生中に

[アングル]を押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

現在のアングルを確認するには

[アングル]を一回押す

アングル選択ウィンドウを消すには

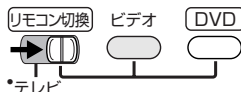
[決定]を押す

- 🚫が表示されたときは…
  ディスクに複数のアングルが収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 複数のアングルが収録されていないディスクでは、アングルの切り換えがご使用になれません。

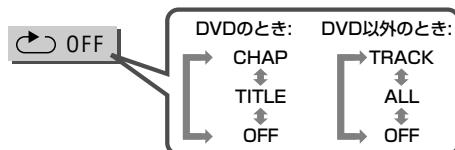
くり返し再生する(リピート再生)

再生中の映像や音楽をくり返して再生することができます。

- **メニューバーを使って、リピート再生モードを選ぶこともできます。（☞90ページ）**

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、**［DVD］**を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

DVDビデオ:再生中に、CDオーディオ:再生中または停止中に、ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に

[リピート]をくり返し押す

ボタンを押すごとに、次のようにモードが切り換わります。

CHAP(チャプター) ：チャプターのリピート再生
TRACK(トラック) ：トラックのリピート再生
TITLE(タイトル) ：タイトルのリピート再生
ALL(オール) ：全トラックのリピート再生
OFF(オフ) ：リピート再生のモードの解除

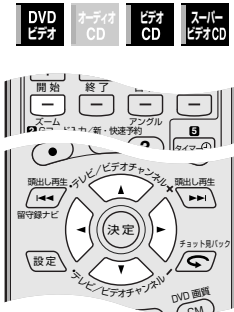
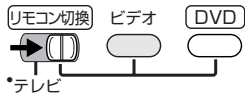
リピート再生モード選択ウィンドウを消すには

[決定]を押す

DVD プレーヤーの便利な機能（つづき）

画面を拡大する（ズーム）

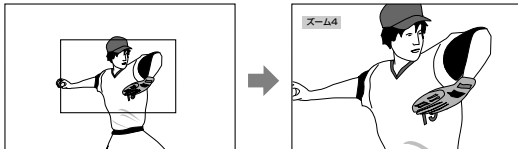
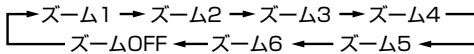
画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、［DVD］を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

再生中または一時停止中に

❶ ［ズーム］を押す

画面が拡大されます。

- ボタンを押すごとに、倍率が次のように変化します。

ズーム1 → ズーム2 → ズーム3 → ズーム4 → ズーム5 → ズーム6 → ズームOFF

画面の左上部に現在の倍率が表示されます。拡大したい場所を選ぶには次の手順で行います。

❷ ［▲／▼／◀／▶］を押して拡大したい部分を選ぶ

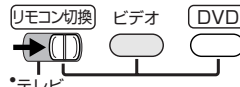
ズームを解除するには

［ズーム］を押し、「ズームOFF」を選ぶ

- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

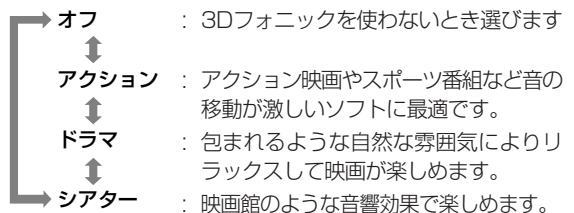
サラウンド感を出す（3Dフォニック）

3Dフォニックを使うと、2本のスピーカーだけでもサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、［DVD］を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

再生中に

［3Dフォニック］をくり返し押す

ボタンを押すごとに、次のように設定が切り換わります。

- **オフ**：3Dフォニックを使わないとき選びます
- **アクション**：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
- **ドラマ**：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
- **シアター**：映画館のような音響効果で楽しめます。

現在の3Dフォニックの設定を確認するには

［3Dフォニック］を一回押す

3Dフォニックについて

- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果が得られます。その他のDVDソフトでは、3Dフォニックを使っても同様の効果は得られません。
- ドルビーデジタルのDVDソフトで、リア（サラウンド）の音声が収録されていない場合、3Dフォニックの設定は変更できますが、正しい効果は得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。

画質を調節する(VFP)

VFP(Video Fine Processor)機能を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。
本体のDVDランプが点灯します。

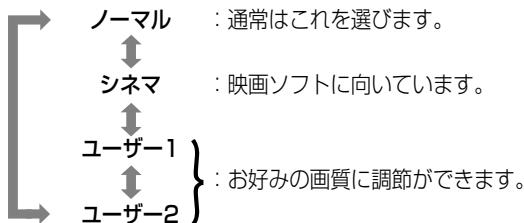
再生中に

❶ [DVD画質]を押す

テレビ画面にVFP設定ウィンドウが表示されます。

現在選択されている VFP モード

❷ [◀／▶]を使ってVFPモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにVFPモードが切り換わります。

ユーザー1、2を選んだときは

続く手順❸～❻で設定項目の調節をすることができます。
設定項目の調節内容は記憶されます。

❸ [▲／▼]を押して設定項目を選ぶ

設定項目

ガンマ	：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。
明るさ	：画面の明るさを調節します。
コントラスト	：画面のコントラストを調節します。
色のこさ	：画面の色のこさを調節します。
色合い	：画面の色合いを調節します。
シャープネス	：画面のシャープさを調節します。

❹ [決定]を押す

VFP設定ウィンドウが消えて、項目ごとの調節ウィンドウが表示されます。

例：「ガンマ」を選んだとき

❺ [▲／▼]を押して設定項目の調節をする

[▲]を押すと数値が大きくなります。
[▼]を押すと数値が小さくなります。

- 数値の調節範囲は、設定項目によって異なります。

❻ [決定]を押す

再び、VFP設定ウィンドウが表示されます。
他の項目の調節をするときは、手順❸～❻をくり返します。

VFP設定ウィンドウを消すには

[DVD画質]を押す

ステータスバーとメニューバー

本機では、テレビ画面上に、ステータスバーとメニューバーを表示させることができます。これらの表示を使って、再生中にディスクの情報を確認したり（ステータスバー）、さまざまな機能を呼び出して使う（メニューバー）ことができます。

・MP3ディスク/JPEGディスクの再生中には、ステータスバー/メニューバーは使えません。

ステータスバーとメニューバーを使う(画面表示)

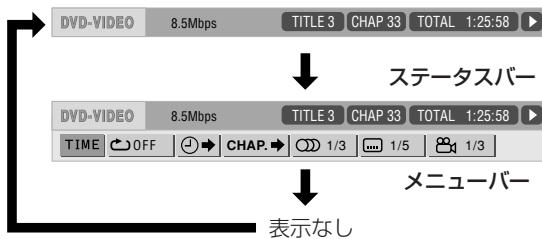
● リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし **[DVD]** を押します。
本体のDVDランプが点灯します。

DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD

リモコン切換　ビデオ　DVD
テレビ

再生中または一時停止中に

❶ [画面表示]を押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

❷ メニューバー表示中に［◀／▶］を押して設定したいアイコンを選ぶ

❸ [決定]を押す

各機能が設定できるようになります。設定内容については「アイコン一覧」(☞**89**ページ)をご覧ください。

● メニューバーのアイコンの文字やマークの色が変わっているときは、その機能が働いています。

● DVDメニューやビデオCDのメニュー画面が表示されているとき、メニューバーを表示すると、DVDメニューやビデオCDのメニュー画面での操作がうまくいかないときがあります。このようなときは、メニューバー表示を消してください。

ステータスバーについて

ステータスバーには次の情報が表示されます。

ディスクの種類　現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号　再生の状態

DVD-VIDEO 8.5Mbps TITLE 3 CHAP 33 TOTAL 1:25:58

転送レート　時間表示

● ディスクの種類

DVDビデオのとき：DVD-VIDEO

オーディオCDのとき：CD

ビデオCDのとき：VCD

スーパービデオCDのとき：SVCD

● 転送レート(DVDビデオのみ)

映像の単位時間当たりの平均情報量を示しています。

● 現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号

DVDビデオのとき

TITLE 3 CHAP 33：現在のタイトル番号とチャプター番号が表示されます。
（停止中はタイトル総数のみが表示されます）

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき

TRACK 33：現在のトラック番号が表示されます。
（停止中は総数が表示されます）

● 時間表示

次の4つの時間表示ができます。

・現在再生中のチャプターまたはトラックの経過時間
・現在再生中のチャプターまたはトラックの残り時間
・ディスクの最初からの経過時間
・ディスクの残り時間

● 再生の状態

DVDプレーヤーの再生の状態を表示します。

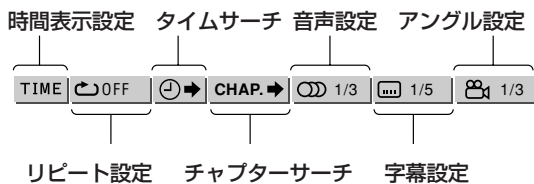
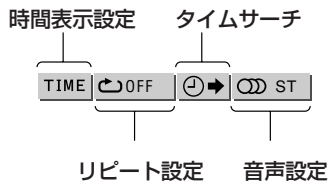
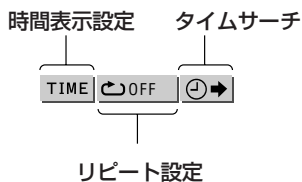
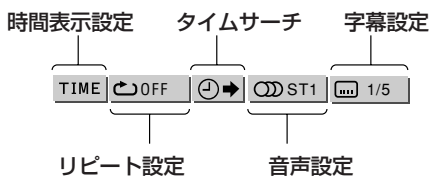
再生中：▶　停止中：■

一時停止中：❚❚　早送り / 早戻し中：◀◀ ▶▶

スロー再生中：◀❚ ❚▶

メニューバーについて

メニューバーからは次の操作をすることができます。メニューバーのアイコンはディスクの種類によって異なります。詳しい使い方は、「アイコン一覧」をご覧ください。

DVDビデオのときのアイコン

ビデオCDのときのアイコン

オーディオCDのときのアイコン

スーパービデオCDのときのアイコン

アイコン一覧

● TIME 時間表示アイコン　DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

ステータスバーの時間表示を切り換えます。[決定]を押すごとに時間表示が次のように切り換わります。

TOTAL　：タイトル（ディスク）の頭からの再生経過時間
T. REM　：タイトル（ディスク）の残り再生時間
TIME　：チャプター（トラック）の再生経過時間
REM　：チャプター（トラック）の残り再生時間

（ ）内は DVD ビデオ以外のディスクのとき

・停止中は DVD ビデオは「–:– –:– –」、それ以外のディスクのときはディスクの残り時間が表示されます。

● OFF リピートアイコン　DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

いろいろなくり返し再生するとき選びます。詳しくは、「くり返し再生する」（☞ **90**ページ）をご覧ください。

● タイムサーチアイコン　DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

再生したい場所を時間で、指定します。数字ボタン[0/11～9]でタイトルまたはディスクの頭からの時間を入力し、[決定]を押すと再生が始まります。

● CHAP. チャプターアイコン　DVDビデオ

DVDビデオで再生したいチャプターを指定します。数字ボタン[0/11～9]でチャプター番号を入力し、[決定]を押すと再生が始まります。

● 1/3 音声アイコン　DVDビデオ ビデオCD スーパービデオCD

複数の音声を楽しめるディスクの再生中に音声を切り換えます。[▲/▼]で音声を選びます。

● 1/2 字幕アイコン　DVDビデオ スーパービデオCD

字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。[▲/▼]で字幕を選びます。

● 1/3 アングルアイコン　DVDビデオ

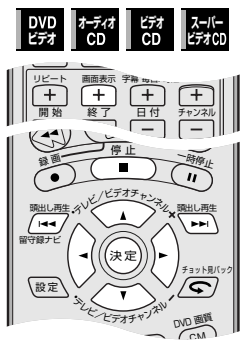
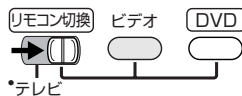
複数のアングルを持つDVDビデオの再生中、アングルを切り換えます。[▲/▼]でアングルを選びます。

ステータスバーとメニューバー（つづき）

くり返し再生する（リピート再生）

再生中の映像や音楽をくり返して再生することができます。
また、指定した範囲をくり返し再生することもできます。（A-B リピート）

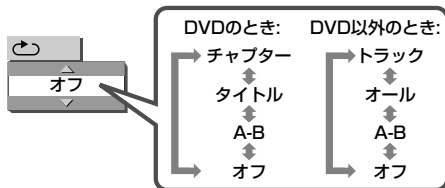
タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返す

● リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし [DVD] を押します。本体の DVD ランプが点灯します。

DVD ビデオ / オーディオ CD / ビデオ CD / スーパービデオCD

DVDビデオ：再生中に、CDオーディオ：再生中または停止中に、ビデオCD/スーパービデオCD：停止中またはPBCオフで再生中に

❶ **[画面表示]をくり返し押してメニューバーを表示させる**

❷ **[◀／▶]をくり返し押して OFF を選び、[決定]を押す**

❸ **[▲／▼]をくり返し押してお好みのリピート再生のモードを選ぶ**

チャプター	：	チャプターのリピート再生
トラック	：	トラックのリピート再生
タイトル	：	タイトルのリピート再生
オール	：	全トラックのリピート再生
A-B	：	指定した範囲のリピート再生
オフ	：	リピート再生のモードの解除

「A-B」は再生中のみ選べます。「A-B」を選んだときは右の< A-B リピート>の手順❹へ進みます。

❹ **[決定]を押す**

リピート再生が始まります。
● 停止中のときは、**[再生(▶)]**を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

[停止(■)]を押す
DVD ビデオのときは、再生を停止すると同時にリピート再生のモードも解除されます。

リピート再生のモードを解除するには

手順❸で「オフ」を選ぶ

指定した範囲をくり返し再生する<A-Bリピート>

リピート再生の手順❸で「A-B」を選んだときは、以下の手順に従って、「A-B リピート」を行います。

❹ **くり返したい部分の頭（Aポイント）で、[決定]を押す**

メニューバーに A- が表示されます。

❺ **くり返したい部分（Bポイント）の終わりで、[決定]を押す**

メニューバーの表示が A-B になり、A ポイントとBポイント間のリピート再生が開始されます。

A-B リピート再生を解除するには

[停止(■)]を押す
再生が停止し、A-B リピート再生は解除されます。
● メニューバーの A-B に合わせ、**[決定]**を2回押しても解除されますが、通常の再生は続きます。
● **[|◀◀]**または**[▶▶|]**を押しても、A-B リピート再生は解除されます。

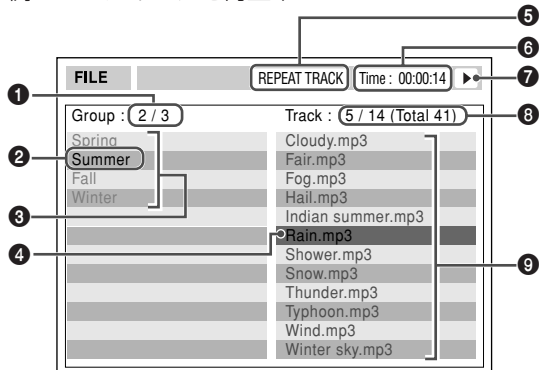
ご注意
● タイトル、またはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。
● リピート再生中は、A-Bリピートはできません。

MP3 ／ JPEG ディスクを再生する

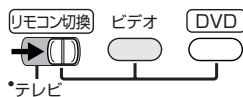
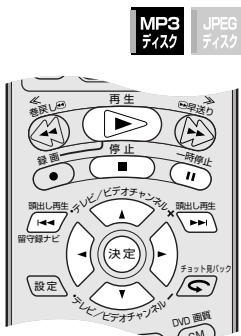
MP3/JPEGディスクやファイルについては12ページをご覧ください。

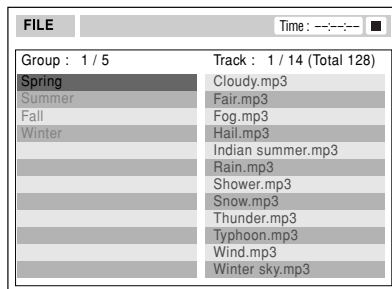
MP3/JPEGコントロール画面について

MP3/JPEGディスクを入れるとコントロール画面が表示されます。
コントロール画面でMP3/JPEGの基本操作をすることができます。

例：MP3ディスクを再生中

❶ 選択中のグループ番号/ディスク内の総グループ数
❷ 選択中のグループ名(青色の文字で表示されます)
❸ グループ覧(ディスクに収録されているグループが表示されます)
❹ ハイライトバー
❺ リピート再生モード
❻ 演奏経過時間(MP3再生時のみ表示されます)
❼ 再生の状態
▶ 再生中　■ 停止中　❚❚ 一時停止中
❽ 選択中のトラック番号/グループ内の総トラック数(ディスク内の総トラック数)
❾ トラック覧(選択中のグループに収録されているトラックが表示されます)

MP3 ディスクを再生する

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、**[DVD]** を押します。

- MP3ファイルとJPEGファイルが混在するディスクのときは、DVD設定メニューで、あらかじめ再生するファイルの種類を設定しておきます(☞73ページ)。

❶ MP3 ディスクを入れる

MP3 コントロール画面が表示されます。

❷ [▲／▼] をくり返し押してグループを選び、[▶] を押す

ハイライトバーがグループ覧からトラック覧に移動します。

❸ [▲／▼] をくり返し押してトラックを選び、[決定]または [再生(▶)] を押す

再生が始まります。

前後のトラックにスキップするには

[I◀◀]または[▶▶I]を押す

他のグループに移動するには

[◀]を押し、ハイライトバーをグループ覧に移動します。[▲ ／ ▼]でグループを選び直すことができます。

演奏を一時停止するには

[一時停止(❚❚)]を押す

演奏を途中でやめるには

[停止(■)]を押す

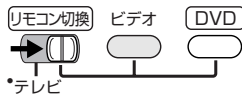
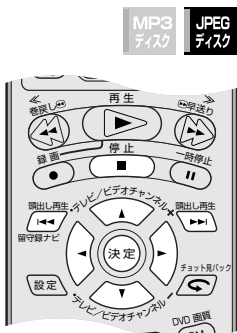
ご注意

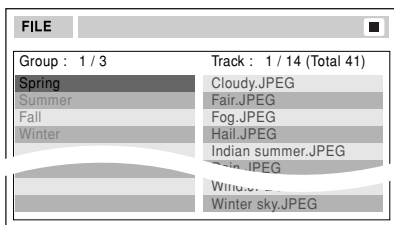
- ディスクの特性によって、再生までの読み取り時間が長くなることがあります。
- 早送り/早戻し再生およびリジューム再生はできません。
- MP3 以外のファイルはMP3 コントロール画面には表示されません。
- 現在の演奏経過時間以外の時間情報は表示されません。
- DVD 設定メニューを変更したあとは、ディスクトレイを開閉してディスクを再度読み込ませてください。

MP3 ／ JPEG ディスクを再生する (つづき)

JPEG ディスクを再生する

MP3 ディスク　JPEG ディスク

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。

- MP3ファイルとJPEGファイルが混在するディスクのときは、DVD設定メニューで、あらかじめ再生するファイルの種類を設定しておきます(☞73 ページ)。

❶ JPEG ディスクを入れる

JPEG コントロール画面が表示されます。

❷ [▲／▼] をくり返し押してグループを選び、[▶] を押す

ハイライトバーがグループ覧からトラック覧に移動します。

❸ [▲／▼] をくり返し押してファイルを選び、[決定] を押す

選んだファイルの静止画再生が始まります。

前後のファイルにスキップするには

[I◀◀]または[▶▶I]を押す

他のグループに移動するには

[◀]を押し、ハイライトバーをグループ覧に移動します。[▲ ／ ▼]でグループを選び直すことができます。

JPEG コントロール画面を表示するには

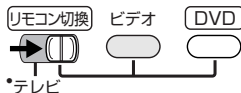
[停止(■)]を押す

- ディスクの特性によって、再生までの読み取り時間が長くなることがあります。
- JPEG以外のファイルはJPEGコントロール画面には表示されません。
- DVD 設定メニューを変更したあとは、ディスクトレイを開閉してディスクを再度読み込ませてください。

ファイルを連続再生する(スライドショー)

ファイルを順次 3 秒間ずつ再生できます。(スライドショー再生)

MP3 ディスク　JPEG ディスク

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。

コントロール画面表示中に

❶「JPEGディスクを再生する」の手順❶～❸で最初に再生するファイルを選ぶ

❷ [再生(▶)]を押す

選んだファイルから連続してスライドショー再生が始まります。

- 画像が選択されているときに [再生(▶)]を押すとそこからスライドショー再生が始まります。
- 次の画像が再生される前に、[I◀◀]または[▶▶I]を押すと、前後の画像を表示させることができます。

スライドショー再生を途中でやめるには

[停止(■)]を押す

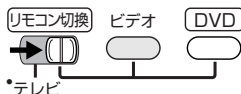
JPEGコントロール画面が表示されます。

トラック / ファイルを直接指定して再生する

再生するトラック／ファイルを数字ボタンを使って、直接指定することができます。

- JPEG ディスクの場合は、選んだファイルからスライドショーが始まります。

MP3 ディスク　JPEG ディスク

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。

コントロール画面表示中または再生中に

数字ボタン[1～10、0/11、+10/12]を押してトラック / ファイルを選ぶ

数字ボタンの使いかた

- 1～10を選ぶには
  その番号の数字ボタン[1～10]を直接押します。
- 11以上を選ぶには
  [+10/12] を押してから1～9のボタンを押します。
  [+10/12] を押すごとに1＿➡2＿➡3＿…と10の位の数字がカウントアップします。
  [0/11] を押すと「0」が入力できます。

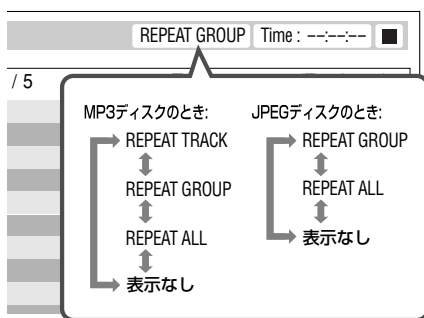
くり返し再生する(リピート再生)

グループまたはディスク全体をくり返し再生することができます。

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。

コントロール画面表示中に

[リピート]をくり返し押す

押すごとに次のようにモードが切り換わります。

REPEAT TRACK ： トラックのリピート再生（MP3 ディスクのみ）
REPEAT GROUP ： グループのリピート再生
REPEAT ALL ： 全トラック/ファイルのリピート再生
表示なし ： リピート再生のモードの解除

- 停止中のときは、[再生(►)]を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

[停止(■)]を押す

リピートモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

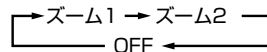
[リピート]をくり返し押してコントロール画面のリピート表示を消す

画面を拡大する(ズーム)

- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。

[ズーム]を押して再生中の画像を拡大してみることができます。

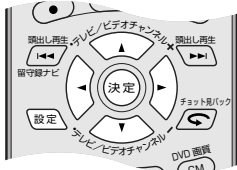
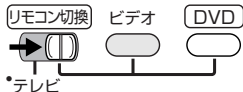
ボタンを押すごとに、倍率が次のように変化します。

→ズーム1 → ズーム2 → OFF →

- **スライドショー再生中の画像を拡大表示するときは、画像全体が表示されたときに一時停止してから、拡大してください。**
- **詳しくは、86ページの「画面を拡大する(ズーム)」をご覧ください。**

DVDの視聴制限を設定する

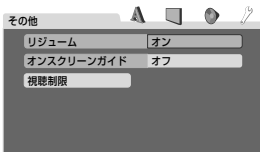
お子さまに見せたくない様な過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合に設定します。ディスクが視聴制限機能に対応していると、視聴制限の設定に応じて過激なシーンをカットしたり別のシーンに差し換えたりします。

視聴制限を設定する

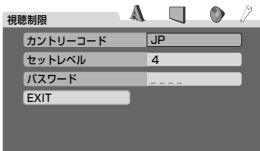
- リモコン切換スイッチを「ビデオ／DVD」側にし、[DVD] を押します。
  本体のDVDランプが点灯します。

停止中､またはディスクが入っていないときに

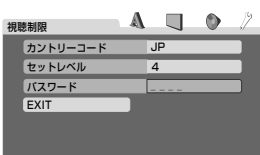
❶ [設定] を押す

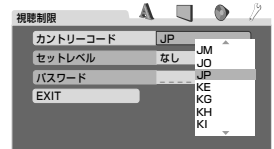
DVD設定メニューが表示されます。

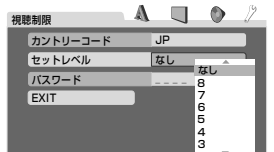
❷ [◄／►]を押して､｢その他｣メニューを表示させる

❸ [▲／▼] をくり返し押して「視聴制限」を選び､[決定]を押す

視聴制限設定画面が表示されます。

- はじめて設定するときは｢カントリーコード｣が選ばれます。

- 「パスワード」が選ばれたときは、数字ボタン[0/11～9]を押して4ケタのパスワードを入力し､[決定]を押します。パスワードの入力を3回間違えると、「EXIT」が選ばれます。

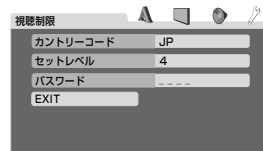
  [決定]を押して、もう一度やり直してください。

❹ [▲／▼] を使って設定項目を選び､[決定]を押す

カントリーコード　：

96ページの表を参考に[▲/▼]でカントリコードを選び､[決定]を押します。

セットレベル　：

視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。
[▲/▼]で数値(1～8)または｢なし｣を選び､[決定]を押します。

パスワード　：数字ボタン[0/11～9]を押して4ケタのパスワードを入力し､[決定]を押します。

❺ 手順❹をくり返し必要な項目を設定する

- パスワードを設定すると、「EXIT」が選ばれます。

❻ [決定]を押す

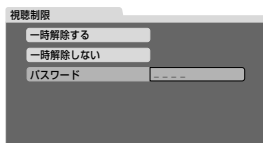
パスワードについて

- 現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、視聴制限の設定変更ができなくなります。このとき「EXIT」しか選べなくなります。[決定]を押してもう一度最初からやり直してください。

視聴制限を一時解除する

視聴制限を厳しく設定しているときは、再生しようとしてもまったく見ることができないことがあります。このようなときは、視聴制限を一時的に解除することができます。

再生中に

❶ **下の画面が表示されたら、[▲／▼]を使って「一時解除する」に合わせ、[決定]を押す**

「パスワード」に移動します。

- 「一時解除しない」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。
  [開／閉(⏏)] を押してディスクを取り出してください。

❷ **設定されているパスワードを数字ボタン[0/11～9]を使って入力し、[決定]を押す**

正しいパスワードを入力すると視聴制限が一時解除され、ディスクが再生されます。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度正しいパスワードを入力してください。

パスワードについて

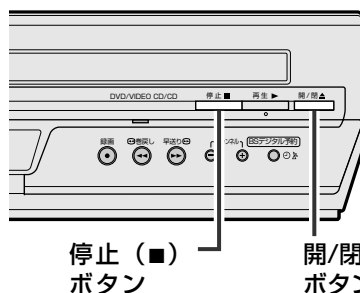
- 現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、視聴制限の設定変更ができなくなります。このとき「一時解除しない」しか選べなくなります。
  [決定]を押してもう一度最初からやり直すか、**94** ページ手順 ❹ のセットレベル／パスワード設定を変更してください。

トレイロックについて

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックをすることができます(トレイロック)。小さなお子さまがいるご家庭などで、誤動作を防ぎたいときお使いください。

ディスクが入っているとき

❶ **[電源]を押して電源を切る**

❷ **本体の［停止(■)］を押しながら、本体の［開／閉(⏏)］を押す**

電源を「入」にして **[開／閉(⏏)]** を押しても、本体表示窓に「Loc」と表示され、ディスクが取り出せなくなります。

トレイロックを解除するには

もう一度手順❶、❷の操作をくり返します。

電源を入れると本体表示窓に「UnLoc」と表示され、ディスクが取り出せるようになります。

DVDを楽しむ

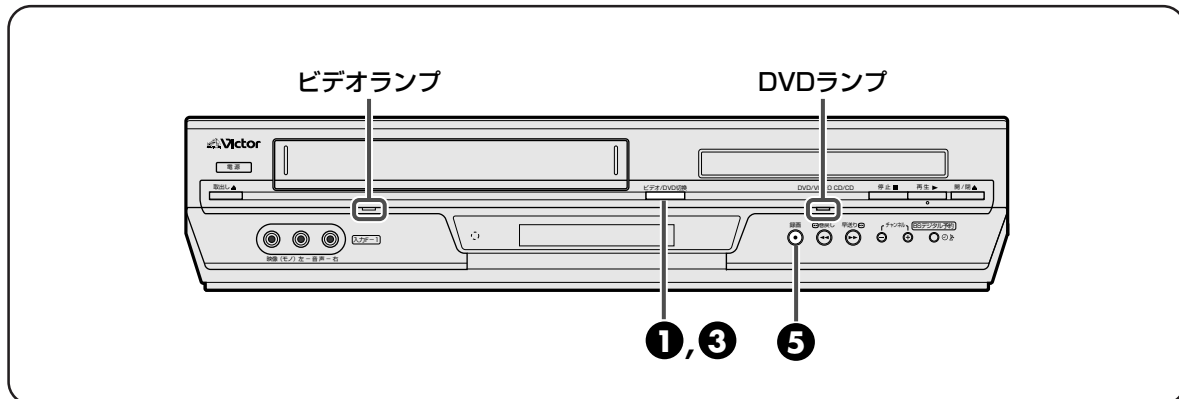
カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧です。

コード	国名
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d’Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People’s Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People’s Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

DVD 側からビデオ側へダビングする

DVDビデオをビデオテープにダビングする

DVD ビデオレコーダーなどで録画した DVD ビデオを接続不要で簡単にダビングできます。

VHS側(録画)

- 設定メニューの「ピクチャーセレクト」を「ダビング」にします。(☞**61**ページ)
- 新しい録画用テープを入れるか、ダビングしたいテープを挿入して録画を始めたいところを探しておきます。

❶ [ビデオ／DVD切換]を押してビデオランプを点灯させる

❷ リモコンの[標準／3倍／5倍]を押して録画スピードを設定する

DVD側(再生)

- ダビングしたいDVDビデオを本機に入れておきます。
- DVD設定メニューの「オンスクリーンガイド」を「オフ」にしておきます。「オン」になっていると、オンスクリーンガイド表示が一緒に録画されてしまいます。(☞**74**ページ)

❸ [ビデオ／DVD切換]を押してDVDランプを点灯させる

- DVDが再生開始しているかどうか確認してください。再生していない場合は、**[再生(▶)]**を押してください。

❹ ダビングを開始したい場面でリモコンの[一時停止(❚❚)]を押し、一時停止にする

❺ [録画(●)]を押す

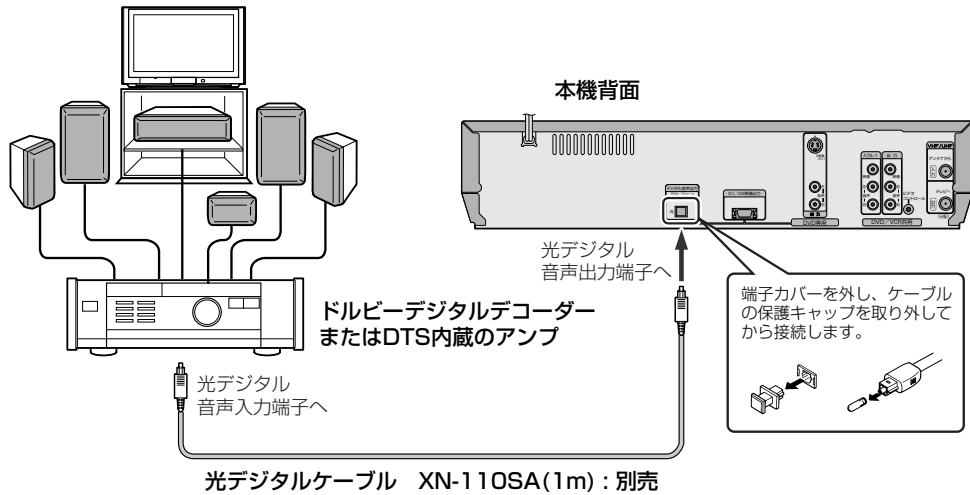
- 本体表示窓に「dub」と表示され、ダビングを開始します。
- DVD ランプが消えて、ビデオランプが点灯します。
- ダビングが終了したら、**[停止(■)]**を押します。
- DVD側は再生を続けていますので、必要に応じて録画を停止させてください。

ご注意

- 本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているディスクは、ビデオテープに録画できません。本体の表示に「Err」が表示されます。
- DVDのステータスバーやメニューバーを表示させたままビデオテープにダビングすると、一緒に録画されてしまいます。**[画面表示]**を押してステータスバーやメニューバーを消してください。
- ダビングを終了するときは、ビデオランプが点灯しているときに**[停止(■)]**を押してください。ビデオ側が録画中に、DVD を選択して「停止」または「ディスクの開／閉」の操作を行うと自動で録画を停止しますが、DVDオープニング画面が多少録画されますのでご注意ください。

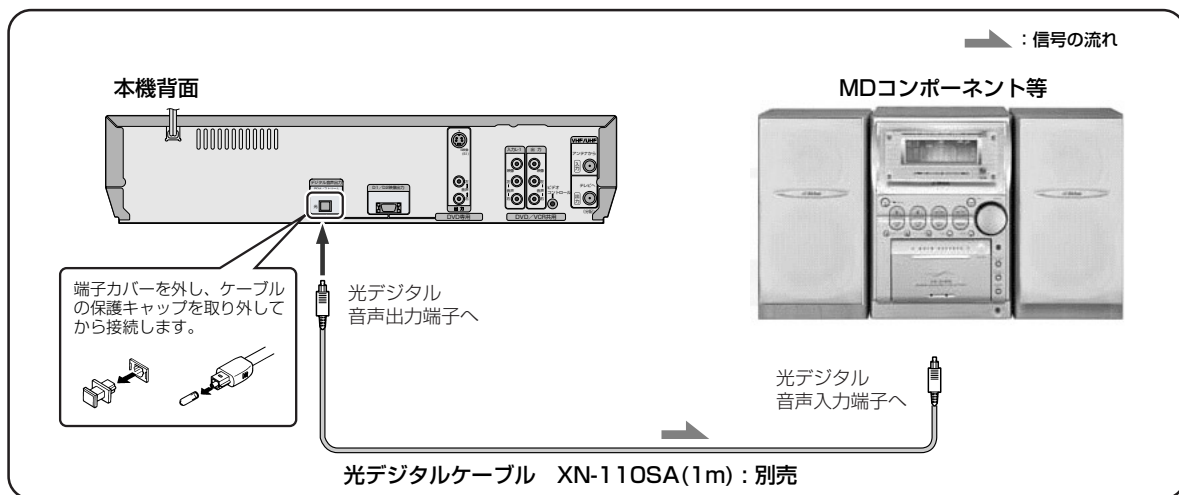
オーディオ機器とつなぐ

本機とドルビーデジタルデコーダーまたはDTS内蔵アンプをつなぐ

すべての機器の電源を切ってから接続してください。

- ドルビーデジタルデコーダーや内臓のアンプを接続する場合は、DVD 設定メニューの「音声メニュー ➡ デジタル OUT」を「DOLBY DIGITAL/PCM」にしてください。
(☞**74** ページ)
- DTS デコーダーや内臓のアンプを接続する場合は、DVD 設定メニューの「音声メニュー ➡ デジタル OUT」を「ストリーム／ PCM」にしてください。(☞**74** ページ)

オーディオ機器とつないでダビングする

光デジタル音声出力でデジタル録音する

コピー禁止処理のされていないCDの音声をMDなどにデジタル録音できます。

本機DVD側(再生)

- ダビングしたいディスクを本機に入れます。
- DVD設定メニューで「音声メニュー➡デジタルOUT」を「PCMのみ」に設定します。(☞**74**ページ)

他の機器(MD)側(録音)

- 録音用のMDを入れておきます。
- 詳しい接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ [ビデオ／DVD切換]を押してDVDランプを点灯させ、再生する。

❷ 録音を開始したい部分で[一時停止(❚❚)]を押す

- 録音開始位置より少し前まで早戻ししてから一時停止してください。

❸ 本機を接続した外部入力を選ぶ

❹ 録音一時停止状態にする

❺ [再生(►)]を押す

❻ 録音を始める

DVDの表示窓メッセージ一覧

本機では、ディスクの状態や操作について本体表示窓にいろいろなメッセージが表示されます。
ここでは、主なメッセージと表示される内容を説明します。
また、本機で禁止されている操作をしたとき、テレビ画面に「⃠」を表示します。

表示窓メッセージ	内　容
オープン OPEn	[開／閉（▲）]を押して、ディスクトレイが開いているときに表示します。
クローズ CLOSE	[開／閉（▲）]を押して、ディスクトレイが閉じるときに表示します。
ノーディスク no dc	ディスクが入っていないとき、または再生できないディスクを入れたときに表示します。
リード rEAd	ディスクのデータ読み取り中に表示します。
インター IntEr	スキャンモードを「インターレース方式」に切り換えたときに表示します。
プログレ ProGr P	スキャンモードを「プログレッシブ方式」に切り換えたときに表示します。
エラー Err	再生できないディスク / 傷などで読み取りできないディスクのときに表示します。 コピー禁止信号が入っているディスクをビデオテープにダビングしようとしたときにも表示します。
プレイ PLAY	DVD ディスクのメニュー画面を再生中に表示します。
リジューム rESuM	ディスクの再生を停止したときに表示します。
- - _ - -	再生開始時に約３秒間点滅した後、経過時間表示に移行します。
プレイバックコントロール Pbc	PBC を「オン」で再生したときに表示します。
ロック Loc	トレイロック中にディスクトレイを開けようとしたときに表示します。

故障かな？と思ったら（ビデオ側）

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

	症　状	処　置	参照ページ
一般	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか? ●本体表示窓に「◷」が点灯していませんか? ●電源ボタンを押すと、本体表示窓に「CL」と表示されませんか? リモコンでチャイルドロックを解除してください。	21 17、62 70
	リモコンが働かない	● リモコンを受光部に向けて約8m以内で障害物を避けてお使いください。 ● 電池を交換してください。 ● 電池の極性（⊕、⊖）が違っていませんか？ 電池を正しく入れ直してください。 ● リモコン受光部への直射日光をさえぎってお使いください。	― 25 25 ―
	自動的に電源が切れる	●設定メニューの「モード選択➡オート電源オフ」が「3H」になっていませんか？ 電源「入」の状態で何も操作をしないと、3時間後に自動的に電源が切れます。	44、65
	テープが入らない	●正しい向きで入れてください。	46
	テープが出ない	●録画中または本体表示窓に「◷」、または「◷」と「📡」が点灯していませんか？ 「◷」または「📡」を消してから、テープを出してください。このとき、録画予約の待機状態は解除されます。	53、62
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	●再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムは再生終了後約5分間は回転しています。故障ではありません。	―
	カウンター表示が点滅する	●早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	―
	リモコンが働かない	●リモコンコード(A/B/C/D)が合っていますか? ●電池が消耗していませんか?	28 25
	ダビングできない	●正しい外部入力「F-1」または「L-1」を選んでいますか？	68
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	●設定メニューの「モード選択➡オンスクリーン」を「切」にしてください。	43
	ぴったりクロックが働かない	● 地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	41
	本体表示窓に時計が表示されない	●ディスプレイオフ(省電力設定)が「入」になっていませんか? 設定メニューの「モード選択➡ディスプレイオフ」を「切」にしてください。省電力設定が解除されます。	43、64
	テレビに番組が出ない	●アンテナ接続とチャンネル設定をご確認ください。 ●映らないときは、一括チャンネル合わせでお近くの地域番号をためしてください。 ●放送局をひとつずつ設定してください。 ●テレビの空きチャンネル（1チャンネルまたは2チャンネル）で見たいときは、別売のRFコンバーター（RF-VD550T）を最寄のビクターサービス窓口にてお買い求めください。 ●アンテナの受信形態を確認して、別売の「分波器」または「混合器」をご使用ください。	20、29 29 35 ― 20
	設定メニュー画面が出ない	●テレビと本機の接続が合っていますか？ ●テレビの入力切換を本機が接続された「ビデオ1」／「ビデオ2」などに切り換えてください。 テレビの取扱説明書のビデオデッキ接続の方法などをもう一度ご確認ください。	21 14 ―

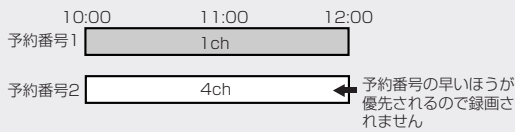
故障かな？と思ったら（ビデオ側）

	症　状	処　置	参照ページ
再生	ハイファイステレオの音声が出ない	●モノラルビデオデッキやモノラル音声のビデオカメラで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	―
	日本語と外国語が同時に聞こえる	●[音声切換]で聞きたい音声を選んでください。	59
	テレビに映像が出ない	●ビデオの入力を表示していますか？ 映像/音声入力端子付テレビ(AVテレビ)と接続しているときはテレビの入力切換を「ビデオ1」、「ビデオ2」などにします。	14
	映像が乱れる、ちらつく	●オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調整を行います。 ●再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。 ●長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のクリーニングテープTCL-SDで掃除してください。 ●設定メニューの「ピクチャーセレクト」の設定を変更してください。	58 58 10 61
	早送り/巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	●再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。	―
	画面が上下に揺れる	●設定メニューの「モード選択➡Vスタビライズ」を「入」にしてください。	43
録画	日本語だけ録音したい	●設定メニューの「モード選択➡二カ国語音声録音」を「主」にしてください。	43
	録画できない	●カセットのツメが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。 ●リモコン操作は、[録画(●)]を押しながら[再生(▶)]を押してください。 本体で操作するときは、[録画(●)]だけを押します。	49 48
	希望の番組が録画できない	●チャンネルが合っていますか？ 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにチャンネル設定してください。	35
	録画予約ができない	●日付と時刻を設定してありますか? ●日付と時刻がずれていませんか？日付と時刻を合わせてください。 ●カセットのツメがついていますか? ●本体表示窓の「◷」または「◷」と「📡」は点灯していますか? ●予約内容を確認してください。 ●停電があったときは正しく動作しません。 ●本機の電源が「切」やDVD側が選択されているときは、予約転送ができません。	41 41 49 50~52 62、63 53 ― ―
	本体表示窓の「◷」が点滅する	●予約内容が入っていません。予約内容を確認して、正しく設定し直してください。 ●カセットが入っていません。ツメの付いたカセットを入れてください。	53 49
	本体表示窓に「−−：−−」を表示している	●停電がありました。もう一度、日付と時刻を設定してください。 故障ではありません。	41
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	●本体表示窓の「◷」または「◷」と「📡」を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、「◷」または「📡」を点灯させます。	50~52 62、63
	予約の録画中に止まって電源が切れて、本体表示窓の「◷」、「▶」、「●」が点滅している	●テープの終わりまで録画すると、自動的にカセットが停止し、電源が切れます。[タイマー（◷）]を押すと「◷」は消えます。本機の電源を入れ、巻戻しなどの操作をすると「▶」と「●」の点滅が消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるテープを入れてください。	―
	予約の録画中に停止するには	●本体表示窓に「◷」を表示しているときは、[タイマー（◷）]を押し、「◷」を消してから[停止（■）]を押します。 ●本体表示窓に「◷」と「📡」を表示しているときは、本体の[BSデジタル予約]を押し、「◷」と「📡」を消してから[停止（■）]を押します。	50~52 62、63

症　状		処　置	参照ページ
録画	録画予約中、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	●録画予約は8番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約を取消してから予約してください。	53
	録画予約中に予約中の表示が消えた	●予約内容を転送後に約3分間放置すると、自動的に予約が完了し予約表示が消えます。予約確認する場合は、**［予約確認］**を押してください。	−
	予約が重なったら	●録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。	−
	予約の録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	●予約の録画中に本体の**[電源]**を押すと、録画を停止し、電源が切れます。（リモコンの**[電源]**を押しても電源は切れません。） 電源が切れたときは、他にも予約があれば、ふたたび録画予約待機中になります。	−
	Gコード予約ができない	●日付と時刻がずれていませんか？日付と時刻を合わせてください。 ●ガイドチャンネルが合っていますか？合わせてください。 ●Gコード番号が違っていませんか？正しい番号を入力してください。（過去のＧコード入力はできません。）	41 39 50
	今すぐ録画したいのに録画できない	●ビデオナビゲーション機能が動作して、テープ情報を検索しているためです。設定メニューの「モード選択➡ビデオナビゲーション」を「切」にしてください。	44、66
	録画予約で番組の始め（約5分くらい）が録画されていない	●録画予約でオートCMカット機能を「入」にしていませんか？ そのときは、CMがステレオ放送で番組もステレオ放送のため、一時停止になります。故障ではありません。 大切な録画のときは、録画予約のときにオートCMカット機能を「切」に設定してください。	55

予約した番組が重なったら

・同じ日の同じ時間に、２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

・同じ日の同じ時間帯に、２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

・同じ日に録画時間が重なって２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

故障かな？と思ったら（DVD側）

症状		処置	参照ページ
音声	音が出ない	●音声コードを正しく接続してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	21、82 13
	音がひずむ	●ディスクをクリーニングしてください。	13
	テレビの音声にくらべて、再生中の音量が小さい	● DVD設定メニューの、「Dレンジコントロール」を「オート」にしてください。ドルビーデジタルで収録されたディスクに限り、音量差が改善されます。	74
映像	映像が出ない	●映像コードを正しく接続してください。 ●テレビの入力選択が間違っている場合、正しい入力を選び直してください。	― ―
	画面サイズがおかしい	● 「TVタイプ」の設定をお手持ちのテレビに合わせて正しく設定し直してください。	73
	映像が乱れる、2画面表示になる、白黒画面になる	●本機とテレビの間にビデオデッキを接続しているか、または本機をビデオ一体型テレビに接続していませんか？ 本機とテレビを直接接続してください。 ●接続しているテレビがプログレッシブスキャンに対応していないときに、本機でプログレッシブモードを選んでいる可能性があります。 本機のスキャンモードを「インターレース」に設定してください。	― 83
再生	「リージョンコードエラー！」と表示される	●本機とディスクのリージョン番号が異なっています。このディスクを再生することはできません。	11
	再生ができない	●ディスクを正しくセットし直してください。 ●本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。 ●暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、数時間してからディスクを入れてください。 ●MP3ディスク/JPEGディスクの設定を正しく設定し直してください。	― 11 ― 73
	音声言語/音声/字幕言語が切り換えられない	●再生中のディスクに複数の言語が収録されていない可能性があります。 ●再生中のディスクが、**[音声切換]**ボタンと**[字幕]**ボタンの操作を受け付けていません。言語メニューで切り換えてください。	― 73
	字幕が出ない	●再生中のディスクに字幕が収録されていない可能性があります。 ●「字幕言語」設定が「オフ」になっています。「字幕言語」を正しく設定し直してください。 ●A-Bリピート中は字幕が正しく表示されないことがあります。	― 73 ―
その他	ディスクが取り出せない	●トレイロックが設定されていませんか？ 本体表示窓に「Loc」と表示されるときは、トレイロックが設定されています。本機の電源を「切」にして本体の **[停止（■）]** を押しながら本体の**[開／閉（▲）]**を押し、トレイロックを解除してください。 ●**[開／閉（▲）]**を押してディスクを取り出すときに、出てくる途中のディスクトレイに触れると出てこなくなる場合があります。このようなときは、電源を「切」にして再度**[開／閉（▲）]**を押してください。	95 ―
	正しく動作しない	●雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源を「切」にして電源プラグを接続し直してください。	―

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、DVDプレーヤー一体型ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」(**106**～**107**ページ参照)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

101～**104**ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	DVDプレーヤー一体型VHSビデオ
型　　名	HR-DV4
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お　名　前	
電　話　番　号	（　　　）　　　―

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用の本機の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

本機は非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。
トラッキングのずれたビデオデッキで記録されたテープは、正常なビデオデッキで再生するとノイズが出たり、画や音が出なくなることがあります。
いつも正しいトラッキング状態を保つためには、ときどき他のビデオデッキで録画されたテープ（レンタルテープなど）を再生し、ノイズが出ないことを確認することをおすすめします。

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0404

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0742)35-0935	630-8115	奈良市大宮町六丁目3-10 藤本ビル1階
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

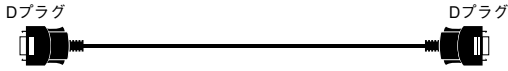
都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0820	大分市西大道三丁目1番1号
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
山陰ビクター販売（株）				
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

その他

別売品のご案内

映像／音声用接続コード

コンポーネントビデオコード（D-D）

・D端子付BS/CSデジタルチューナーやテレビを接続する場合

VX-DS110（1m） 希望小売価格 3,675円（税込）
VX-DS120（2m） 希望小売価格 4,200円（税込）

コンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ×3）

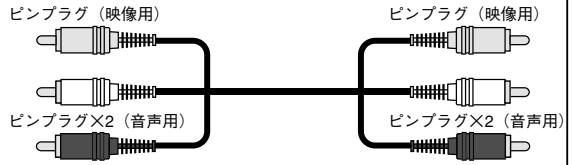
VX-DS210（1m） 希望小売価格 4,200円（税込）
VX-DS220（2m） 希望小売価格 4,725円（税込）

S映像コード

・S端子の接続

VC-S110G（1m） 希望小売価格 1,050円（税込）
VC-S120G（2m） 希望小売価格 1,260円（税込）
VC-S110E（1m） 希望小売価格 2,310円（税込）
VC-S120E（2m） 希望小売価格 2,730円（税込）

映像／音声コード

・ビデオとステレオAVテレビとの接続

VX-17G（1m） 希望小売価格 1,365円（税込）
VX-18G（2m） 希望小売価格 1,575円（税込）
VX-410E（1m） 希望小売価格 2,625円（税込）
VX-420E（2m） 希望小売価格 2,940円（税込）

光デジタルケーブル

・光角型端子付CDプレーヤーを光角型端子付アンプに接続する場合

XN-110SA（1m） 希望小売価格 2,100円（税込）
XN-120SA（2m） 希望小売価格 2,520円（税込）

アンテナコード

UHF／VHFアンテナコード

・ビデオとテレビアンテナ入力端子などの接続用

VX-22A（1m） 希望小売価格 945円（税込）
VX-23A（2m） 希望小売価格 1,050円（税込）

映像／アンテナコード用変換アダプター

アンテナコード変換用アダプター

VZ-71A 希望小売価格 630円（税込）

主な仕様

●電源	AC100V　50Hz/60Hz
●消費電力	18W 待機時消費電力*　1.2W 待機時消費電力:時刻表示点灯時　1.2W 待機時消費電力:時刻表示消灯時　1.1W *省エネ法に定める待機時消費電力です。
●外形寸法	435 mm × 93 mm × 272 mm （幅）（高さ）（奥行き）
●質量	4.1 kg
●許容動作温度	+5°C～+40°C
●許容相対湿度	35%～80%
●許容保存温度	−20°C～+60°C

ビデオ（映像）

●録画・再生方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン 輝度信号　FM方式 色信号　低域変換直接記録方式
●映像信号	NTSC日米標準信号

テープ走行

●早送り／巻戻し時間　約53秒（T-120テープ使用時）
テープによっては早送り／巻戻しに時間がかかる場合があります。

ディスク

●光ピックアップ	1レンズ2レーザーユニット方式 DVD用：650nm、CD用：780nm
●再生可能ディスク	DVDビデオ、ビデオCD、スーパービデオCD DVD-R/RW（ビデオフォーマット） オーディオCD CD-R/RW（オーディオCD，ビデオCD，スーパービデオCD，MP3，JPEG）

ハイファイオーディオ（音声）

●録音方式	VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性	20Hz～20kHz
●ダイナミックレンジ	90dB以上
●ワウ・フラッター	0.005%以下
●チャンネルセパレーション	60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

●録音方式	交流バイアス方式
●音声トラック	1チャンネル(モノラル)

チューナー（テレビ受信）

●受信方式	周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式	インターキャリア方式
●受信チャンネル	VHF　1～12チャンネル UHF　13～62チャンネル CATV　C13(63)~C63(113)チャンネル

●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

タイマー（タイマー予約・時計）

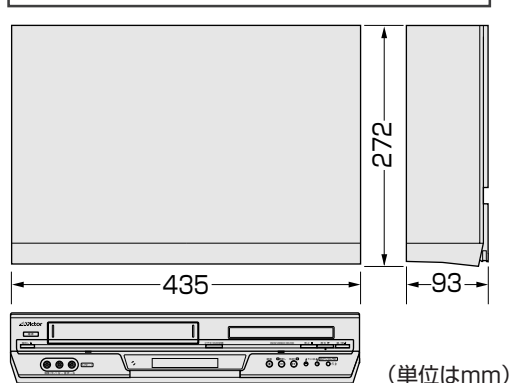
●タイマー予約	1ヵ月間8番組予約
●時計	12時間表示(午前·午後)方式
●停電補償時間	約10分

接続端子

●アンテナ	75Ω F型コネクター VHF/UHF一軸
●映像	入力　0.5～2.0Vp-p　75Ω（ピンジャック） 出力　1.0Vp-p　75Ω（ピンジャック）
●音声	入力　−8dBs　50kΩ（ピンジャック） モノ(左)対応(前面入力のみ) 出力　−8dBs　1kΩ（ピンジャック）
●D1/D2映像出力	Y 出力：1.0Vp-p　75Ω PB/CB、PR/CR 出力：0.7Vp-p　75Ω
●ビデオコントロール入力	3.5φ（ミニジャック）
●光デジタル音声出力	−21 dBm～−15dBm（ピーク）

寸　法　図

435　93　272

（単位はmm）

● 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
● このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

用語解説

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常テレビで横：縦の比は4：3、ワイドテレビおよびHDテレビで横：縦は16：9の比率をもっています。

インターレーススキャン
従来のテレビで用いられている方式で、それぞれのフレーム情報を半分に「間引き」して1つのフィールド情報とし、連続した2つのフィールドを使って1つの画面（フレーム）を作る方法です。

か

カーソル
一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

片面ディスク
DVDディスクのうち、信号読み出し面が片面のみをいいます。片面1層と片面2層があります。

コンポジット
輝度信号と色信号を周波数多重技術で複合した映像信号と、色の基準となるバースト信号、同期信号を組み合わせた複合映像信号のことです。

コンポーネント
光の3原色からなる映像信号を再現するために必要な情報の一部を、各々別の信号線で伝送するビデオ信号方式のことです。R/G/BやY/CB/CRなどの信号形式があります。

さ

再生可能地域番号（リージョンコード）
あらかじめ設定された地域についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を8つの地域に分け、これに各地域番号（リージョン番号）をつけ識別します。ディスクに設定された再生可能地域番号の中に、プレーヤーに付与された地域番号と合致する番号があれば、プレーヤーはそのディスクを再生できます。

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ信号からデジタル信号に変換する際の標本化周波数のことです。1秒間に何回の割合で、もとのアナログ信号を標本化し、デジタル信号に変換するかを数値で表したものです。

色差信号
R/G/Bのそれぞれの信号から輝度信号（Y信号）を引いた信号で、色相と色の濃さを表す信号をいいます。

視聴制限
映像および音声の内容が視聴者に対して適切なものかどうか（たとえば教育上好ましくないシーン等に対して）を、あらかじめソフトに設定された視聴制限レベルと、本システムに視聴者が設定した再生可能視聴制限レベルの上限とを照らし合わせ、本システムが自動的に判断し再生する機能です。

た

ダウンミックス
サラウンド方式（3ch以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2ch音声に変換して再生する機能をいいます。
一般には、信号チャンネル数よりも、スピーカーの数が少ないときに行なわれるミキシングのことです。

チャプター
タイトル内の各章のことです。

ディスクメニュー
DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ドルビーデジタル
家庭用デジタルサラウンド方式として開発されたドルビーデジタル（AC-3）方式のことをいいます。最大フロント3ch、リア2chおよびサブウーハー0.1chで構成される5.1chが特長です。

は

ビットレート
1秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のことです。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

プログレッシブスキャン
すべてのフレーム情報を1つのフィールドで映し出します。したがって映像情報が従来方式に比べて倍になり、チラツキの少ない高密度の画像になります。

ま

マルチアングル
一つのタイトルの中に、同一時間で進行する複数の場面を収録し、これをユーザーの操作により切り換えて視聴できるようにした機能です。

マルチチャンネル
DVDビデオでは、一本の音声トラックで一つの音場を構成するように定められていますが、このうち3つ以上のチャンネルをもった音声トラックの構成をいいます。

マルチランゲージ
一つのタイトルが複数の言語に対応して制作されていることを一般的にマルチランゲージといいます。

ら

リニアPCM音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮をまったくしない方式のことです。

両面ディスク
DVDディスクのうち、信号読み出し面が両側のものです。反対の面を再生するには、ディスクを裏返す必要があります。

レターボックス
4：3テレビに映画などの横長の画像を欠けることなく映し出すために画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出す手法です。
画面が文字通り郵便受けに似ていることから名付けられたものです。

索　引

アルファベット

3D フォニック 86
A-B リピート 90
BS デジタルリンク予約 62
CATV 接続 22
CM スキップサーチ 55
DVD 設定メニュー 72
G コード予約 50
JPEG ディスク .... 12、92
MP3 ディスク .... 12、91
PBC 再生（プレイバックコントロール） 81
S-VHS 簡易再生 49
V スタビライズ 43
VFP（ビデオファインプロセッサー） 87

ア行

頭出し .... 56、79
アングル .... 77、85、89
一時停止 .... 46、79
インターレース 83
裏番組録画 49
演奏経過時間 .... 76、81
オーディオ CD 12
オート CM カット 55
オートトラッキング 58
オート電源オフ .... 44、65
オートピクチャー 61
オーバーラッププログラム機能 52
オンスクリーン 43
オンスクリーンガイド .... 74、77
音声を選ぶ 59

カ行

カウンターリセット 58
各部の名称 .... 15 ～ 19
　テレビ画面表示（ビデオのみ） 17
　本体前面 15
　本体背面 16
　本体表示窓 17
　リモコン .... 18、19
カントリーコード .... 94、96
言語メニュー 73
誤消去防止 49
コマ送り 57

サ行

再生設定 .... 88 ～ 90
残量表示 .... 17、58
視聴制限 .... 74、94
受信チャンネルの設定 .... 29 ～ 38
　一括チャンネル合わせ 29
　オートチャンネル合わせ 30
　地域番号一覧表 .... 31 ～ 34
　チャンネルスキップ 37
　チャンネル表示変更 38
　微調整 36
　放送局をひとつずつ設定 35
新・快速録画予約 51
スキップ 55
スキャンモード 83
スクリーンセーバー .... 72 ～ 74
ステータスバー 88
スライドショー 92
スロー再生 .... 57、79
ズーム .... 86、93

タ行

ダイナミックレンジ 74
ダビング .... 68、69、97、99
チャイルドロック 70
チャプター .... 11、77、89
チャプター 番号 .... 11、77
チャプター リピート .... 85、90
チョット見バック .... 57、78
着信予約 63
テープレベルアップ .... 43、60
ディスプレイオフ .... 43、64
電池の入れかた 25
時計合わせ 41
トップメニュー 81
トラッキング調節 58
トラック／ファイル .... 12、91 ～ 93
トラック番号 12
トラックリピート .... 85、90、93
ドルビーデジタル 13
トレイロック 95

ナ行

二カ国語音声録音 .... 43、59
二重音声放送 59
ノーマル音声 59

ハ行

ハイファイステレオ音声 59
パスワード .... 94、95
パンスキャン 73
光デジタルケーブル .... 98、99
ピクチャーセレクト 61
ぴったりクロック 41
ぴったり録画 43
ビデオ CD 11
日付を設定 41
表示切換 .... 58、77
ブルーバック 43
プログレッシブ 83
本日予約 52

マ行

毎日／毎週録画 50
メニュー画面一覧 42
メニューバー 88
モード選択の設定内容 43

ラ行

リージョン番号 11
リジューム .... 74、77
リピート再生 .... 70、85、90、93
録画予約の確認 53
録画予約の取消し 54
録画予約の変更 54

ワ行

ワイド（16：9） 73
ワンタッチタイマー録画 49

HR-DV4　取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
106～107ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(03) 5684－9311** **FAX　(03) 5684－9317** 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0504TYH-MW-BJ